P

CASSIOPEIA BE-500
ユーザーズガイド

- ご使用前に、「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はお読みになった後も大切に保管してください。

J

本機はOS（オペレーティングシステム）にWindows CEが使われています。
長時間使用すると、性能が低下したり、動作がおかしくなることがあります。その場合は、リセット（261ページ）を行うと動作は正常に戻ります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスBの情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機は日本専用機で、海外での使用は考慮されておりません。したがって、海外での使用はお薦めできません。国によっては、持ち込み禁止になったり使用禁止になることが考えられます。

安全上のご注意

ここでは、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。ここで説明されている内容をよくお読みになり、本機を正しくご利用ください。

絵表示の例

⊘ 記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。

● 記号は「しなければならないこと」を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

●健康上ご留意いただきたいこと

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 疲れた状態で、連続して長時間にわたるご使用は、健康上好ましくありませんので、避けてください。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 長時間操作をするときは、適度に休憩してください。
  目安として1時間ごとに10分から15分の小休止をとってください。

●本機の使用上ご留意頂きたいこと

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常な状態にご注意ください

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜き電池を外して、お買上げの販売店または、カシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。

水、異物はさけてください

- 万一異物(金属片、水、液体)が製品内部に入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜き、電池を取り外して、お買上げの販売店または、カシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。

本機を落とさないでください

- 万一、本機を落としたり、強い衝撃を与え、本機を破壊した場合は、電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜き、電池を外して、お買上げの販売店または、カシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

分解しないでください

- 本機を分解・改造しないでください。火災・けがの原因となります。

スタイラスで目をつついたりしないでください

- スタイラスで目をつついたりすると、失明や目に障害を与える原因となります。

⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

メモリ保護

- 本機に記憶させた内容は、パソコン等に常に記憶させ、本機とは別に控えを残してください。電池消耗などにより、記憶内容が変化したり、消えることがあります。また、本機の故障、修理などのときに記憶内容が失われます。

設置場所について

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かないでください

- ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

●内蔵バッテリについて

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 内蔵バッテリのご自分での交換は、火災・けが・故障の原因となりますので絶対にしないでください。

●ACアダプタに関するご注意

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 指定された電源電圧(日本国内では交流100V)以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破壊したりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱しないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 万一電源コードが傷ついたら(芯線の露出，断線など)、お買上げの販売店または、カシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプタは必ず専用の物をお使いください。専用以外のACアダプタを使用すると、内蔵バッテリが破裂することがあり、火災・けがの原因となります。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ACアダプタをコンセントから抜くときは、必ずACアダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 旅行などで長期間本機をご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。
- ACアダプタは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。
- 製品本体を移動させる場合は、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

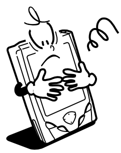
●画面表示に関するご注意

⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
🚫	● 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。 ● 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
❗	● 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。 ● 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

使用上のご注意

本機は精密機器です。使いかたを誤ったり乱暴に扱うと、データが正常に保存できなくなったり故障することがあります。次の注意をよくお読みのうえ、正しくお取り扱いください。

● 内蔵バッテリが消耗した状態で使い続けないでください。
- 通常、本機のデータはフラッシュメモリに記憶されていますが、フラッシュメモリへ記憶している時に内蔵バッテリが消耗すると、一部のデータは消えたり変化することがあります。内蔵バッテリが消耗したら、すぐに充電してください。
- 本体内部に使用している内蔵バッテリはその特性上、長時間(約1ヶ月)充電しないでいると、充電できなくなる場合がありますので、こまめに充電してください。





● 本機に飲み物や水などをこぼさないでください。

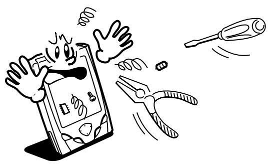


● 次のような場所での使用は避けてください。
本機の故障・破損の原因になります。
- 静電気が発生しやすいところ
- 極端に高温または低温のところ
- 湿度の高いところ
- 急激な温度変化が起こるところ
- ほこりの多いところ

● 本機の上には重いものをのせないようにしてください。



● 本機を分解しないでください(故障の原因になります)。



● コネクタやスロットなどに異物を入れたり差し込まないでください。



● 次のような条件でご使用ください。
- 温度0℃～40℃
- 結露しないこと

上記の範囲外で使用すると故障の原因となります。

● タッチスクリーンやリセットボタンは、必ず専用のスタイラス(ペン)で操作してください。
● スタイラス(ペン)以外でのタッチスクリーン操作はお避けください。タッチスクリーンがキズついたり、動作上の障害が発生することがあります。
● 本機の清掃に、シンナー、ベンジンや化粧品などの揮発性の薬剤を使わないでください。本機が汚れたときは、乾いた布か中性洗剤に浸して固くしぼった布で拭いてください。
● 持ち運ぶときはタッチスクリーンや表示部の保護のためフリップカバーを閉じてください。

MEMO

- 動画や音楽の再生、デジタルカメラカードの利用など大きな電力が必要な動作を長く行うと、本機が暖かくなりますが、これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 次のような場合には電源ボタンを押しても電源を切ることができません。このような場合にはしばらくお待ちになってから、再度電源ボタンを押しなおしてください。
    - 電源を入れた直後
    - 本体およびメモリカードにユーザデータを書き込んでいる間
    - コンパクトフラッシュカードを挿抜してからのしばらくの間
    - プログラムの起動直後のしばらくの間
    - プログラムが電源を切らないようにしている間

- 本機をパソコンに接続してデータを転送し、パソコン内蔵の記憶装置(ハードディスクなど)や外部記憶装置(フロッピーディスクなど)にデータを保存することができます。また、メモリカードにデータを保存することもできます。特に重要なデータは複数の記憶装置に保存することをおすすめします。
- 故障、修理、電池消耗等に起因するデータの消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。特に重要なデータは複数の記憶装置に保存することをおすすめします。

  なお、当社はいかなる理由においても本機の記憶内容の保護ならびに損害についての責任は一切負いません。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書に使用されている画面は、取扱説明書用に特別に作成されたもので、一部、実際の製品と異なることがあります。
- 市場ニーズの変化に応じて仕様・周辺機器等は随時変更されるものであり、本書の内容と合致しない部分が発生することがあります。

目　次

安全上のご注意 3

使用上のご注意 8

第１章　使用前の準備 15

1-1 本機でできること 16

1-2 各部の名称と機能 17
- 各部の名称 17
- 各部の主な機能 18
- フリップカバーについて 19
- スタイラスについて 19

1-3 初期セットアップ 21
- 初期セットアップの手順 21
- 画面（タッチスクリーン）の各種調整について 22

1-4 電源について 23
- 内蔵バッテリの利用について 23
- AC アダプタの利用について 26

1-5 コンパクトフラッシュカードの利用 28
- カードの取り付け／取り外し 28
- メモリカードについて 30
- モデムカードについて 31
- デジタルカメラカードについて 31

1-6 PC カードユニットの利用 32
- PC カードユニットを取り付けるには 32
- PC カードユニットを取り外すには 33

1-7 パソコンとの接続 34
- 接続の可能なパソコンについて 34
- パソコンとの接続のしかたについて 35
- クレードルを使って接続するには 36
- CASSIOPEIA USB ケーブルを使って接続するには 39
- CASSIOPEIA RS-232C ケーブルを使って接続するには 40

1-8 携帯電話／ PHS の接続 41

第２章　基本操作 44

2-1 本機の起動 45
- 本機を起動するには 45

2-2 プログラムについて 46
アイコンメニューを使ったプログラムの起動 48

2-3 トップメニューについて 49
トップメニューからプログラムを起動するには 49
トップメニューのプログラムの並び順を入れ替えるには 50
プログラムを削除するには 50
アイコンメニューにプログラムを割り当てるには 51

2-4 各プログラムに共通の操作について 52
システムトレイについて 52
コマンドバーについて 54

2-5 文字の入力 55
入力パネルの構成 55
入力パネルの種類 56
キーボードタイプの入力パネル 57
手書き認識 62
文字の変換について 63
文字の編集について 67

2-6 メモ 70
手書き書類（ファイル）の作成 71
テキスト書類（ファイル）の作成 72
書類に名前を付けて保存するには 74
リスト画面上での各種操作 75

2-7 時計 77
時計の設定を行うには 77
アラームを設定するには 79
日付／時刻の表示形式を設定するには 80

2-8 電卓 81
各キーの働き 81
演算例 82
演算中の各種操作について 84
コピー機能について 85

第３章　PIMの利用 86

3-1 PIMの概要 87
パソコンとの連携利用について 87

3-2 スケジュール 88

3-2-1 予定データの入力 89
新規データの入力 89
予定データの編集 92
予定データの他のプログラムへの転送 95

3-2-2 予定データの表示 97
１日表示 97
週表示 98
３ヶ月カレンダー 101

3-2-3 各種設定について 102
日付の色設定 102
先頭曜日の設定 103
アラーム設定 104

3-3 住所録 105

3-3-1 データの入力 105
新規データの入力 105
データの編集 106

3-3-2 データの表示 108
リスト画面 108
詳細画面 111
データの検索について 112

3-4 To Do 114
新規データの追加とデータの編集 114
To Do データの他のプログラムへの転送 117

第４章　インターネットの利用 119

4-1 概要 120
本機のインターネット機能の概要 120
インターネット接続には何が必要？ 120

4-2 通信設定 122
通信セットについて 122
ダイヤルアップ接続設定を行う 123
LAN 接続の設定を行う 131
通信セットの編集 134

4-3 メール（電子メールの利用） 136
メールの起動 136
アカウント／フォルダー覧画面について 138
アカウントの編集について 140
メールの送受信 143
送信メールの作成 145
メールの表示について 156
受信メールに対する各種操作 158
フォルダの作成とメールの整理 165
各種の設定について 170

4-4 ブラウザ 173
ブラウザ画面について 173
ブラウザの設定 176
Web ページの表示について 177
ブックマークの登録と呼びだし 179
ブックマークの整理 182
Web ページの保存 185
保存した Web ページの整理 187
Web ページ上の画像の保存 189

第５章　画像・音楽関連プログラム 191

5-1 画像ビュアー 192
画像ビュアーで扱うことができるファイルについて 192

5-1-1 撮影 193
各種の撮影の操作 193

5-1-2 画像の表示 200
インデックス画面 200
１画像表示画面 203
スライドショー表示画面 207

5-1-3 フォルダとファイルの操作について 211
フォルダに対する各種操作 211
ファイルに対する各種操作 212

5-2 動画再生 215
インデックス画面 216

5-2-1 動画再生画面での各種操作について 219

5-3 音楽再生 225
オーディオファイルの再生について 225
再生リスト画面の操作 229

第６章　ユーティリティ 232

6-1 バックアップ 233
操作前のご注意 233
バックアップについて 233
リストアについて 235
バックアップファイルの削除 236

6-2 ファイル管理 238
ファイル管理の画面と基本操作 238
ファイル／フォルダに対する各種の操作 239

第７章　パソコンとの連携 242

7-1 概要と準備 243
データをやりとりするための準備 244
通信設定について 245

第８章　各種設定 246

8-1 設定の概要 247
各設定項目の画面を表示するには 248
設定メニュー画面を閉じるには 248

8-2 個別の設定操作 249
オーナー情報 249
パスワード 249
画面デザイン 250
コントラスト＆明るさ 250
タップ位置補正 253
ボリューム＆サウンド 253
パワーマネージメント 255
メモリの使用量 255
ユーザー辞書 257
ドライバ一覧 259

補足情報 260

リセットとデータ復旧 261
リセットについて 261
データの復旧について 262

トラブルシューティング 269
一般的な操作に関するトラブルシューティング 269
インターネット接続に関するトラブルシューティング 271

ローマ字入力一覧 273

製品仕様 275

索引 276

索引 277
本製品の譲渡に関するご注意 280
お問い合わせ先 281

第 1 章

使用前の準備

1-1　本機でできること

本機はOSとしてWindows CE 3.0を組み込んだ、小型携帯端末です。本機のプログラムを利用した個人情報管理、インターネット接続、音楽や動画の再生などをはじめ、付属のクレードルを使って本機とパソコンを連携させることも可能です。本機に付属のプログラムで、次のようなことができます。

プログラム	できること	参照先
メモ	手書きのメモ、またはタイプしたテキストによるメモを作成できます。	第2章
スケジュール	予定を管理するためのプログラムです。	第3章
住所録	氏名・電話番号・住所・電子メールアドレスなどの情報を登録、管理できます。	第3章
To Do	しなければならない仕事や作業を管理できます。	第3章
メール	インターネットメールの送受信を行います。	第4章
ブラウザ	ホームページの閲覧プログラムです。	第4章
通信設定	インターネットプロバイダへのダイヤルアップ接続やLAN接続、ケーブルを使ったパソコンへの接続などの各種接続設定を行います。	第4章 第7章
画像ビュアー	別売品のデジタルカメラカードを使った静止画の撮影や、画像データの閲覧ができます。	第5章
音楽再生	MP3データの再生ができます。	第5章
動画再生	CMF (Casio Movie File) 形式の動画データの再生ができます。	第5章
ファイル管理	本機のメインメモリ／メモリカード上のファイルの表示、および各種ファイル操作を行えます。	第6章
バックアップ	本機のデータをメモリカードにバックアップします。	第6章

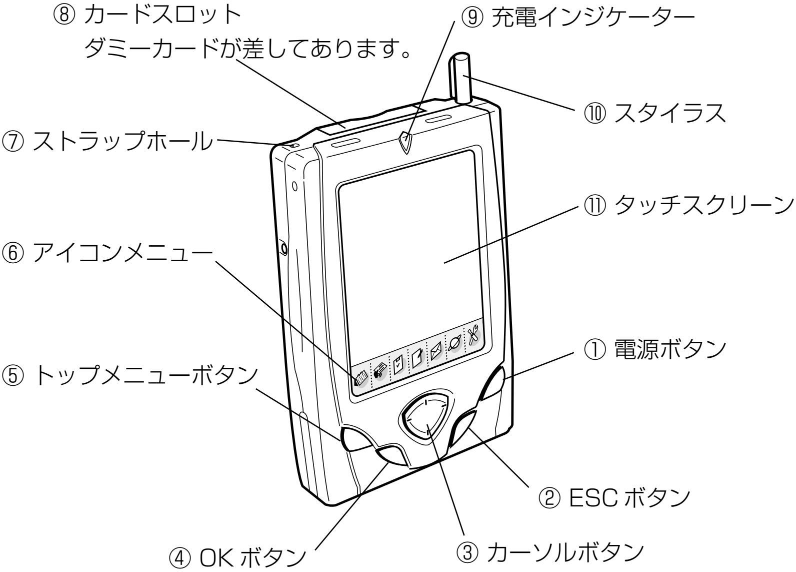
MEMO

- 本機の利用をはじめる前に、必ず「1-3 初期セットアップ」(21ページ) の操作を行ってください。
- 初期セットアップ後は、本章および第2章をご一読ください。本機の基本的な取り扱い方、操作方法について説明されています。
- 一部のプログラムは、付属のCD-ROMからのインストールが必要です。

1-2　各部の名称と機能

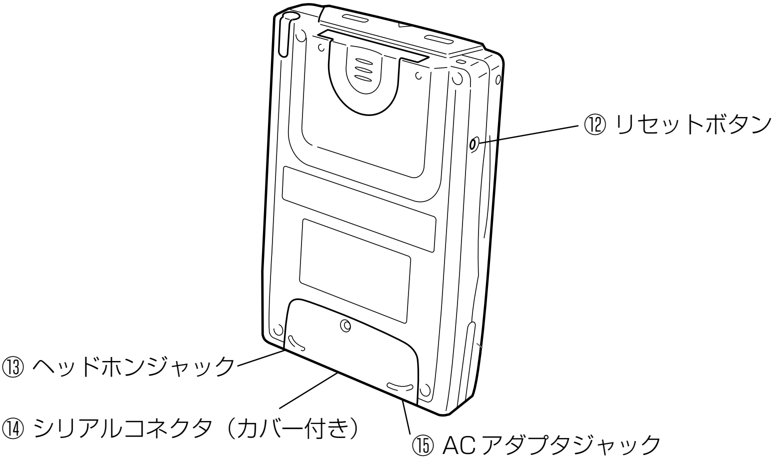
各部の名称

表面／上面



※イラストはフリップカバーを取り外した状態です。フリップカバーについては19ページをご覧ください。

側面／底面



各部の主な機能

以下の番号は、17 ページのイラストと対応しています。

表面／上面

① 電源ボタン
電源を入れたり切ったりするためのボタンです。

② ESC ボタン
パソコンの ESC キーと同様の働きをします。

③ カーソルボタン
パソコンの上下、左右カーソルキーと同等の働きをするボタンです。

④ OK ボタン
パソコンの ENTER キーと同様の働きをします。

⑤ トップメニューボタン
トップメニュー（49 ページ参照）を表示します。

⑥ アイコンメニュー
アイコンに割り当てられているプログラムを起動することができます（48 ページ参照）。

⑦ ストラップホール
市販のストラップなどを通すための孔です。

⑧ カードスロット
コンパクトフラッシュカードを差して利用することができます（29ページ参照）。

⑨ 充電インジケーター
ACアダプタの接続中に点灯し、充電中はオレンジ色、充電完了時は消灯します。

⑩ スタイラス
本機のタッチスクリーン上の操作を行うための専用のペンです。「スタイラスについて」（19 ページ）をご覧ください。

⑪ タッチスクリーン
情報の表示画面であると同時に、付属のスタイラスを使った本機の操作や、データの入力などを行います。

側面／底面

⑫ リセットボタン
本機を再起動（リセット）する際に利用します。詳しくは261 ページをご覧ください。

⑬ ヘッドホンジャック
市販のヘッドホンを接続することができます。

⑭ シリアルコネクタ（カバー付き）

本機を携帯電話やパソコンなどと接続するためのコネクタです(36~43ページ参照)。

⑮ AC アダプタジャック

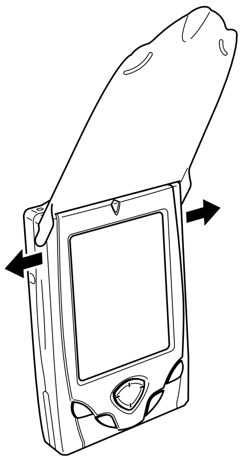
付属の AC アダプタを接続します(24 ページ参照)。

フリップカバーについて

本機には、開閉式のフリップカバーが付いています。
タッチスクリーン保護のため、本機をご使用にならない間は、フリップカバーを閉じておいてください。

フリップカバーを取り外すには

フリップカバーは、必要に応じて取り外すことができます。
カバーを開いた状態で、カバー両側の取り付け部を下図に示す方向に軽く広げ、取り外します。取り外す際には、あまり強い力を入れないようにご注意ください。



スタイラスについて

本機へのデータの入力など、ほとんどの操作は、スタイラスを使って行います。スタイラスは、本体右上のスタイラスホルダーに収納されています。

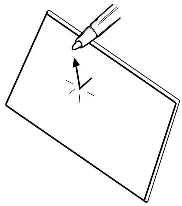
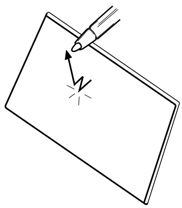
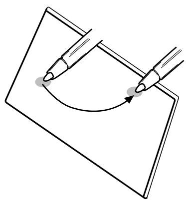
スタイラスを使うには、スタイラスホルダーから引き出して、普通のペンや鉛筆などと同じ要領で手に握ってください。

◆ご注意◆

- スタイラスをなくさないようご注意ください。スタイラスを使わないときは、必ずスタイラスホルダーに収納するようにしてください。
- スタイラスの先を破損しないようにご注意ください。破損したスタイラスで本機のタッチスクリーンの操作を行うと、タッチスクリーンを傷つけることがあります。
- 本機のタッチスクリーンの操作には、付属のスタイラス（または同等品）をご利用ください。ペンや鉛筆などの筆記具は使わないでください。

スタイラスを使った操作

タッチスクリーン上では、表示されているボタンやメニューなどを、付属のスタイラスで直接操作します。パソコン上のマウス操作の「クリック」や「ドラッグ」に相当する操作を、本機上ではすべてスタイラスを使って行うことができます。

タップ	タッチスクリーンを軽く 1 回つつく操作です。メニューを表示させたり、画面上のボタンを押すときには、タッチスクリーンを「タップ」します。	
ダブルタップ	タッチスクリーンを、 2 回続けて軽くつつく操作です。マウスのダブルクリックの操作に相当します。	
ドラッグ	タッチスクリーン上をスタイラスを使って「引きずる」操作です。画面上のツマミやアイコンなどを移動したり、図を描いたりする際には、この操作を行います。マウスのドラッグ操作と同様です。	

1-3　初期セットアップ

初期セットアップの手順

本機をはじめて使う際には、次の手順で初期セットアップを行います。

1. 本機にACアダプタを接続し、内蔵バッテリを充電します（23ページ参照）。

> **◆ご注意◆**
> CASSIOPEIAをはじめてご利用になる前に、必ず内蔵バッテリの充電を行ってください。充電を行わないと、CASSIOPEIAは動作しません。

2. 本機の電源ボタンを押しながら、スタイラスでリセットボタンを押します。

- 起動画面が表示され、しばらくするとタッチスクリーンの補正画面になります。

3. 画面の指示に従って、本機の初期設定を順次行います。

4. 設定が終了すると、トップメニュー画面が表示されます。

- トップメニューについて詳しくは、第2章をご覧ください。
- 初期セットアップで行った設定は、後で変更することができます。本機の各種設定について詳しくは、第8章をご覧ください。
- 操作を終了したら、電源ボタンを押して、本機の電源を切ってください。

> **◆ご注意◆**
> もし画面をタップしても反応しなかったり、画面に何も表示されない場合は、リセットの操作を行ってください（261ページ参照）。

画面（タッチスクリーン）の各種調整について

初期セットアップ後、画面が見にくかったり、操作しにくいような場合は、以下の各種の調節を行ってください。

コントラストの調節

画面上の表示が薄すぎたり濃すぎたりして見にくい場合は、電源ボタンを押しながら、カーソルボタンの上側／下側を押してください。上側を押すとコントラストが濃くなり、下側を押すとコントラストが淡くなります。

画面の明るさ調節

暗いところで本機を操作する場合、画面を見やすくするために、画面の明るさを調節することができます。電源ボタンを押しながら、カーソルボタンの右側／左側を押します。右側を押すと画面がより明るくなり、左側を押すと画面がより暗くなります。

タッチスクリーンの補正

タッチスクリーンの反応が悪かったり、タッチスクリーン上でタップした位置と動作との間にずれがある場合は、タッチスクリーンの補正を行ってください。
電源ボタンを押しながらOKボタンを押すと、タッチスクリーンの補正を行うための画面を表示することができます。
補正画面が表示されたら、画面の指示に従って操作してください。

MEMO

- 画面のコントラストや明るさの調節をはじめ、本機の各種の設定について詳しくは、第８章をご覧ください。

1-4　電源について

本機は内蔵バッテリまたは AC 電源を電源として動作します。

内蔵バッテリ・・・・充電式のリチウムイオンバッテリが本機に内蔵されており、満充電で約 6 時間の連続動作が可能です。

AC 電源・・・・・・付属の AC アダプタを本機に直接接続するか、クレードル経由で本機に接続することで、家庭用AC電源（コンセント）から本機に直接電源を供給することができます。ACアダプタの本機への接続中は、内蔵バッテリへの充電が行われます。

内蔵バッテリの利用について

内蔵バッテリの残量チェックと残量警告について

本機を内蔵バッテリでご利用になる際には、以下のことにご留意ください。

- パワーマネージメント画面で、ときどき内蔵バッテリの残量をご確認ください。パワーマネージメント画面については、255 ページをご覧ください。
- 現在の内蔵バッテリの残量は、システムトレイに表示されるアイコンでも確認できます。システムトレイについては、52 ページをご覧ください。

本機の電源を入れた際や使用中に以下のような残量警告メッセージが表示された場合は、すみやかに内蔵バッテリの充電を行ってください。

内蔵バッテリが消耗しています。このまま使用するとデータ保存がされなくなる場合がありますので、速やかに充電してください。

MEMO

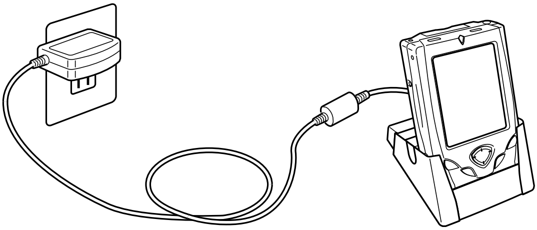
- 充電は、＋10℃～35℃で行ってください。極端な低温下や直射日光下で充電を行うと、内蔵バッテリの劣化や液もれの原因となります。
- 内蔵バッテリの劣化や液もれを防止するため、充電時期にならない場合、また本機を使わない場合でも、1ヶ月に一度は充電をしてください。
- 正しく充電しても、本機を使用できる時間が著しく短い場合は、内蔵バッテリの寿命が考えられます。詳しくは「バッテリ寿命と交換について」（24 ページ）をご覧ください。
- 本機は電源を切った状態でも、メモリ保持などのために微量の電流が必要なため、内蔵バッテリは消耗します。

◆充電時の注意◆

本機の動作状態により充電開始直後に充電を停止することがあります。これは電池の温度上昇により保護機能が働き、充電を停止させたものです。故障ではありません。本機の電源を切って、しばらく放置してから充電を再開してください。

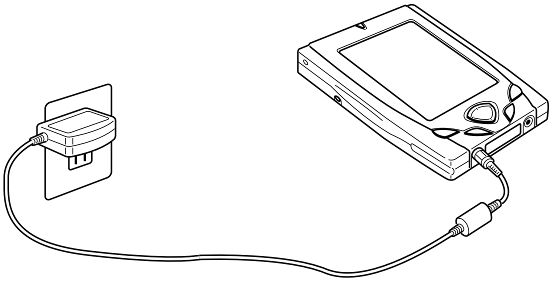
内蔵バッテリの充電

AC アダプタとクレードルを以下のように接続し、本機をクレードルに差し込みます。自動的に充電が開始されます。



- 充電中はオレンジ色のインジケーターが点灯し、充電が完了すると消灯します。充電が完了したら、本機をクレードルから抜きます。

クレードルを使わずに、本機に直接 AC アダプタを接続して充電することもできます。この場合は、充電が完了したら、AC アダプタを本機から抜いてください。



MEMO

- 付属の内蔵バッテリのフル充電には、3～4 時間かかります（本体電源を切った状態で充電を行った場合）。
- 充電中でも本機を利用することができます。ただし、充電時間は、本機の動作状態（および温度など）によって、大きく変わることがあります。
- 本機をご購入直後の初期セットアップのときや、交換後の内蔵バッテリをはじめて充電する場合は、通常よりも長時間の充電が必要です。

バッテリ寿命と交換について

内蔵バッテリの充電を正しく行ったにもかかわらず、短時間で「内蔵バッテリが消耗しています . . .」という警告メッセージが表示される場合は、内蔵バッテリの寿命と考えられます。

このときは、本機をお買い上げの販売店か、最寄りのカシオサービスセンターにご連絡ください。有償にて内蔵バッテリの交換をいたします。

MEMO

- 内蔵バッテリの交換の目安は、約2年（約500回）です。
- LANカード使用時には常に通信中となるため、自動的に電源を切る処理（APO）が行われません。そのため内蔵バッテリは消耗が早くなります。LANカードを使用するときには、ACアダプタやクレードルの利用をおすすめします。

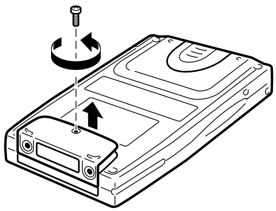
本機およびバッテリの廃棄について

本機を廃棄する場合には、必ず内蔵バッテリを取り外し、別々に廃棄してください。バッテリの廃棄については、「充電式電池リサイクルについて」をご覧ください。

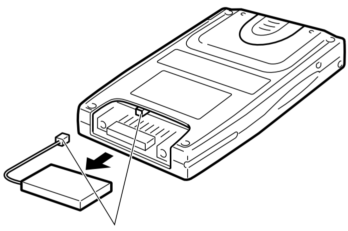
◆ご注意◆

以下の作業は、CASSIOPEIAを廃棄する場合にのみ行ってください。CASSIOPEIAを廃棄する場合を除き、内蔵バッテリを取り外さないでください。

1. バッテリカバーのネジを外し、バッテリカバーを本体から取り外します。



2. 内蔵バッテリのコネクタを引き抜いた上で、コードを持って本体からバッテリを引き抜きます。



充電式電池リサイクルについて

Li-ion

本機の内蔵バッテリは、埋蔵量の少ない高価な稀少資源(コバルト、銅など)を使用していますが、この貴重な金属はリサイクルして再利用できます。またリサイクルすることによってゴミを減らし、環境を守ることができます。ご使用済みの節は捨てないで、最寄りの充電式電池リサイクル協力店にお返しください。

使用済み電池のお届け先(リサイクル協力店)については、以下にお問い合わせください。

社団法人　電池工業会 TEL　03-3434-0261 ホームページ　http://www.baj.or.jp

使用済み充電池をリサイクル協力店に備え付けのリサイクル箱に入れる際は、以下のことにご注意ください。

- 充電池の被覆は剥がさないでください。
- 充電池を分解しないでください。
- 取り外した充電池のコネクタ部分(⊕端子、⊖端子)をビニールテープなどで絶縁し、リサイクル箱にお入れください。

AC アダプタの利用について

本機にACアダプタを接続すると、内蔵バッテリへの充電が行われると同時に、本機をAC電源で作動させることができます。以下のような使い方をする場合は、本機にAC アダプタを接続することをお勧めします。

- 本機とパソコンを接続して利用する場合。
- 本機にコンパクトフラッシュカードを挿入して利用する場合(特に、カードに本機のデータをバックアップする場合)。

ACアダプタは、本機に直接接続するか、クレードルを経由して接続することができます。接続方法は、「内蔵バッテリの充電」(24 ページ)の場合と同様です。

⚠ 警告
ACアダプタは必ず専用品をご使用ください。指定以外のACアダプタの使用は絶対におやめください。本機の故障、電池の破裂などのおそれがあり危険です。

◆ご注意◆

- 内蔵バッテリが極端に消耗しているときは､充電レベルが一定以上になるまで本機を動作させることができません。
- AC アダプタを長時間ご使用になると、AC アダプタ本体が若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- 本機を長時間ご使用にならないときは､ACアダプタをコンセントから抜いてください。
- AC アダプタは屋内でのみご使用ください。

1-5　コンパクトフラッシュカードの利用

本機はコンパクトフラッシュ Type I カードおよび Type II カード（3.3V 仕様）に対応しています。
本機で利用可能なコンパクトフラッシュカードには、以下のような種類があります。

●メモリカード
メモリカードは、本機の「データ記憶用メモリ」と同じ働きをするカードです。メモリカードには、本機で作成した各種のファイルを保存したり、プログラムをインストールすることができます。

●デジタルカメラカード
カシオ製のデジタルカメラカード（JK-710DC）を利用すると、画像ビュアー（192 ページ参照）を使った静止画の撮影が可能になります。

●モデムカード
モデムカードを利用すると、本機を一般の電話回線（一般家庭のモジュラージャックや、モジュラージャック付きの公衆電話など）に接続することができます。

● LAN カード
LAN カード（Ethernet カード）を利用すると、本機を Ethernet ネットワークに接続することができます。

●通信カード
PHS の通信カードを利用すると、32K ／ 64K データ通信が可能となります。

MEMO
- 本機で利用可能なコンパクトフラッシュカードについては、カシオのホームページへの掲載を予定しております。

カードの取り付け／取り外し

◆ご注意◆
- カードを奥まで差し込めないときは、無理に押し込まないでください。破損する場合があります。奥まで差し込めないときは、一度引き抜いてカードの向きを確かめ、再度挿入してください。
- 本機で入力中または編集中で、まだ保存していない状態のデータがある場合は、カードの取り付け／取り外しを行う前に、そのデータを本体のメインメモリに保存しておくことをお勧めします。

- カードを正しく認識できない場合があります（通常の操作でプログラムが起動できなくなります）。このような場合は、コンパクトフラッシュカードを再度挿入し、リセットボタンを押してください。
- 本機は3.3V仕様のコンパクトフラッシュカードのみに対応しています。5V仕様には対応していませんのでご注意ください。

MEMO

- 本機のカードスロットには、ダミーカードが挿入されています。コンパクトフラッシュカードを挿入する際には、ダミーカードを取り外し、保管してください。
- カードスロットに何も入っていない状態では、本機が破損するおそれがあります。コンパクトフラッシュカードを何も挿入していない場合は、かならずダミーカードを挿入しておいてください。

コンパクトフラッシュカードを取り付けるには

1. 本機の電源が切ってあるのを確認します。

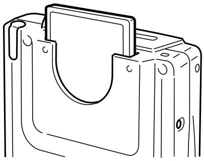
- 電源が入っていたら、電源ボタンを押して電源を切ってください。

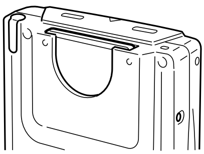
2. ダミーカードをカードスロットから抜きます。

- すでにコンパクトフラッシュカードが挿入されている場合は、そのカードを抜き、再度電源を切り直してください。

3. 使用したいカードをカードスロットに挿入します。

- カードの表側が本機の表側に向くように差し込んでください。向きを間違うと、スロットに奥まで差し込むことはできません。





- カードを斜めに差さないでください。
- カードは奥まで確実に差し込んでください。

メモリカードについて

メモリカードは、本機の「データ記憶用メモリ」と同じ働きをするカードです。メモリカードには、本機で作成した各種のファイルを保存したり、プログラムをインストールすることができます。メモリカードに保存したデータは、本機から取り出しても保持されるため、本機とパソコンなどとの間でデータの受け渡しをしたり、本機のデータをバックアップするのにも便利です。

メモリカード上へのデータのバックアップについて

本機に内蔵されている「バックアップ」を使うと、本体メモリに保存されているすべてのデータ（作成したファイルや追加インストールしたプログラムなど）を、メモリカード上に一括して保存することができます。詳しくは、第６章をご覧ください。

メモリカード上のファイルの利用について

本機の各種プログラムからメモリカード上のファイルを利用するには、メモリカード上に「My Documents」という名前のフォルダを作成した上で、そのフォルダ内に利用したいファイルを保存しておくことが必要です。以下のことにご留意ください。

- 「My Documents」フォルダは、メモリカード上に直に作成してください（別のフォルダの中に作成しないでください）。また、「My Documents」というフォルダ名は半角で入力し、「My」と「Documents」の間に必ず半角スペースを入れてください。
- 各種プログラムからメモリカード上のファイルを利用するためには、「Ｍｙ Documents」フォルダ内に、さらにプログラムに応じたフォルダを作成し、その中に利用するファイルを入れることが必要です。

プログラム名	利用可能な階層
メモ（テキスト書類）	￥My Documents￥Text￥
メモ（手書き書類）	￥My Documents￥Handwriting￥
画像ビュアー	￥My Documents￥Photo￥
音楽再生	￥My Documents￥Music￥
動画再生	￥My Documents￥Movie￥

MEMO

- フォルダの作成は「ファイル管理」を使って行います。フォルダの作成のしかたについては、第６章をご覧ください。

モデムカードについて

コンパクトフラッシュタイプのモデムカードを使用すると、本機をアナログ電話回線経由で会社のコンピュータにダイヤルアップ接続したり、インターネットに接続することができます。
モデムカードの使いかたについてくわしくは、モデムカードに付属のマニュアルをご覧ください。

◆ご注意◆
- モデムカードをご利用になる際は、内蔵バッテリの残り容量が十分ある状態で本機をご使用ください。通信中に電池がなくなると通信が不安定になったり、使用中のデータが消えたり、電源が切れることがあります。

デジタルカメラカードについて

コンパクトフラッシュタイプのデジタルカメラカード(JK-710DC)を使用すると、本機をデジタルカメラとして使用することができます。デジタルカメラカードの使いかたについてくわしくは、デジタルカメラカードに付属のマニュアルをご覧ください。

◆ご注意◆
- デジタルカメラカードに付属の「モバイルカメラアプリケーション」は本機では正常に動作しませんので、本機にインストールしないでください。
- 本機でデジタルカメラカードによる撮影を行う際には、画像ビュアー（192ページ参照）をご利用ください。

1-6　PC カードユニットの利用

オプションのPCカードユニット（JK-865PU）を本機に装着することにより、本機から PCMCIA タイプの PC カードの利用が可能となります。

◆ご注意◆

- PCカードユニットには、PCカードに電源を供給するための充電池が内蔵されています。また、内蔵バッテリの充電／AC電源からの電源供給のためのACアダプタが付属しています。PCカードユニットの内蔵バッテリ、およびACアダプタの取り扱いについては、PC カードユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。

PC カードユニットを取り付けるには

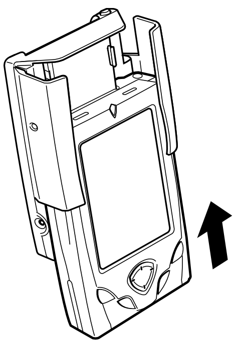
1. 本機の電源が切ってあるのを確認します。

- 電源が入っていたら、電源ボタンを押して電源を切ってください。

2. ダミーカードをカードスロットから抜きます。

- コンパクトフラッシュカードが挿入されている場合は、そのカードを抜きます。

3. PC カードユニットに、CASSIOPEIA 本体を下図の要領で差し込みます。



- PC カードユニットのカードコネクタ部が、CASSIOPEIA 本体のカードスロットの奥までしっかりと入るまで差し込んでください。
- 本機のフリップカバーを取り外してからPCカードユニットに取り付けてください。
- PCカードユニットに本機を取り付けて持ち運ぶときは、本機の表示部の保護のため、付属のソフトケースに入れてください。

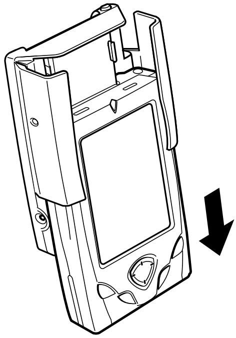
  ソフトケースの硬い面(ロゴの書いてある面)に表示部が向くように入れてください。

PC カードユニットを取り外すには

1. 本機の電源が切ってあるのを確認します。

- 電源が入っていたら、電源ボタンを押して電源を切ってください。

2. 図の矢印の方向に本体を引いて、PC カードユニットから取り外します。



1-7　パソコンとの接続

◆ご注意◆

- 「PC 接続」をインストールする前に、本機とパソコンを接続しないでください。「PC 接続」については、第 7 章をご覧ください。

本機とパソコンを接続すると、本機とパソコン間でのデータの同期やファイルの転送、パソコンへの本機データのバックアップなどができます。また付属のCD-ROMから、本機にアプリケーションプログラムを追加することも可能となります。

接続の可能なパソコンについて

以下の条件は、付属の CD-ROM に含まれている PC 接続（本機とパソコンの間でデータのやりとりを行うためのプログラム）を利用するために必要な動作環境条件です。

ＰＣ接続 必要システム（デスクトップコンピュータ最小必要システム）

- Microsoft® Windows® 2000 Professional (Service Pack 2 以降)、Microsoft Windows NT® Workstation 4.0 (Service Pack 6a 以降)、Microsoft Windows Millennium Edition(Windows Me)、Microsoft Windows 98、Microsoft Windows 95 OSR2 の各日本語版
- Microsoft Internet Explorer 4.0 以上
- Windows NTの場合はPentium® プロセッサを搭載したデスクトップコンピュータ (Windows 2000 の場合は 166MHz が必要)
- Windows Me の場合は Pentium プロセッサを搭載したデスクトップコンピュータ (150MHz が必要)
- Windows 95/98 の場合は 486/66DX 以上のプロセッサ(Pentium 90MHz 以上を推奨) を搭載したデスクトップコンピュータ
- Windows 95/98 または Windows NT Workstation 4.0 の場合は 16MB のメモリ(メモリが多いほどパフォーマンスが向上)。
- Windows NT の場合は 32MB を推奨。
- Windows 2000 の場合は 64MB を推奨。
- Windows Me の場合は 32MB のメモリ。
- 30MBのハードディスク空き容量(実際には必要な容量は、選択する機能と使用されるシステム構成によって異なります)
- USB ポート(Windows 98、Windows 2000 または Windows Me のみ利用可能)、またはボーレート115200bpsで動作可能な9ピンの通信ポート(オプションの RS-232C ケーブルが必要)
  使用されるハードウェア環境によっては正しく動作しない可能性があります。

- CD-ROM ドライブ
- 256色以上のVGAグラフィックスカードまたは互換のあるビデオグラフィックスアダプタ
- キーボード
- Microsoft Mouse または互換のあるポインティングデバイス

MEMO

- CASSIOPEIA のスケジュール、住所録、To Do、メールのシンクロナイズはMicrosoft Outlook® 97/98/2000 を標準でサポートしています。Microsoft Outlook® 97/98/2000 の利用条件は、上記の環境とは異なります。
- 付属のCD-ROM に含まれるソフトの利用条件は、上記の環境とは異なる場合があります。詳しくは、CD-ROM 内に含まれるドキュメント（ReadMe.txt など）を参照してください。
- すべての種類のパソコンでの動作を保証するものではありません。

◆ご注意◆

- 赤外線ポートやモデムの付いたノートパソコンなどでは、シリアル通信ポートが通常のシリアルインターフェースとして使えるようになっていないものがあります。本機とパソコンをシリアルケーブルで接続する場合は、接続するシリアル通信ポートを、通常のシリアルインターフェースとして使用できる状態に設定してください。また、デスクトップパソコンでも、使用可能なシリアル通信ポートのポート番号（COM1、COM2など）を確認してから、PC 接続のインストールを始めてください。シリアル通信ポートの設定について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご参照ください。

パソコンとの接続のしかたについて

本機とパソコンの接続には、次の方法があります。

• クレードルを経由して接続する場合

クレードルとパソコンをUSB 接続したうえで、本機をクレードルに取り付けます。クレードルとパソコンを接続したままにしておくと、必要なときに本機とパソコンをさっと接続することができ便利です。

•CASSIOPEIA USB ケーブルを使って接続する

専用のCASSIOPEIA USBケーブル（オプション）を使って、本機とパソコンを直接接続します。

•RS-232C ケーブルを使って接続する

専用のCASSIOPEIA RS-232C ケーブル（オプション）を使って、本機とパソコンを直接接続します。

◆ご注意◆

- 接続を行う前に、「接続の可能なパソコンについて」（34 ページ）をご覧になり、接続が可能なパソコンかどうかをご確認ください。
- 実際にパソコンと本機の間でデータのやりとりを行うためには、パソコン側にPC接続をインストールする必要があります。PC 接続のインストール方法については、クイックスタートガイドをご覧ください。
- PC 接続の使い方については、PC 接続のヘルプをご覧ください。

MEMO

- 本機とパソコンの接続を行う際は、本機の「通信設定」上で、パソコンとの接続設定をご確認ください。詳しくは第 7 章をご覧ください。

クレードルを使って接続するには

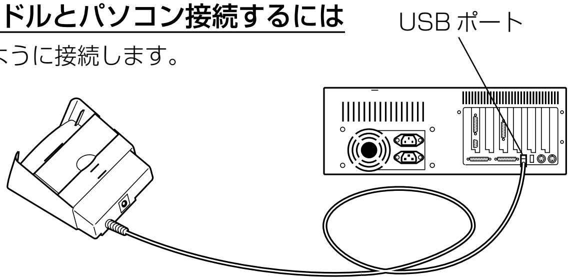
クレードルを使って接続する場合は、まずクレードルのケーブルをパソコンのUSBポートに接続し、次に本機をクレードルに取り付けます。

◆ご注意◆

- 本機とパソコンを接続する前に、パソコンに「PC接続」をインストールしてください。
- 以下の説明中の接続図は一般的な例です。パソコンのUSBポートの位置は、パソコンの機種によって異なります。お持ちのパソコンに付属の説明書をご参照のうえ、正しく接続を行ってください。

クレードルとパソコン接続するには

下図のように接続します。



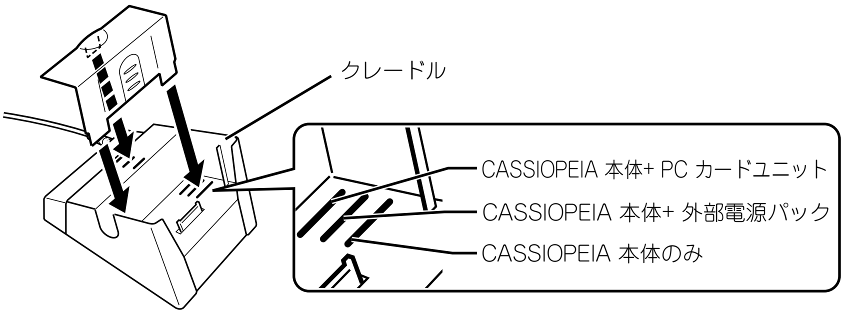
本機をクレードルに取り付けるには

本機のクレードルへの取り付けは、以下の手順で行います。

1. クレードルを、机の上など水平で安定した場所に置きます。

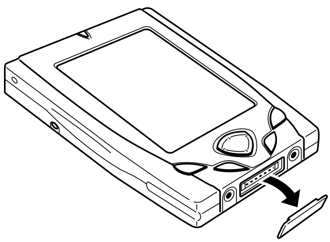
2. クレードルの背板を適切な位置に差し込みます。

- 本機にPCカードユニット（32ページ参照）や外部電源パックを取り付けたまま、本機をクレードルに取り付けることができます。下図を参照し、本機の状態に応じて、背板を適切な位置に差し込んでください。

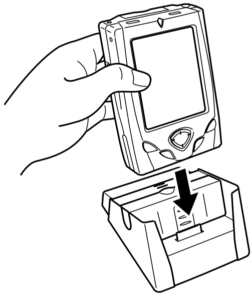


3. 本機の電源を切ります。

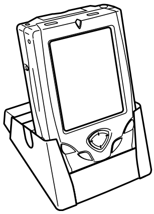
4. 本機のシリアルコネクタカバーを取り外します。



5. 本機をクレードルに対して以下の図のような向きに合わせます。



6. 下図のように本機をクレードルに差し込みます。

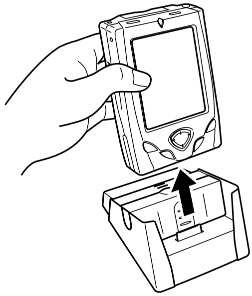


◆ご注意◆

- 溝の位置を合わせ、本機を最後まで確実に差し込んでください。
- クレードルに取り付けた時はシリアルコネクタカバーをなくさない様に保管し、CASSIOPEIA を持ち運ぶときは装着してください。

本機をクレードルから取り外すには

下図のように、本機をまっすぐ上に引き抜いて取り外してください。



CASSIOPEIA USB ケーブルを使って接続するには

専用のCASSIOPEIA USBケーブル（JK-582CAオプション）を使って、本機とパソコンのUSBポートを直接接続することができます。

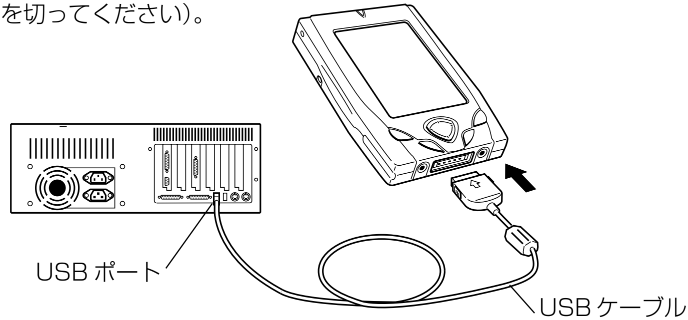
◆ご注意◆

- 本機とパソコンを接続する前に、パソコンに「PC接続」をインストールしてください。
- 以下の接続図はひとつの例です。パソコンのUSBポートの位置は、パソコンの機種によって異なります。お持ちのパソコンに付属の説明書をご参照のうえ、正しく接続を行ってください。

接続は、以下の手順で行います。

1. パソコンのUSBポートに、CASSIOPEIA USBケーブルを接続します。
2. 本機の電源を切ります。
3. 本機のシリアルコネクタカバーを取り外します。

4. USBケーブルのもう片側を、下図のように本機のシリアルコネクタに差し込みます。自動的に本機の電源が入ります（ご使用にならないときは電源を切ってください）。



CASSIOPEIA RS-232C ケーブルを使って接続するには

専用のCASSIOPEIA RS-232Cケーブル（JK-580CAオプション）を使って、本機とパソコンのシリアルポートを直接接続することができます。

◆ご注意◆

- 本機とパソコンを接続する前に、パソコンに「PC接続」をインストールしてください。
- 以下の接続図はひとつの例です。パソコンのシリアルポートの位置は、パソコンの機種によって異なります。お持ちのパソコンに付属の説明書をご参照のうえ、正しく接続を行ってください。

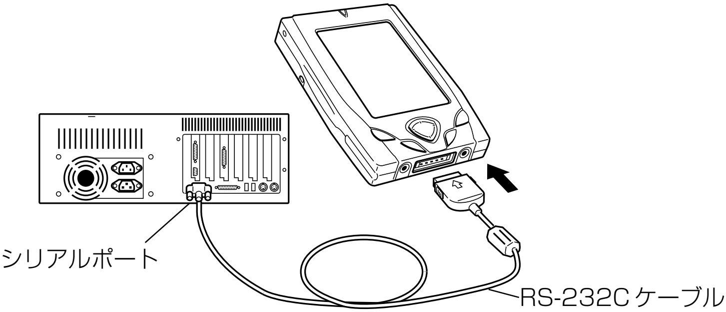
接続は、以下の手順で行います。

1. 本機とパソコンの電源を切ります。

2. パソコンのシリアルポートに、CASSIOPEIA RS-232C ケーブルを接続します。

3. 本機のシリアルコネクタカバーを取り外します。

4. RS-232C ケーブルのもう片側を、下図のように本機のシリアルコネクタに差し込みます。自動的に本機の電源が入ります（ご使用にならないときは電源を切ってください）。



1-8　携帯電話／PHS の接続

本機を携帯電話またはPHS と接続することで、本機をインターネットに接続し、インターネット上のホームページの閲覧や電子メールの送受信を行うことができます。

MEMO

- 本機を使ったインターネットへの接続については、第４章「インターネットの利用」をご覧ください。

接続用ケーブルについて

接続したい携帯電話／PHS に応じて、以下の接続用ケーブルを使ってください。

デジタル携帯電話接続用ケーブル	：JK-530CA（PDC 対応）
	JK-540CA（cdmaOne 対応）
PHS 接続用ケーブル	：JK-520CA（NTT ドコモ、アステル対応）
PHS 接続用ケーブル＊	：JK-521CA（DDI ポケット対応）

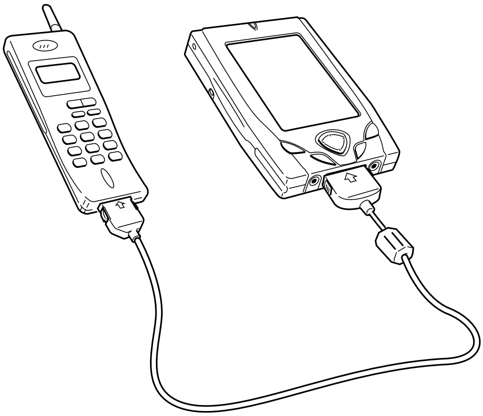
＊DDIポケットのH"（エッジ）およびα-DATA32対応電話機はPIAFS（32kbps）のみ通信可能です（2001 年９月現在）。サポートする通信方式に関しましては、Pocket PCカシオペアホームページ（http://www.casio.co.jp/pocketpc/）にて最新情報をご案内しております。

MEMO

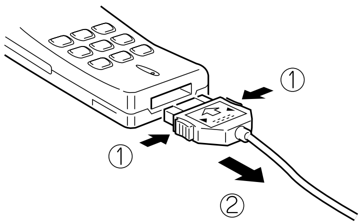
- NTT ドコモのドッチーモの PHS データ通信にも対応しています。
- cdmaOne は回線交換方式およびパケット通信（対応した携帯電話が必要）に対応しています。

本機と携帯電話／PHS を接続するには

接続は、本機と携帯電話の電源を切った状態で、以下のように行います。



取り外すときは、プラグの両側の解除レバーを押しながら、まっすぐに引き抜いてください。



◆ご注意◆

- 電波の状態の良好な場所でご使用ください。サービスエリア内でも電波の状態が悪いと、正しく通信できないことがあります。また、電波の状態が良好でも、ノイズなどの影響で通信できないことやエラーになることがあります。そのときはもう一度やり直してください。
- 通信中にケーブルを抜いたり、デジタル携帯電話, PHSの電源を切らないでください。
- デジタル携帯電話同士のパソコン通信の場合、接続できないことがあります。
- 接続ケーブルを抜いてから再度接続するときは、3秒以上間をあけてください。素早い抜き差し（約１秒以内)を行うと通信できなくなることがあります。

- 接続ケーブルは、通信が終了したら必ず抜いてください。
- デジタル携帯電話、PHS は必ず各社の認定品をご使用ください。
- お使いのデジタル携帯電話、PHS の取扱説明書もご覧ください。
- インターネットサービスプロバイダやアクセスポイントの全てについての接続を保証しているものではありません。
- インターネットに接続する前に、あらかじめ本機に携帯電話／PHSを接続してください。
- インターネットに接続する前に、あらかじめ携帯電話／PHSの電波状態を確認してください。携帯電話／ PHS の電波状態の表示が、良い状態（携帯電話／ PHS の電波の受信レベルを表わすアンテナアイコンが２本または３本表示されている状態）のときに通信してください。
- 電波状態の良い場所で、静止した状態で通信されることをお勧めします。
- 通信感度が悪い場合は、携帯電話／ PHS を本機から離れた位置に置いてください。
- 周辺のノイズの影響を受けて、うまく接続できないことがあります。その場合は、場所を変えてもう一度接続し直してください。
- インターネットに接続している間は、通話料金とプロバイダへの接続料金がかかります。

第 2 章

基本操作

2-1　本機の起動

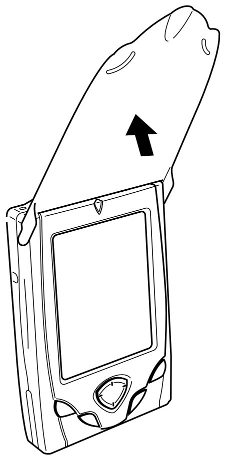
MEMO

- CASSIOPEIA の電源を初めて入れた際には、初期セットアップの操作が必要です。初期セットアップについては、「1-3 初期セットアップ」（21 ページ）または別冊のクイックスタートガイドをご覧ください。以下の説明は、CASSIOPEIA の初期セットアップが済んでいることが前提となります。

本機を起動するには

本機の起動は以下の手順で行います。

1. 本機のカバーを開きます。

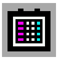
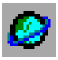


2. 電源ボタン（　）を押します。

- 前回本機の電源を切った際に表示されていた画面が表示されます。

2-2　プログラムについて

本機には、以下の各プログラムがあらかじめインストールされています。

アイコン	プログラム	概要
	メモ	手書きのメモ、またはタイプしたテキストによるメモを作成できます。
	スケジュール	予定を管理するためのプログラムです。
	住所録	氏名・電話番号・住所・電子メールアドレスなどの情報を登録、管理できます。
	To Do	しなければならない仕事や作業を管理できます。
	メール	インターネットメールの送受信を行います。
	ブラウザ	ホームページの閲覧プログラムです。
	時計	「自宅」「訪問先」の２都市の時刻を表示できる時計です。本機の日付／時間の基準となります。
	電卓	四則演算、メモリー計算ができる電卓です。
	設定	スタイラスの補正、画面の明るさ／コントラスト調節など、本機の各種設定を行います。
	通信設定	インターネットプロバイダへのダイヤルアップ接続やLAN接続、ケーブルを使ったパソコンへの接続などの各種接続設定を行います。
	バックアップ	本機のデータをメモリカードにバックアップします。

また、以下のプログラムがCD-ROMで供給され、必要に応じて追加インストールすることができます。

アイコン	プログラム	概要
	画像ビュアー	別売品のデジタルカメラカードを使った静止画の撮影や、画像データの閲覧ができます。
	音楽再生	MP3 データの再生ができます。
	動画再生	CMF (Casio Movie File) 形式の動画データの再生ができます。
	ファイル管理	本機のメインメモリ／メモリカード上のファイルの表示、および各種ファイル操作を行えます。

- プログラムの追加インストールについては、付属のCD-ROM内に含まれているドキュメントをご覧ください。

これらのプログラムの起動や切り替えは、本機のトップメニューを使って行います。トップメニューは、トップメニューボタン () を押すことで表示することができます。

- トップメニューについて詳しくは「2-3　トップメニューについて」(49ページ)をご覧ください。

「GoodCrew Leche」について

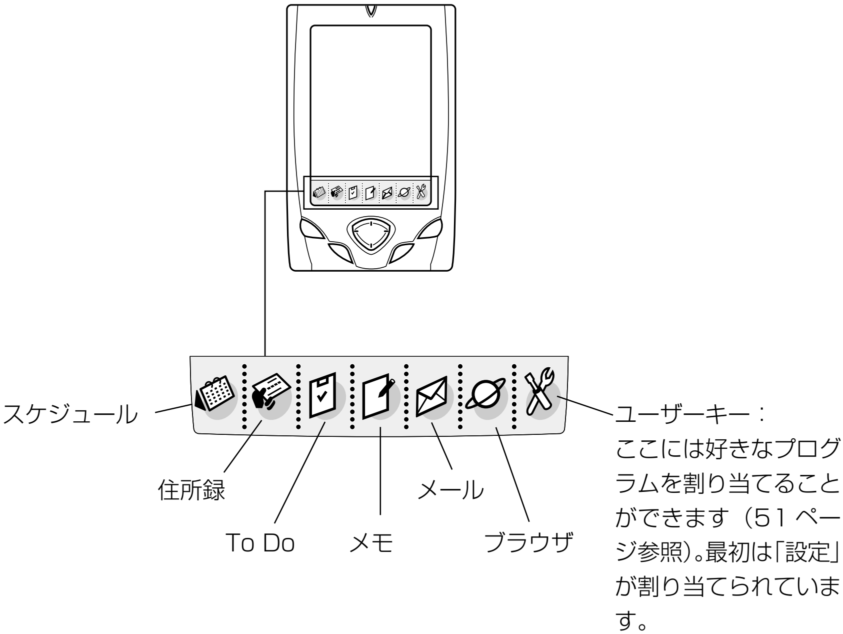
「TopMenu」画面上に表示される「GoodCrew Leche」は、本機をご利用のお客様にさまざまな情報を提供するポータルサイトサービス「GoodCrew Leche」<グッドクルーレーチェ> (http://leche.goodcrew.ne.jp/) のご案内とリンクを含んだプログラムです。

アイコン	ファイル名	主な機能と概要
	GoodCrew Leche	タップすると、GoodCrew Lecheへの接続画面が表示されます。

- GoodCrew Leche に接続するためには、本機をインターネットに接続するための設定などが必要です。詳しくは第４章をご覧ください。
- GoodCrew Lecheに接続するブラウザについては、173ページをご覧ください。

アイコンメニューを使ったプログラムの起動

一部の主なプログラムについては、本機のアイコンメニューを使って起動することもできます。



2-3　トップメニューについて

トップメニューは、トップメニューボタン（ ）を押すことで表示することができます。トップメニューには以下の機能があります。

- プログラムの起動
- プログラムの削除（アンインストール）
- アイコンの移動
- アイコンメニューのユーザーキーへのプログラムの割り当て

［本体］タブ内には、メインメモリ上のプログラムが一覧表示されます。



［カード］タブ内には、メモリカード上のプログラムが一覧表示されます（メモリカードが挿入されている場合）。

インストールされているプログラムが一覧表示されます。

トップメニュー画面

◆ご注意◆

- トップメニューに表示可能なプログラム数は、［本体］タブ内で最大32、［カード］タブ内で最大64までです。この上限を超えてインストールしたプログラムは表示されません。

トップメニューからプログラムを起動するには

1. トップメニューボタン（ ）を押して、トップメニューを表示します。

2. 起動したいプログラムのプログラム名をタップしてハイライト表示にしてから、もう一度タップします。

- 該当するプログラムが起動します。
- メモリカード上のプログラムを起動したい場合は、[カード] タブをタップしてから､起動したいプログラムのプログラム名をタップしてください。

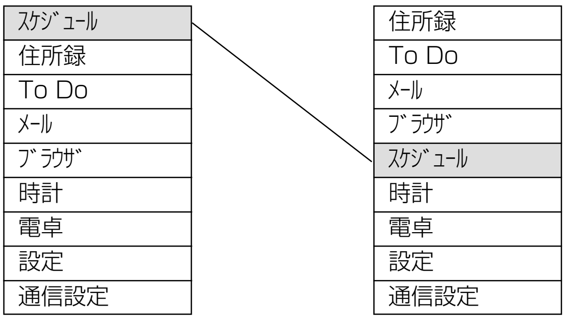
トップメニューのプログラムの並び順を入れ替えるには

1. トップメニュー画面で移動元のプログラム名をタップして選択します。

2. [編集▼] → [アイコンの移動] をタップします。

3. 移動先のプログラム名をタップします。

- タップした位置の直前に､移動元として指定したプログラムが移動します。下図は移動元として「ｽｹｼﾞｭｰﾙ」を選択し、移動先として「時計」をタップした場合の例です。



MEMO

- [本体] タブ内に表示されているプログラムを [カード] タブ内に移動したり、その逆に移動することはできません。

プログラムを削除するには

メモリの空きを増やすために､不要なプログラムを削除することができます｡削除することができるのは、以下のようなプログラムです。

- メインメモリまたはメモリカード上に追加インストールしたプログラム

- メインメモリ上にあらかじめインストールされているプログラムのうちで時計, 設定, 通信設定, バックアップを除く各プログラム

プログラムの削除は以下の手順で行います。

1. トップメニュー画面で削除したいプログラムを1回タップしハイライト表示にします。

- 削除したいプログラムがすでにハイライト表示になっている場合は、この操作は不要です。

2. ［編集▼］→［アプリケーションの削除］をタップします。

- 選択したプログラムを削除して良いかを確認するダイアログが表示されます。

3. 削除して良い場合は［はい］をタップします。

- 削除をキャンセルする場合は［いいえ］をタップします。

MEMO

- 本機にあらかじめインストールされているプログラムを、一度削除した後で再度復帰したい場合は、付属のCD-ROMから再インストールします。詳しくは付属のCD-ROM内に含まれているドキュメントをご覧ください。

アイコンメニューにプログラムを割り当てるには

一番右側のアイコンメニューに対して、自由にプログラムを割り当てることができます。

1. トップメニュー画面で、アイコンメニューに割り当てたいプログラムを1回タップしハイライト表示にします。

- 目的のプログラムがすでにハイライト表示になっている場合は、この操作は不要です。

2. ［ユーザーキー］をタップします。

- 選択したプログラムをアイコンメニューに割り当てるか確認するダイアログが表示されます。

3. 割り当てて良い場合は［はい］をタップします。

- 割り当てをキャンセルする場合は［いいえ］をタップします。

2-4　各プログラムに共通の操作について

システムトレイについて

「システムトレイ」は、本機のタッチスクリーン上の最下部に常時表示されている部分です。



①プログラム状態表示部

- 起動中のプログラムの状態を最大30ヶまでアイコン表示します。ここにアイコン表示が行われるかどうかは、起動中のプログラムによります。
- アイコンがこのエリアに表示しきれない場合は、右端に表示されるタブ（▶）をタップすることで、現在表示されていないアイコンをスクロール表示することができます。
- はメモリのアクセスインジケータです。
  アクセスインジケータが表示中には、以下の操作を行わないでください。
  - リセットボタンの押下
  - カードの抜き差し
  - 通信ケーブルの抜き差し
  - 電源オフ

②システム状態表示部

本機の各種システム情報をアイコン表示します。また、各アイコンをタップすると、そのアイコンに関連した設定画面などが表示されます。

アイコン	意味	タップした際の表示画面
	カードスロットにカードが挿入されています。PCカードユニットが取り付けられている時も点灯します。	「CFスロット情報」ダイアログが表示されます。
	ダイヤルアップ接続中です。	現在のダイヤルアップ接続（124ページ）の状態が表示されます。
	外部電源で動作中です。	パワーマネージメント画面（255ページ）を表示します。
	内蔵バッテリの充電中です。	
	内蔵バッテリが満充電の状態です。	
	内蔵バッテリに十分な残量があります。	
	内蔵バッテリが消耗しています。	
	内蔵バッテリが非常に消耗しています。	
	電源状態のチェック中です（電源オン直後に数秒間だけ表示されます）。	

③ 入力パネル表示ボタン

このボタンをタップするたびに、入力パネルの表示／非表示が切り替わります。

④ 入力パネル切り替えボタン

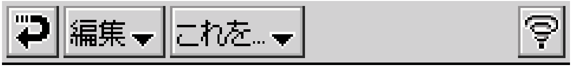
このボタンをタップすると、利用可能な入力パネルのリストが表示されるので、リストの中から入力パネル名をタップして選択します。

⑤ 時計表示

本機に設定されている現在時刻が表示されます。タップすると、時計（77ページ）が起動します。

コマンドバーについて

「コマンドバー」はプログラム画面の一番上に表示され、各プログラムに特有のメニューやボタンが配置されています。配置されるメニューやボタンは、プログラムやプログラム内で表示中の画面に応じて異なりますが、いずれの場合でも基本的な操作のしかたは共通です。



コマンドバー

 .... 現在表示中の画面（データの入力画面など）に入る前の、元の画面に戻ります。

 .... タップすると、現在表示中の画面上での操作などに関するヘルプを表示します。

 .... 現在表示中のプログラムを終了し、トップメニューを表示します。



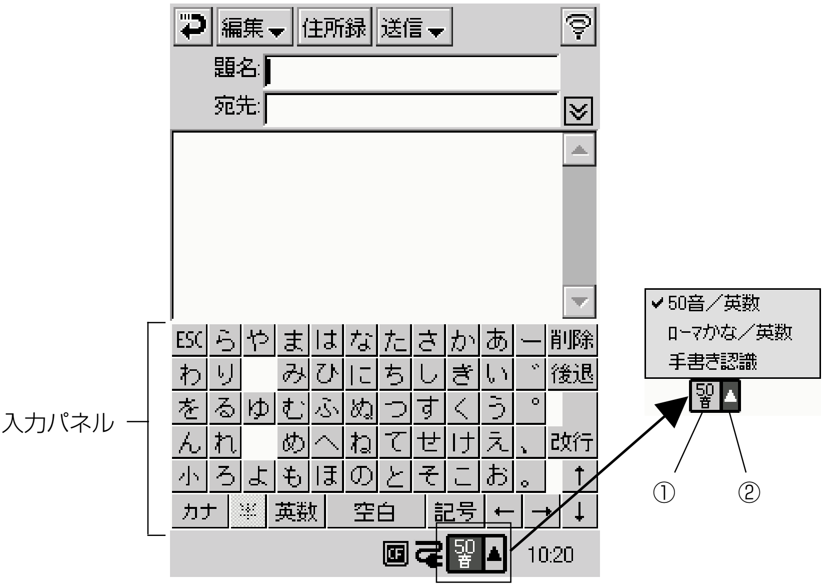
.... メニューは、このように右側に「▼」マーク付きで表示されます。タップするとそのメニューに応じたコマンドの一覧が表示され、実行したいコマンドを選ぶことができます。

2-5　文字の入力

本機で文字を入力する際は、「入力パネル」を使います。入力パネルは、文字の入力が可能な状態になると、画面の下部に自動的に表示されます。

MEMO
- ファイル、フォルダ名にはアクセント文字を除く英字、数字、スペース、漢字、ひらがな、カタカナおよび以下の記号を使用してください。
  !#$%&'()+,-.;=@[]^_`{}~
  それ以外の文字、記号を使用すると他の文字、記号に化けたり誤動作する場合があります。

入力パネルの構成



①入力パネル表示ボタン
タップするごとに、入力パネルを表示したり、隠すことができます。

②入力パネル切り替えボタン
タップすると表示されるメニューから、使いたい項目を選択します。メニュー中で現在選択されている項目には✔が付きます。選択項目に応じて、以下の各入力パネルを使うことができます。

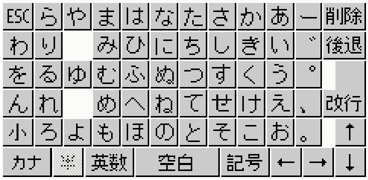
[50音／英数] .... 「50音キーボード」、「英数キーボード」、「記号キーボード」を利用できます。
[ローマかな／英数] .... 「ローマかなキーボード」、「英数キーボード」、「記号キーボード」を利用できます。
[手書き認識] .... 「手書き認識」を利用できます。

各入力パネルについては、次ページの「入力パネルの種類」をご覧ください。

入力パネルの種類

本機の入力パネルは「キーボードタイプ」と「手書きタイプ」に大別され、それぞれ次のような種類があります。入力したい文字種や好みに応じて、各種の入力パネルを切り替えて使います。

<table>
<tr><th></th><th>入力パネル種類</th><th>解説</th></tr>
<tr><td rowspan="4">キーボードタイプ
（→詳細は55ページ）</td><td>



50音キーボード</td><td>ひらがな（またはカタカナ）が50音順に配置されたキーボードです。キーをタップしてひらがな（またはカタカナ）を直接入力します。</td></tr>
<tr><td>



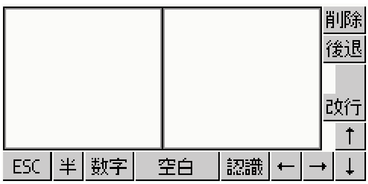
ローマかなキーボード</td><td>一般的なパソコン用キーボードと同じ配列のキーボードです。ローマ字入力によりひらがな（またはカタカナ）を入力します。</td></tr>
<tr><td>



英数キーボード</td><td>一般的なパソコン用キーボードと同じ配列のキーボードです。アルファベットの入力に使います。</td></tr>
<tr><td>



記号キーボード</td><td>各種の記号を入力するための専用キーボードです。</td></tr>
<tr><td>手書きタイプ
（→詳細は62ページ）</td><td>



手書き認識</td><td>ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベットなどの文字を2つの升目に手書きすることで、文字入力ができます。</td></tr>
</table>

キーボードタイプの入力パネル

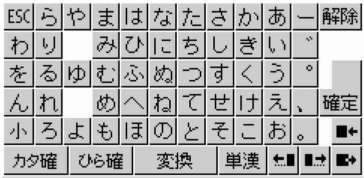
「キーボードタイプ」の入力パネルは、パソコンなどのキーボードを画面上に再現したものです。本物のキーボードのキーを指で押すのと同じように、画面上のキーをタップすることで文字が入力できます。

50音キーボード

50音キーボードは、ひらがな、またはカタカナの入力を直接行うことができるキーボードです。入力後のひらがな／カタカナを、漢字などに変換することもできます。



（入力前の状態）



（変換中の状態）

MEMO

- かなの入力開始後や文字の変換中は、下端／右端の各キーの働きが変化し、キートップの表記も変わります（右側の画面を参照）。変換中の各キーの働きについては、「文字の変換について」（63ページ）をご覧ください。

50音キーボードの各キーは、それぞれ以下の働きをします。

文字キー .... 各キートップの文字を入力します。

[ー] .... 「ー」（長音）を入力します。

[゛] [゜] .... 「が」「ざ」「だ」「ば」行を入力する際は、濁点なしのキーをタップした上で、[゛]キーをタップします（例：　→「が」）。また「ぱ」行を入力する際は、半濁点なしの「は」行のキーをタップしてから、[゜]キーをタップします。

[、] [。] .... 句読点を入力します。

[小] .... タップするとキーが反転表示（小）となり、「ゃ」「ゅ」「ょ」などの小文字および「ゐ」「ゑ」「ヰ」「ヱ」を入力できます。小文字を1文字入力すると、元の状態（小）に戻ります。

[カナ] .... カタカナを入力する場合は、このキーをタップして反転表示（カナ）状態にします。キートップがすべてカタカナ表記に変わります。ひらがなを入力する場合は、タップして通常表示（カナ）状態にします。

[半] .... カタカナ入力時の場合のみ有効なキーです。タップして反転表示（半）の状態にすると、半角カタカナを入力することができます。

[英数] .... タップするとキーが反転表示（英数）となり、英数キーボードに切り替わります。再度タップすると反転表示が解除されます。英数キーボードについては59ページをご覧ください。

[空白] .... タップすると、空白が入力されます。

[記号] .... タップするとキーが反転表示（記号）となり、記号キーボードに切り替わります。再度タップすると反転表示が解除されます。記号キーボードについては61ページをご覧ください。

[←] [→]
[↑] [↓] .... カーソルの位置を移動できます。

[改行] .... 改行を入力します。

[削除] .... 入力済みの文字のうちカーソル右側の1文字を削除します。

[後退] .... 入力済みの文字のうち手前（カーソル左側）の1文字を削除します。

[ESC] .... タップすると、入力した変換前の文字すべてをクリアします。

※ [ESC]キーと[改行]キーは、文字入力を行っていない状態では、それぞれ本体前面の[ESC]キー、[OK]キーと同じ働きをします。

ローマかなキーボード

ローマかなキーボードを使うと、ひらがなやカタカナのローマ字入力や数字の入力を行うことができます。



（入力前の状態）



（変換中の状態）

MEMO

- かなの入力開始後や文字の変換中は、下端／右端の各キーの働きが変化し、キートップの表記も変わります（右側の画面を参照）。変換中の各キーの働きについては、「文字の変換について」（63ページ）をご覧ください。

ローマかなキーボードの各キーは、それぞれ以下の働きをします。

文字キー .... 各キートップの文字によるローマ字入力を行うことができます。例えば[k][a][s][i][o]の順にタップすると「かしお」と入力されます。キーの組み合わせと入力されるかなの対応は、「ローマ字入力一覧」（273ページ）をご覧ください。

数字キー .... 各キートップの数字を入力します。
[TAB] .... タブを入力します。
[http://] .... "http://"と半角アルファベットで入力します。ホームページのURL入力時に便利です。
[www.] .... "www."と半角アルファベットで入力します。ホームページのURL入力時に便利です。
[／] ....「／」記号を入力します。[Shift] が反転表示のときは「@」記号を入力します。
[URL ▽] .... タップすると表示されるリストから、ホームページアドレスの入力時に便利な文字列（".com"、".co.jp"など）を一括入力することができます。
[Shift] .... タップするとキーが反転表示となり、アルファベット部分のキーが大文字に、数字キーの部分が記号キーに切り替わります。1文字入力すると、元に戻ります。
[CAPS] .... このキーをタップして反転表示の状態にすると、キートップのアルファベットが大文字に変わります。
[カナ] .... カタカナを入力する場合は、このキーをタップして反転表示（カナ）状態にします。ひらがなを入力する場合は、タップして通常表示（カナ）状態にします。
[半] .... タップして反転表示（半）の状態にすると、半角カタカナおよび半角数字を入力することができます。

※ [ー] [、] [。] [空白] [英数] [記号] [←] [→] [↑] [↓] [改行] [削除] [後退] [ESC]の各キーの働きは、50音キーボードと同じです。57ページをご覧ください。

英数キーボード

50音キーボードまたはローマかなキーボードの表示中に[英数]キーをタップして反転表示状態（英数）にすると、英数キーボードに切り替わります。英数キーボードを使うと、アルファベットおよび数字の入力を行うことができます。



英数キーボードの各キーは、それぞれ以下の働きをします。

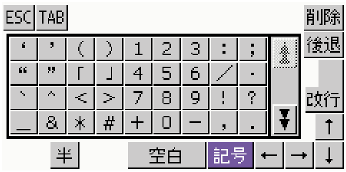
文字キー .... タップすると、各キートップのアルファベットが入力されます。またキーをタップしたまま押さえて上方にドラッグしてから離すと、そのキーの大文字を入力することができます。

数字キー .... 各キートップの数字を入力します。
[-] .... ハイフンを入力します。
[CAPS] .... このキーをタップして反転表示の状態にすると、キートップのアルファベットが大文字に変わり、大文字を続けて入力することができます。
[Shift] .... タップするとキーが反転表示となり、大文字および記号を入力できます。1文字入力すると、元に戻ります。
[Ctrl] .... このキーをタップした後に特定のキーを押すことで、文字編集操作などのコマンドを実行できます。詳しくは「文字の編集について」(67ページ)をご覧ください。
[半] .... タップして反転表示(半)の状態にすると、半角カタカナおよび半角数字を入力することができます。
[英数] .... タップして反転状態を解除すると、50音キーボード(またはローマかなキーボード)に戻ります。
[空白] .... タップすると、空白が入力されます。
[記号] .... タップするとキーが反転表示(記号)となり、記号キーボードに切り替わります。再度タップすると反転表示が解除されます。記号キーボードについては61ページをご覧ください。
[←] [→]
[↑] [↓] .... カーソルの位置を移動できます。
[改行] .... 改行を入力します。
[削除] .... 入力済みの文字のうちカーソル右側の1文字を削除します。
[後退] .... 入力済みの文字のうち手前(カーソル左側)の1文字を削除します。

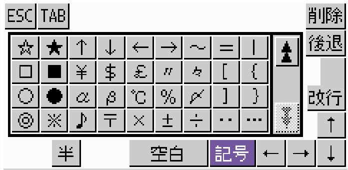
※ [TAB] [http://] [www.] [/] [URL ▽]の各キーの働きは、ローマかなキーボードと同じです。59ページをご覧ください。
※ [ESC]キーと[改行]キーは、文字入力を行っていない状態では、それぞれ本体前面の[ESC]キー、[OK]キーと同じ働きをします。動作は、現在使用しているプログラムなどによって異なります。

記号キーボード

50音キーボードまたはローマかなキーボードの表示中に[記号]キーをタップして反転表示状態（記号）にすると、記号キーボードに切り替わります。記号キーボードを使うと、各種の記号の入力を行うことができます。



（記号キーボード１）



（記号キーボード２）

記号キーボードの各キーは、それぞれ以下の働きをします。

文字キー .... 各キートップの文字（記号または数字）を入力します。

[⇑]／[⇓] ..... タップするごとに、記号キーボード１と２の間で切り替わります。

[ESC] .... タップすると、入力した変換前の文字すべてをクリアします。

[TAB] .... タブを入力します。

[半] .... タップして反転表示（半）の状態にすると、半角カタカナおよび半角数字を入力することができます。ただし、一部の記号（★、■、●など）は半角文字として入力することはできませんので、ご注意ください。

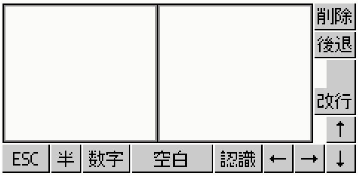
[記号] .... タップして反転状態を解除すると、50 音キーボード、ローマかなキーボード、または英数キーボードに戻ります。

※ [空白] [←] [→] [↑] [↓] [削除] [後退] [改行]の各キーの働きは、英数キーボードと同じです。60 ページをご覧ください。

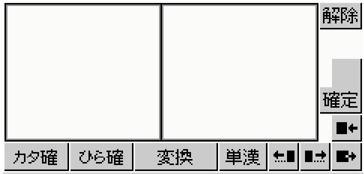
※ [ESC]キーと[改行]キーは、文字入力を行っていない状態では、それぞれ本体前面の[ESC]キー、[OK]キーと同じ働きをします。動作は、現在使用しているプログラムなどによって異なります。

手書き認識

「手書き認識」を使うと、入力パネル上の２つの枠（入力枠）の中に直接文字を書き込むことで、文字が入力できます。



（入力前の状態）



（変換中の状態）

MEMO

- かなの入力開始後や文字の変換中は、下端／右端の各キーの働きが変化し、キートップの表記も変わります（右側の画面を参照）。変換中の各キーの働きについては、「文字の変換について」（63 ページ）をご覧ください。
- 半角カタカナの濁音･半濁音を入力するときは、濁点･半濁点を文字とは別の枠に入力してください。

「手書き認識」入力パネルの各部は、それぞれ以下の働きをします。

入力枠............ これらの枠内に文字を手書きすると、次々と文字の認識が実行され、連続的に入力することができます。

[ESC] .... タップすると、入力した変換前の文字すべてをクリアします。

[半] .... タップして反転表示の状態にしておくと、枠に書き込んだ文字を半角で入力することができます（英数字、カタカナ、記号の場合）。

[数字] .... タップして反転表示の状態にしておくと、枠に書き込んだ文字が数字（または記号）に優先して認識されます。数字を連続して入力したい場合には便利です。

[空白] .... タップすると、空白が入力されます。

[認識] .... タップすると、枠に書き込んだ文字がすぐに認識されます。

[←] [→]
[↑] [↓] .... カーソルの位置を移動できます。

[改行] .... 改行を入力します。

[削除] .... 入力済みの文字のうちカーソル右側の１文字を削除します。

[後退] .... 入力済みの文字のうち手前（カーソル左側）の１文字を削除します。

※ [ESC]キーと[改行]キーは、文字入力を行っていない状態では、それぞれ本体前面の[ESC]キー、[OK]キーと同じ働きをします。

※ 手書き認識パネルをアンインストールすることで本体メモリを大幅に増やすことができます。詳しくは「ドライバ一覧」（259 ページ）をご覧ください。

文字の変換について

ここでは、各入力パネルを使った入力と変換操作について説明します。

文字入力の流れ

入力パネルからひらがなを入力し、漢字かな混じりの文章に変換する操作を例示します。「かいじょうはろくじ」と入力して、「開場は六時」と変換してみましょう。以下の操作を試す場合は、「2-6 メモ」のテキスト書類作成画面（72 ページ）などで行うと良いでしょう。

1. 入力パネルから、元のひらがなを入力します。

50 音キーボードの場合は、以下の順でキーをタップします。

[か] [い] [し] [゛] [小] [よ] [う] [は] [ろ] [く] [し] [゛]

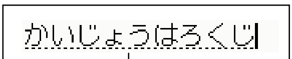
ローマかなキーボードの場合は、以下の順でキーをタップします。

[k][a] [i][j] [y][o] [u]　[h] [a]　[r] [o][k] [u][j] [i]

手書き認識の場合は、左右の升目に交互に 1 文字ずつ手書きします。

「かいじょうはろくじ」

- 現在のカーソル位置に文字が入力されます。

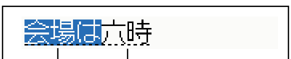


文字を入力して確定する前は、このように文字の下に破線が表示されます。

- 文字を入力すると、入力パネル上の[空白]キーは[変換]キーになります。

2. [変換]キーをタップします。

- 入力した文字が適切な文節に区切られ、変換が行われます。



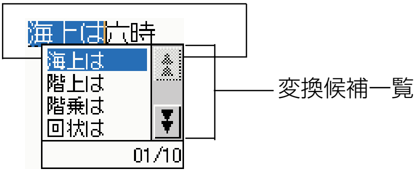
確定前なので、破線表示はそのままです。

現在の変換フォーカス（変換の対象となっている文節）が、このように網かけで表示されます。

- 1度[変換]キーをタップして文字列の変換を開始すると、入力パネルの下端と右端の各キーが変換中に利用するためのキーに切り替わります。これらのキーについて詳しくは「変換中の入力パネル各キーについて」(65ページ)をご覧ください。

3. 意図した文章に変換されていない場合は、再度[変換]キーをタップします。

- 現在の変換フォーカスの変換候補一覧が表示されます。



- [⇑]/[⇓]をタップするごとに前/次の候補が表示されます。

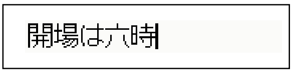
4. 変換候補一覧の中から、採用したい候補をタップします。

- この例の場合は「開場は」をタップします。
- タップすると、現在の変換フォーカスにその変換候補が採用され、変換フォーカスが次の文節に移動します。



5. 文章全体が意図した通りに変換されたら、[確定]キーをタップします。

- 入力内容が確定し、確定前に表示されていた破線や変換フォーカスを示す網かけが消えます。



MEMO

- 手書き認識入力パネルを使って文字を入力する場合は、すべての文字をひらがなで入力せずに、漢字を直接手書きして認識させることもできます。
- 手書き認識入力パネルを使って手書きした文字が正しく認識されなかった場合には、文字認識の別候補を選択し直すことができます。詳しくは「手書き認識の別候補選択について」(66ページ)をご覧ください。

変換中の入力パネル各キーについて

入力した文字列の変換中（1度[変換]キーをタップした後で、まだ[確定]キーをタップしていない状態）は、入力パネルの下端と右端の各キーが変換中に利用するためのキーに切り替わります。これらの各キーは、50音キーボード、ローマかなキーボード、手書き認識のどの入力パネルでも共通です。



変換中の各キーは、それぞれ以下の働きをします。

[カタ確] .... 現在変換フォーカスのある文節を、カタカナで確定します。

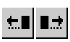
[ひら確] .... 現在変換フォーカスのある文節を、ひらがなで確定します。

[変換] .... 現在変換フォーカスのある文節に対する変換候補一覧を表示します。現在変換候補一覧が表示されている場合は、次の変換候補を選択状態にします。

[単漢] .... 現在変換フォーカスのある文節の単漢字変換を開始し、単漢字の変換候補一覧を表示します。すでに単漢字変換候補一覧が表示されている場合は、次の変換候補を選択状態にします。

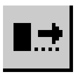
[確定] .... 入力パネルから文字列を入力して1度も[変換]キーをタップしていない状態でタップすると、未確定のすべての文字が確定されます。文字列を入力して[変換]キーをタップした後では、現在変換フォーカスのある文節より前にあるすべての文節が確定されます。

[解除] .... 変換中の状態が解除され、入力パネルから文字列を入力して1度も[変換]キーをタップしていない状態に戻ります。

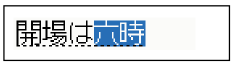
 .... 変換フォーカスを左右の文節に移動します。

操作例1）



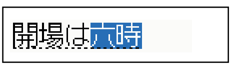


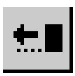
タップ



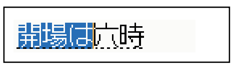
→ 変換フォーカスが右へ

操作例2）

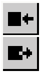




タップ

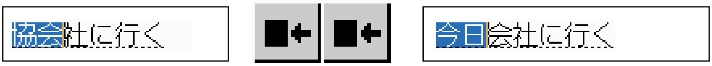


→ 変換フォーカスが左へ



……………… 現在の変換区切り位置を1文字単位で変更します。操作は変換前、変換後のいずれの場合も可能です。

操作例）



2回タップ

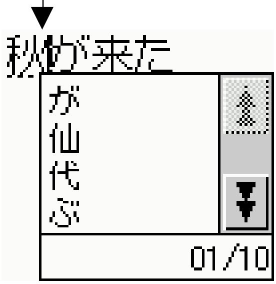
→変換の区切り位置が
2文字左へ移動

手書き認識の別候補選択について

手書き認識入力パネルを使って手書きした文字が正しく認識されなかった場合には、文字認識の別候補を選択し直すことができます。

入力内容を確定する前（文字の下に破線がある状態）は、入力した各文字の手前をタップすることで、認識の別候補を表示することができます。以下は「が」の手前をタップした場合の表示例です。

ここをタップ



表示されたリストの中から選択したい別候補の文字をタップします。

文字の編集について

入力済みの文字列に対しては、文字の追加や削除を行ったり、特定の範囲を選んでコピーして他の位置に挿入する（貼り付ける）など、後からさまざまな編集操作を行うことができます。

MEMO

- ここで説明する各種の文字編集操作は、使用中のプログラムや表示中の画面によっては、必ずしも操作可能でない場合があります。

文字を削除するには

1. 削除したい文字の直後をタップします。タップした位置でカーソルが点滅します。

- カーソルの位置が違う場合は、[←]または[→]キーをタップしてカーソルを移動します。

2. 削除したい文字の直後にカーソルがある状態で、[後退]キーをタップします。

- [後退]キーを 1 回タップするごとに、1 文字ずつ削除できます。

MEMO

- 削除したい文字の直前にカーソルがある状態で、[削除] キーをタップして削除することもできます。

複数の文字を一度に削除するには

1. 削除したい範囲をドラッグして選択します。

- 選択範囲が反転表示となります。

2. [後退]キーまたは[削除]キーをタップします。

- 選択範囲が一括して削除されます。
- [後退]キー／[削除]キーをタップする代わりに、[編集]→[切り取り]（または[クリア]）をタップしても、選択範囲を削除できます。

特定の位置に文字を追加入力するには

1. 文字を追加入力したい位置をタップします。タップした位置でカーソルが点滅します。
   - カーソルの位置が違う場合は、[←]または[→]キーをタップしてカーソルを移動します。

2. 追加したい文字を入力します。

特定の文字を変更するには

1. 変更したい範囲をドラッグして選択します。
   - 選択範囲が反転表示となります。

2. 新しい文字を入力します。

文字をコピーして他の位置に貼り付けるには

1. コピーしたい範囲をドラッグして選択した上で、[編集]→[コピー]をタップします。

2. コピーした内容を挿入したい位置をタップします。タップした位置でカーソルが点滅します。

3. [編集]→[貼り付け]をタップします。

MEMO

- 手順１で[編集]→[コピー]をタップする代わりに、英数キーボード上で[Ctrl]→[c]の順でキーをタップしても、選択範囲がコピーされます。
- 手順２で[編集]→[貼り付け]をタップする代わりに、英数キーボード上で[Ctrl]→[v]の順でキーをタップしても、貼り付けが行われます。

文字を切り取って他の位置に貼り付けるには

「文字をコピーして他の位置に貼り付けるには」の手順１で[編集]→[コピー]の代わりに[編集]→[切り取り]をタップすると、選択範囲の文字列が切り取られます（見かけ上は削除されます）。切り取った文字列は、[編集]→[貼り付け]をタップすることで、現在のカーソル位置に貼り付けることができます。

MEMO

- [編集]→[切り取り]をタップする代わりに、英数キーボード上で[Ctrl]→[x]の順でキーをタップしても、選択範囲を切り取ることができます。

編集した後で編集前の状態に戻すには

文字列に対して何らかの編集操作を行った場合、直前の操作を取り消して、ひとつ前の状態に戻すことができます。

操作例：選択範囲を削除した後で、削除を取り消す。

1. 削除したい範囲をドラッグして選択します。
2. [後退]をタップします。
   - 選択範囲が削除されます。
3. 直前の削除の操作を取り消すには、[編集]→[やり直し]をタップします。
   - 削除を行う前の状態に復帰します。

MEMO

- 手順３で[編集]→[やり直し]をタップする代わりに、英数キーボード上で[Ctrl]→[z]の順でキーをタップしても、元に戻すことができます。
- 手順3の後で[編集]→[やり直し]をタップすると、編集を再実行することができます。上記の例では、選択範囲が削除された手順２の状態に戻ります。

2-6　メモ

メモを使うと、簡単なメモを作成することができます。メモで作成することができる書類（ファイル）には、以下の２種類があります。

- 手書き書類：
  スタイラスを使って画面上に直接文字などを手書きすることができます。
- テキスト書類：
  入力パネルを使ってテキストを入力することができます。

◆ご注意◆

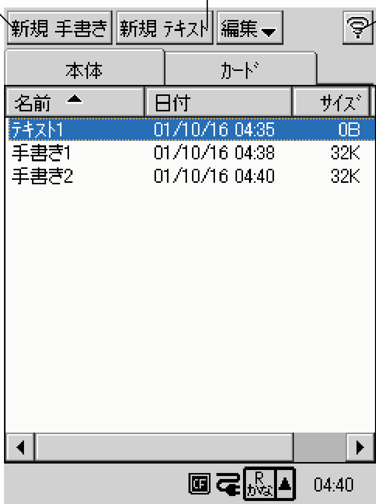
- 一つのファイルに手書きとテキストの両方を混在させることはできません。
- テキスト書類の大きさは最大約65000文字までです。約65000文字をこえるテキスト書類を開いても約65000文字までしか見られません。また、そのまま保存すると約65000文字以上は失われますのでご注意ください。

メモを起動すると、はじめに以下のようなリスト画面が表示されます。

タップすると新規の手書き書類作成画面が表示されます。

タップすると新規のテキスト書類作成画面が表示されます。

トップメニューに戻ります。



リスト画面

［本体］タブ内には、メインメモリ上*のファイルが一覧表示されます。［カード］タブ内には、メモリカード上**のファイルが一覧表示されます（メモリカードが挿入されている場合）。

タップした項目名による並べ替えができます。同じ項目名をタップするごとに、昇順／降順を切り替えることができます。

保存済みのファイルが一覧表示されます。一度タップすると選択状態になり、再度タップするとその書類が開きます。

＊　¥Nand Disk¥My Documents¥Text 内および
　　¥Nand Disk¥My Documents¥Handwriting 内のファイル

＊＊ ¥My Documents¥Text 内および
　　¥My Documents¥Handwriting 内のファイル

手書き書類（ファイル）の作成

メモを使った手書き書類の作成操作について説明します。

手書き書類を新規作成するには

1. リスト画面で［新規手書き］をタップします。

- 手書き書類の作成画面が表示されます。

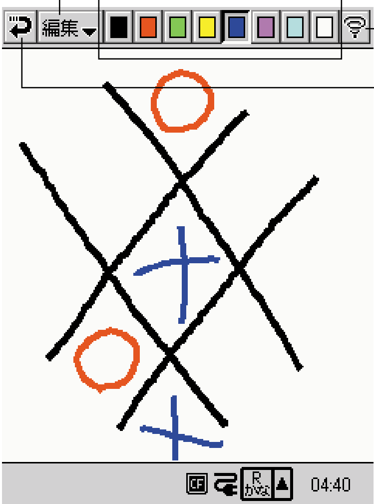
2. スタイラスを使って、画面上に直接手書きを行います。

- 以下の各種操作を行うことができます。

タップすると表示されるメニューで以下の操作が可能です。
ペンの太さ：ペンの太さを「細い」「標準」「太い」のいずれかから選ぶことができます。
やり直し：直前の操作を 1 回だけ取り消すことができます。
すべてクリア：画面上の全内容をクリアします。
名前の変更 / 移動：書類に名前を付けて保存します。
メモ削除：選択中の書類を削除します。
中止：入力を中止します。

ペンの色を選択できます。

書類を保存してトップメニュー表示に戻ります。



書類を保存してリスト表示に戻ります。

3. 作成が済んだら、をタップします。

- 作成した書類が保存され、リスト画面に戻ります。このとき、書類のファイル名は自動的に付けられます。

MEMO

- 書類に名前を付けて保存したい場合、あるいは保存場所（メインメモリ上またはカード上のいずれか）を指定したい場合には、［編集▼］→［名前の変更 / 移動］を使います。操作手順については、74ページの「書類に名前を付けて保存するには」をご覧ください。

テキスト書類（ファイル）の作成

メモを使ったテキスト書類の作成と、関連操作について説明します。

テキスト書類を新規作成するには

1. リスト画面で［新規テキスト］をタップします。

- テキスト書類の作成画面が表示されます。

2. 入力パネルを使ってテキストを入力します。

- 入力パネルの使い方については、「2-5 文字の入力」（55ページ）をご覧ください。
- 本画面では、以下の各種操作を行うことができます。

表示中のテキストを使って新規のメールメッセージを作成できます（73ページ参照）。

書類を保存してトップメニューに戻ります。

書類を保存してリスト表示に戻ります。



タップすると表示されるメニューで以下の操作が可能です。

やり直し：直前の操作を1回だけ取り消すことができます。

切り取り：選択範囲の文字列をカットし、クリップボードに入れます。

コピー：選択範囲の文字列をコピーし、クリップボードに入れます。

貼り付け：現在のカーソル位置に、クリップボードの内容を貼り付けます。

クリア：選択範囲の文字列をクリアします。

すべて選択：画面上の全内容を選択します。

名前の変更/移動：書類に名前を付けて保存します。

メモ削除：選択中の書類を削除します。

中止：入力を中止します。

3. 作成が済んだら、をタップします。

- 作成した書類が保存され、リスト画面に戻ります。このとき、書類のファイル名は自動的に付けられます。

MEMO

- 書類に名前を付けて保存したい場合、あるいは保存場所（メインメモリ上またはカード上のいずれか）を指定したい場合には、［編集▼］→［名前の変更 / 移動］を使います。操作手順については、74ページの「書類に名前を付けて保存するには」をご覧ください。

テキスト書類の内容で新規の送信メールを作成するには

表示中のデータを、以下の対応でメールに転送し、新規の送信メッセージを作成することができます。

メモ	→	メール
ファイル名	→	題名
本文	→	本文

1. テキスト書類の作成画面で［これを▼］→［メールへ送る］をタップします。

- メールが起動し、送信メールの作成画面が表示されます。

2. 宛先やタイトルの指定、本文の編集などの操作を行います。

- 送信メールの作成、およびメールの送信について詳しくは、「4-3 メール」（136 ページ）をご覧ください。

MEMO

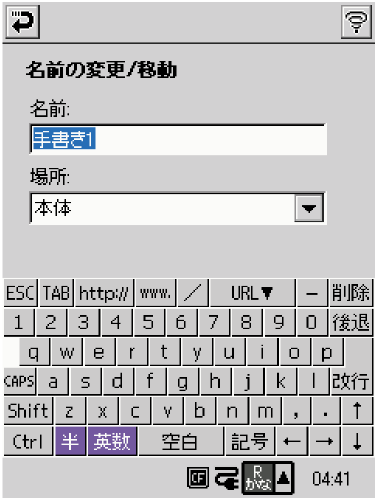
- 上記の手順 1 の操作を行ってメールを起動すると、元々表示していたテキスト書類が未保存だった場合でも、自動的に保存されます。

書類に名前を付けて保存するには

手書き書類またはテキスト書類の作成画面から、以下の操作で書類に名前を付けて保存することができます。また、同時に書類の保存場所を指定することができます。

1. 書類の作成画面で［編集▼］→［名前の変更 / 移動］をタップします。

- ［名前の変更 / 移動］ダイアログが表示されます。



2. ［名前］欄にファイル名を入力します。

- ファイル名を入力しなかった場合は、自動的にファイル名が付けられます。

3. ［場所］欄の▼をタップして、保存場所を選択します。

- 保存場所として本体（本体のメインメモリ）またはカード（メモリカード）を選択できます。カードは本機にメモリカードを挿入している場合のみ選択可能です。

4. をタップします。

- 指定に従って書類が保存され、リスト画面に戻ります。

リスト画面上での各種操作

リスト画面上では、保存済みのメモファイルに対する各種の操作を行うことができます。

ファイルを開いて編集するには

1. リスト画面で開きたいファイルをタップして選択します。

- タップした書類がハイライト表示となり、選択されたことを示します。

2. 選択状態のファイルを再度タップします。

- ファイルが開きます。この後は、「手書き書類を新規作成するには」（71ページ）または「テキスト書類を新規作成するには」（72ページ）と同様の操作で、ファイルを編集することができます。

MEMO

- 選択状態でないファイルをダブルタップして開くこともできます。

ファイルを複製するには

1. リスト画面で複製したいファイルをタップして選択します。

2. ［編集▼］→［コピー作成］をタップします。

- ファイルの複製が作成され、その複製ファイルが開きます。
- このとき、書類のファイル名は、元のファイル名の末尾に「(1)」、「(2)」、.... という連番が付く形で自動的に付けられます。

3. 必要に応じて、内容の編集を行います。

4. をタップします。

- 複製ファイルが保存され、リスト画面に戻ります。

ファイルを削除するには

1. リスト画面で削除したいファイルをタップして選択します。

2. ［編集▼］→［削除］をタップします。

- ファイルを削除して良いかを確認するダイアログが表示されます。

3. 削除して良い場合は［はい］をタップします。

- 削除しない場合は［いいえ］をタップします。

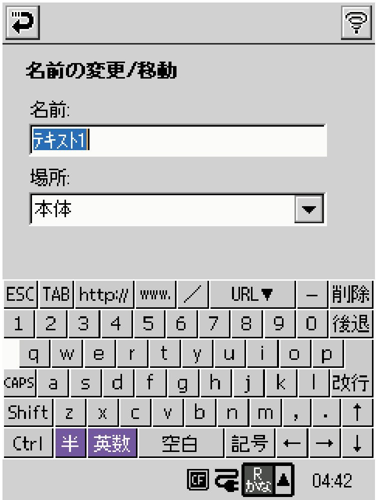
ファイル名の変更／ファイルの移動を行うには

ファイル名の変更、およびファイルの保存場所の移動は、［名前の変更 / 移動］ダイアログを使って同時に行うことができます。

1. リスト画面でファイル名の変更／ファイルの移動を行いたいファイルをタップして選択します。

2. ［編集▼］→［名前の変更 / 移動］をタップします。

- ［名前の変更 / 移動］ダイアログが表示されます。



3. ［名前］欄に新しいファイル名を入力します。

- ファイル名を変更しない場合は、そのままにします。

4. ［場所］欄の▼をタップして、保存場所を選択します。

- 保存場所として本体（本体のメインメモリ）またはカード（メモリカード）を選択できます。カードは本機にメモリカードを挿入している場合のみ選択可能です。
- 保存場所の移動を行わない場合は、そのままにします。

5. をタップします。

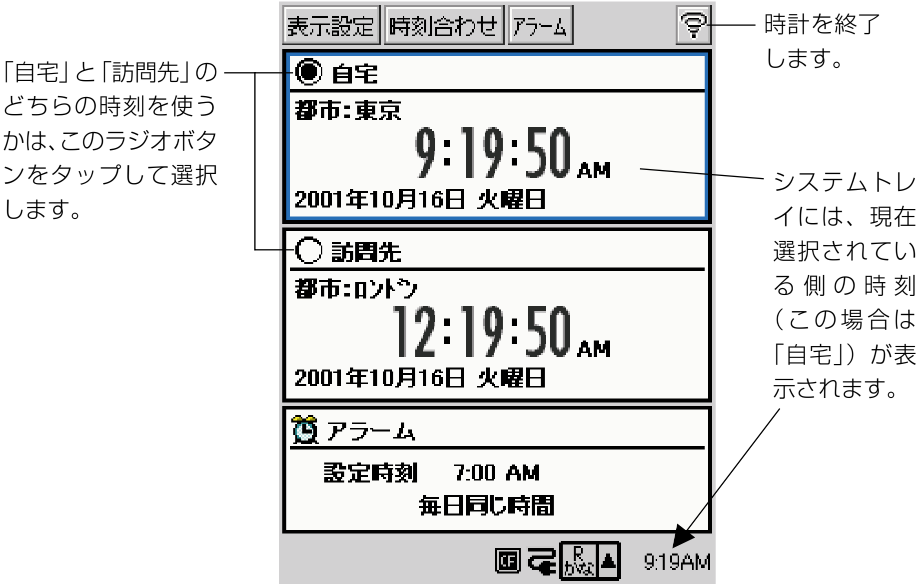
- 指定に従ってファイル名の変更／ファイルの移動が行われ、リスト画面に戻ります。

2-7　時計

トップメニュー（49ページ）で時計をタップするか、システムトレイ（52ページ）上の時計表示部分をタップすると、本機の時計画面が表示されます。

本機の時計は以下の機能を持っています。

- 本機の動作の基準となる日付／時刻設定を行います。
- 「自宅」と「訪問先」の２つの都市を指定することができ、各都市の時刻を画面に表示します。また、「自宅」と「訪問先」のどちらの時刻を使うかを選ぶことができ、訪問先で時計を進めたり遅らせたりする必要はありません。



時計画面

- アラームを設定することができます。
- 本機のすべてのプログラムに適用される日付／時刻に関する表示形式の設定を行うことができます。

時計の設定を行うには

「自宅」、「訪問先」のそれぞれに対して、以下の設定を行うことができます。

- 都市の選択
- 日付／時刻の設定（自宅／訪問先で連動します）
- サマータイムの設定

設定は以下の手順で行います。

1. 時計画面を表示します。

2. 「自宅」または「訪問先」のうち、設定を行いたい側を選択します。
- 「自宅」または「訪問先」のラジオボタンをタップして選択してください。

3. ［時刻合わせ］をタップします。
- 「自宅」または「訪問先」のうち、現在選択されている側の設定画面が表示されます。

4. 画面上で、必要な設定を行います。

［都市］ボックス右側の▼をタップすると表示される都市／GMT との時差リストから、都市を選択します。

［日付］ボックス右側の▼をタップすると表示されるカレンダーを使って日付を指定できます。



- ［時間］ボックスをタップして、入力パネルから時／分／秒を入力するか ▲▼ を使って時刻を合わせます。
- 表示設定（80 ページ参照）で 12 時間制が選択されている場合は、AM ／ PM も指定します。

サマータイムを選択したい場合は、ここにチェックを付けます。

MEMO
- 自宅と訪問先で時差が合わない場合、訪問先がサマータイム期間であるかどうかを確認してください。必要に応じてサマータイムにチェックを入れてください。サマータイムをチェックすると設定した時計の時差が 1 時間進みます。
- スケジュールのアラームを正しい時間に起動させるために、設定している都市の季節に従って正しくサマータイムのチェックを ON/OFF してください。

5. 設定が済んだらをタップします。

- 設定を更新するかを確認するダイアログが表示されます。

6. 設定を更新して良い場合は［はい］をタップします。

- 設定を更新せずに時計画面に戻るには［いいえ］をタップします。
- 再度設定画面に戻りたい場合は［キャンセル］をタップします。

アラームを設定するには

1. 時計画面を表示します。

2. ［アラーム］をタップします。

- アラームの設定画面が表示されます。

3. 画面上で、必要な設定を行います。

アラームを設定時刻に1回だけ鳴らしたい場合は「1回のみ」を、毎日同じ時刻に鳴らしたい場合は「毎日同じ時間」を選択します。

アラーム時刻にサウンドを鳴らす場合にチェックを付けます。

サウンドを繰り返し鳴らす場合にチェックします。

「サウンドを鳴らす」にチェックした場合、このボックス右側の▼をタップして表示されるリストから、鳴らすサウンドを選択できます。選択したサウンドを試し聴きしたい場合は▶をタップします。■をタップすると、再生中のサウンドが止まります。



- このボックスをタップして、入力パネルから時／分を入力するかを使って時刻を合わせます。
- 表示設定（80ページ参照）で12時間制が選択されている場合は、AM／PMも指定します。

4. 設定が済んだらをタップします。

- 時計画面に戻ります。

MEMO

- アラームは、「自宅」「訪問先」のうち現在選択されている側の時刻とアラーム設定時刻が一致したときに鳴ります。
- 「自宅」「訪問先」の選択状態を切り替えても、アラームの設定時刻は変化しません。
- 「音楽再生」や「動画再生」などでヘッドフォンから音を再生しているときにアラーム時刻が来た場合、アラームは本体のブザーでのみ鳴り、ヘッドフォンでは鳴りません。
- データ処理が重なってCPUへの負荷が高い場合、負荷のかかる処理を終えるまでアラーム通知が遅れる場合があります。

日付／時刻の表示形式を設定するには

ここで設定する日付／時刻の表示形式は、日付／時刻を扱う本機のプログラム（例：スケジュールなど）に共通して適用されます。

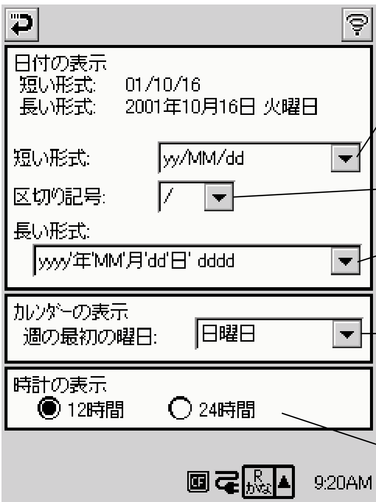
設定は以下の手順で行います。

1. 時計画面を表示します。

2. ［表示設定］をタップします。

- 日付／時刻の表示設定画面が表示されます。

3. 画面上で、必要な設定を行います。



日付が短く表示される場合の形式を選択します。

「短い形式」の区切り記号を選択します。

日付が長く表示される場合の形式を選択します。

カレンダー上で週の最初の日として表示される曜日を、日曜日または月曜日のいずれかから選択します。

時刻表示を12時間制／24時間制のどちらかに設定します。

4. 設定が済んだらをタップします。

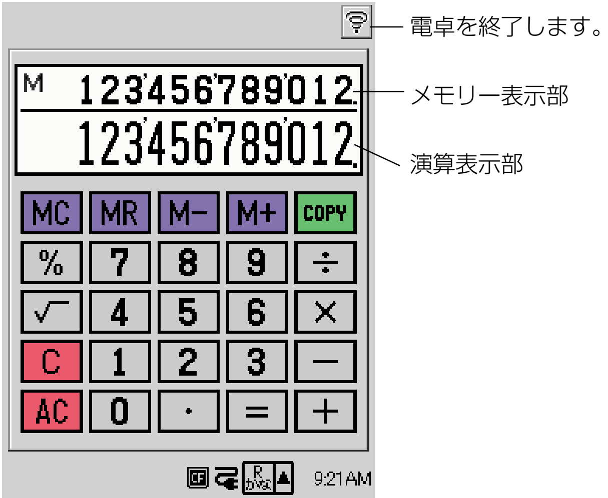
- 時計画面に戻ります。

MEMO

- 「区切り記号」で選択した記号によって、「短い形式」として選択可能な表示形式は異なります。

2-8　電卓

本機は基本的な四則演算ができる電卓機能を持っています。トップメニュー（49ページ）で電卓をタップすると、電卓画面が表示されます。



電卓画面

各キーの働き

電卓の各キーは、以下のような働きがあります。

キー	説明
[0] ～ [9]	タップしたキーの数値が入力されます。
[・]	タップすると、小数点が入力されます。
[+] [−] [×] [÷]	• タップしたキーに応じた演算子が入力されます。 • 同一のキーを２回続けてタップした場合は定数計算（83ページ参照）を行うことができます。 • 異なるキーを続けてタップした場合は、最後にタップしたキーが有効となります。
[=]	タップするとそれまでの演算結果が表示されます。
[AC]	計算の入力途中の場合（[=] キーをタップする前の状態）は、それまでの計算内容をクリアして0を表示します。演算結果の表示中の場合は、結果表示をクリアして０を表示します。

[C]	計算の入力途中で、直前に入力した置数をクリアして0を表示します（84ページ「間違えてタップしたときは」参照）。
[√]	タップすると、直前に入力した数値の平方根が算出されます。
[%]	パーセント計算（82ページ）に使用します。
[M＋] [M－] [MC] [MR]	メモリー計算（84ページ）に使用します。
[COPY]	タップすると、表示中の数値をクリップボードにコピーします（85ページの「コピー機能について」を参照）。
	電卓を終了し、トップメニュー画面に戻ります。

演算例

電卓を使った主な演算例を示します。

加減乗除計算

例題	操作	演算表示部
53＋123－63＝113	53［+］ 123［−］ 63［=］	＋53. －176. 113.
963×(23－56)=－31779	23［−］56［×］963［=］	－31'779.

パーセント計算

例題	操作	演算表示部
1,500円の10%は 1,000円の15%増しは 500円の20%引きは	1500［×］10［%］ 1000［×］15［%］［+］ 500［×］20［%］［−］	150. 1'150. 400.
100円は80円の何%増しか 170円は200円の何%引きか	100［−］80［%］ 170［−］200［%］	25. －15.
利益を売価の25%と見込んだ場合、仕入価格（原価）1,200円の品物の売価および利益は	1200［+］25［%］（売価） ［−］（利益）	1'600. 400.

平方根計算

例題	操作	演算表示部
√5＝2.23606797749… 2√3＝3.46410161512…	5［√］ 3［√］［×］2［=］	2.23606797749 3.46410161512

定数計算

定数を含む加減乗除算を行うことができます。例えば、複数の異なる数値に定数＝12を乗じる、という計算を繰り返し行うような場合には、定数計算が便利です。

定数にしたい数値を置数後に演算子キー（[+］［−］［×］［÷]）を２回タップすると、その数値と演算子が記憶され、演算表示部に定数計算中を示す“K”の文字が表示されます。

以降は「数値［=]」とタップすることで、記憶された数値と演算子による定数計算が行われます。

例題	操作	演算表示部
12＋23＝35 45＋23＝68	23［+］［+］12［=］ 45［=］	K＋ 35. K＋ 68.
2.3×12＝27.6 4.5×12＝54	12［×］［×］2.3［=］ 4.5［=］	K× 27.6 K× 54.
2.4÷12＝0.2 4.8÷12＝0.4	12［÷］［÷］2.4［=］ 4.8［=］	K÷ 0.2 K÷ 0.4
15＋15＋15＝45	15［+］［+］［=］［=］	K＋ 45.
元金10万円を年6%の複利で5年間預けたときの元利合計10万×$(1+0.06)^5$＝133822.55776	1［+］0.06［×］［×］ 100000［=］（1年目） ［=］（2年目） ［=］［=］ ［=］（5年目）	K× 1.06. K× 106'000. K× 112'360. K× 133'822.55776

メモリー計算

メモリー計算をするときは、以下のキーをタップします。

［M＋］…メモリーに数値を加えます。

［M－］…メモリーから数値を引きます。

［MR］…メモリーに記憶されている数値を表示します。

［MC］…メモリー内容をクリアします。

- メモリーに数値が記憶されているときは、メモリーの表示部に数値が表示されます。
- メモリー内の数値は、［AC］や［C］をタップしたり、電卓を終了したり、電源を切っても消えません。

例題	操作	メモリー表示部	演算表示部
80×9＝720	［MC］80［×］9［M＋］	720.	720.
－） 50×6＝300	50［×］6［M－］	420.	300.
20×3＝ 60	20［×］3［M＋］	480.	60.
（合計）480	［MR］	480.	480.
<u>193.2</u>÷23＝8.4	［MC］193.2［M＋］	193.2	193.2
<u>193.2</u>÷28＝6.9	［÷］23［＝］	193.2	8.4
123－<u>193.2</u>＝－70.2	［MR］［÷］28［＝］	193.2	6.9
	123［－］［MR］［＝］	193.2	－70.2

演算中の各種操作について

間違えてタップしたときは

- 数字の入力ミス（置数ミス）

［C］をタップしてください。表示が“0.”になります。続けて置数し直してください。

- 命令計算（［＋］［－］［×］［÷］）の入力ミス

続けて正しい演算子をタップし直してください。

計算中の内容／計算結果をすべてクリアしたいときは

［AC］をタップしてください。メモリー内の数値を除いて、すべてをクリアします。

エラー（“E”表示）になったときは

以下のような状態になると“E”を表示し、計算できなくなります。

①計算途中の数値または答えの整数部が 12 桁を超えたとき。
このとき表示されている数値は、小数点を「兆の位」とした概算の答えです。

例題	操作	演算表示部
1234567 × 7418529 ≒ 9 兆 1586 億 7109 万 1940	1234567［×］7418529 ［=］	E←エラー表示 9.15867109194 └─兆の位

②メモリーに記憶された数値の整数部が 12 桁を超えたとき。
このとき“0.”が表示されます。ただし、メモリー内には桁オーバーする前の数値が保護されています。

③ 6［÷］0［=］のように、除数 0 のわり算を行ったとき。

※エラーになったとき（“E”を表示したとき）、計算を続ける場合は［C］を、新たな計算を始める場合は［A C］をタップしてください。

コピー機能について

[COPY] キーをタップすると、現在表示されている演算結果がクリップボードにコピーされます。コピーされた内容は、ペースト機能をサポートするプログラム（メモ, メールなど）上にテキストとして貼り付けることができます。

第3章

PIMの利用

3-1　PIM の概要

PIMとは「Personal Information Manager」の略で、さまざまな個人情報を管理するプログラムのことを指します。本機には、PIMプログラムとしてスケジュール、住所録、To Do が内蔵されています。

スケジュール‥‥ 予定を管理するためのプログラムです。約束や会議などの予定を登録しておいて、さまざまな形式で表示したり、予定の時刻前にアラームを鳴らすことなどができます。

住所録‥‥‥‥‥ 友人や仕事の同僚、取引先の人々などの住所・氏名・電話番号・電子メールアドレスといった各種の情報を登録し、管理するためのプログラムです。

To Do ‥‥‥‥‥ しなければならない仕事や作業を管理することができます。

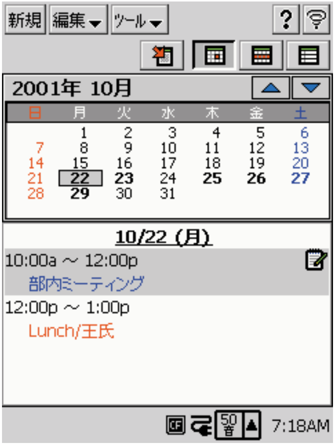
パソコンとの連携利用について

本機をパソコンと接続すると、本機のスケジュール、住所録、 To Do、およびメール（メールについては136ページを参照）の各プログラムと、パソコン上のOutlookとの間でデータの「同期」を行うことが可能となります。

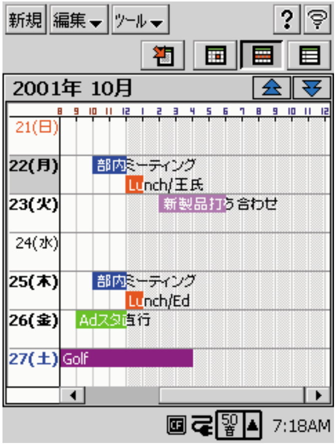
- 本機とパソコンの接続については、「パソコンとの接続」（34ページ）をご覧ください。
- 接続後に、実際にパソコンと本機の間でデータのやりとりを行うためには、パソコン側に「PC 接続」をインストールする必要があります。PC 接続のインストール方法、および使い方については、第 7 章をご覧ください。
- Outlook の使い方については、Outlook のオンラインヘルプをご覧ください。

3-2 スケジュール

スケジュールは予定を管理するためのプログラムです。スケジュールに約束や会議などの予定を登録しておくと、さまざまな形式で表示したり、予定の時刻前にアラームを鳴らすことなどができます。



1 日表示



週表示

スケジュールには、 1 日表示、週表示、 3 ヶ月カレンダーの 3 つの表示形式があります。これらの表示については、「3-2-2 予定データの表示」（97 ページ）をご覧ください。本節では、スケジュールへのデータの入力のしかたから説明を始めます。

3-2-1　予定データの入力

新規データの入力

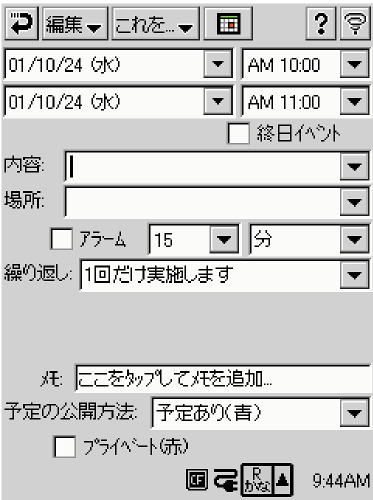
ひとつの予定データに入力･設定することができる情報には、予定の時間や内容などの基本的なことがらをはじめ、アラーム設定や各種の付加情報などがあります。

新規データを入力するには

新規データの入力は、以下の手順で行います。

1. スケジュールを起動します。

2. ［新規］をタップします。



3. 予定の日時、内容などを順次入力します。

日時 .... 上側が予定の開始日時、下側が終了日時です。日付は▼をタップして表示されるカレンダー上で指定するか、テキストボックス内で直接日付を入力します。時刻は▼をタップして表示されるリスト（30分単位）から選択するか、直接時刻を入力します。直接入力の場合は 1 分単位で時刻を指定できます。

終日イベント .... 時刻を指定する必要のない予定（例えば誕生日や結婚記念日など）の場合は、ここにチェックを付けます。

内容 .... 予定の内容を入力します。▼をタップすると、すでに登録済み

の予定に対して設定した内容がリスト表示されるので、その中から内容を選ぶこともできます。

場所 .... 予定の場所を入力します。▼をタップすると、すでに登録済みの予定に対して設定した場所がリスト表示されるので、その中から場所を選ぶこともできます。

アラーム .... 予定の時刻の前にアラームを鳴らしたい場合はここにチェックを付けます。アラームが鳴る時刻は、予定の 1 分前～ 99 週間前の間で設定することができます。

4. 必要に応じて、以下の各設定を行います。

繰り返し .... 週に 1 度や月に 1 度、年に 1 度といった、繰り返し発生する予定を設定することができます。詳しくは「繰り返し設定について」（91 ページ）をご覧ください。

メモ .... 予定に対してメモを追加したい場合は、ここをタップします。メモの入力画面が表示され、本機の内蔵プログラム《メモ》のテキスト書類作成時と同じ要領で文字入力を行うことができます。メモの入力画面から元の画面に戻るには、をタップします。

予定の公開方法 * .. 予定の公開方法を選択します。

プライベート * ..... 予定をプライベートデータにする場合は、ここにチェックを付けます。

* 「予定の公開方法」および「プライベート」の 2 項目は、パソコン上の Outlook と予定データを同期しており、かつ Outlook のデータをネットワーク上で公開・共有している場合のみに関連する項目です。詳しくは Outlook のマニュアル等をご覧ください。

5. 入力した予定データを保存するには、をタップします。

- 予定の入力画面が閉じ、元の予定表示画面に戻ります。
- をタップすると、予定データが保存され、そのデータの日付の 1 日表示画面が表示されます。

MEMO

- 入力した予定データを保存せずに予定の入力画面を閉じるには、手順 5 で［編集▼］→［中止］をタップしてください。入力したデータが破棄され、予定の入力画面に入る前の画面に戻ります。

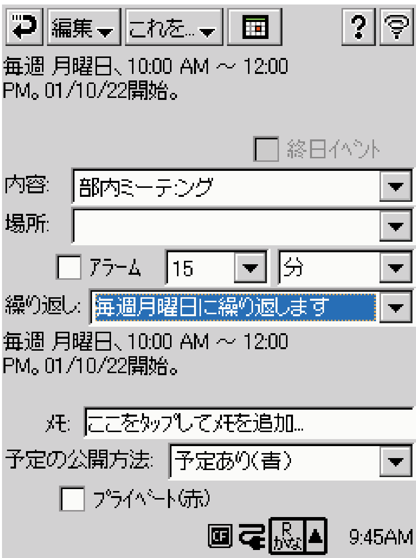
* 「予定の公開方法」の選択状態によって、予定データは次のように色分けして表示されます。

予定の公開方法	データの表示色
空き時間	紫
仮承諾	ピンク
予定あり	青
外出中	緑

* 「プライベート」にチェックを付けた場合、その予定データは常に赤で表示されます。

繰り返し設定について

毎週月曜、毎月20日など、定期的に繰り返し発生する予定は、個別に入力しなくても、1回の入力で済ませることができます。



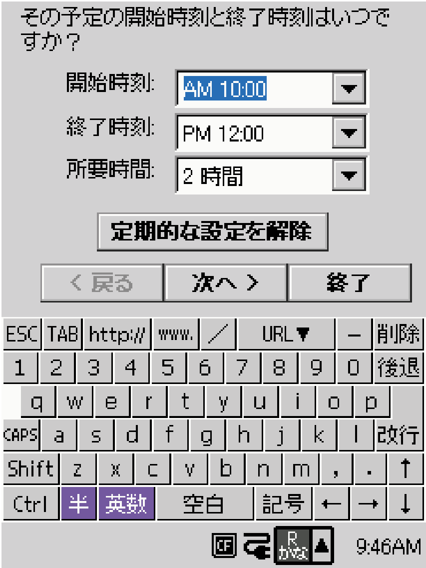
この▼をタップして、繰り返しパターンを選択します。

ここには、設定した結果として登録される予定の情報が表示されます。

繰り返しパターンの詳細設定は、以下の手順で行います。

1. 予定の入力画面で［繰り返し］欄の▼をタップし、ドロップダウンリストから［定期的な項目の編集］をタップします。

* 以下のような画面が表示されます。



「定期的な項目の編集」は、ウィザード形式になっています。画面の指示に従って、順次設定を行ってください。

2. 画面の指示に従って、定期的な項目の編集を行います。

3. 必要なすべての設定を終了したら［終了］をタップします。

- 予定の入力画面に戻ります。

予定データの編集

登録済みの予定データに対して、必要に応じて訂正、削除することができます。また、登録済みの予定データをコピー／ペーストして新規データを作成したり、カット／ペーストして移動することができます。ここでは、こうした予定データの各種編集操作について説明します。

予定データを訂正するには

1. 1日表示 または 週表示で、編集したい予定データをタップして選択し、再度タップします。

- 予定の入力画面が表示されます。
- 選択されていない予定データをダブルタップしても、予定の入力画面を表示することができます。

2. 予定の新規入力の場合（89ページ）と同じ要領で、訂正したい部分を入力し直します。

3. 訂正した予定データを保存するには、をタップします。
   - 予定の入力画面が閉じ、元の予定表示画面に戻ります。

予定データを削除するには

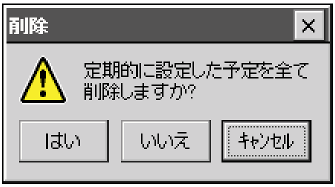
1. １日表示 または 週表示で、削除したい予定データをタップして選択します。

2. ［編集▼］→［削除］をタップします。
   - 予定データを削除して良いかを確認するメッセージが表示されます。

3. 削除して良い場合は［はい］を、削除するのをやめる場合は［いいえ］をタップします。

MEMO

- 定期的な予定（91 ページの「繰り返し設定について」を参照）の削除を行おうとした場合は、上記の手順 2 で以下のような確認メッセージが表示されます。



定期的な予定をすべて削除して良い場合は［はい］を、対象データ 1 件だけを削除したい場合は［いいえ］をタップしてください。なお、［キャンセル］をタップすると、削除の操作自体がキャンセルされ、手順 1 の状態に戻ります。

予定データをコピーして貼り付けるには

任意の予定データを選択してコピーし、他の日付などに貼り付けることができます。すでに登録済みの予定と同一、または類似の予定を入力したい場合に便利です。

MEMO

- 定期的な予定（91 ページの「繰り返し設定について」を参照）をコピーした場合は、以下の手順 1 で選択した予定データ 1 件だけがコピーの対象となります。

1. 1 日表示 または 週表示で、コピーしたい予定データをタップして選択します。

2. ［編集▼］→［コピー］をタップして、予定データをクリップボードにコピーします。

3. 手順 2 でコピーした予定データを貼り付けたい日付の 1 日表示にします。
   - 週表示、3 ヶ月カレンダーを表示して、ペーストしたい日付を選択しても構いません。

4. ［編集▼］→［貼り付け］をタップします。
   - 必要に応じて、貼り付けたデータの訂正を行います。「予定データを訂正するには」（92 ページ）をご覧ください。

予定データを移動するには（切り取って貼り付けるには）

任意の予定データを選択して切り取り、他の日付などに貼り付けることができます。すでに登録済みの予定を他の日付に移動したい場合には、この操作が便利です。

MEMO

- 定期的な予定（91 ページの「繰り返し設定について」を参照）を切り取った場合は、以下の手順 1 で選択した予定データ 1 件だけが切り取りの対象となります。

1. 1 日表示 または 週表示で、コピーしたい予定データをタップして選択します。

2. ［編集▼］→［切り取り］をタップします。
   - 予定データが切り取られ、クリップボードに保存されます。

3. 手順 2 で切り取った予定データを貼り付けたい日付の 1 日表示にします。
   - 週表示、3 ヶ月カレンダーを表示して、ペーストしたい日付を選択しても構いません。

4. ［編集▼］→［貼り付け］をタップします。

- 必要に応じて、貼り付けたデータの訂正を行います。「予定データを訂正するには」（92 ページ）をご覧ください。

予定データの他のプログラムへの転送

予定の入力画面で表示中（編集中）のデータを、メモ、 To Do、メールの各プログラムに転送することができます。

予定データをメモに転送するには

表示中のデータを、以下の対応でメモに転送し、新規のテキスト書類を作成することができます。

スケジュール		メモ
内容	→	ファイル名
内容		本文
開始日		
開始時刻		
終了日	→	
終了時刻		
場所		
メモ		

1. 予定の入力画面で［これを▼］→［メモへ送る］をタップします。

- メモが起動し、新規テキストの作成画面が表示されます。

2. 必要に応じて、本文の編集などの操作を行います。

- メモを使ったテキスト作成について詳しくは、「2-6 メモ」の「テキスト書類を新規作成するには」（72 ページ）をご覧ください。

予定データを To Do に転送するには

表示中のデータを、以下の対応で To Do に転送し、新規の To Do を作成することができます。

スケジュール		To Do
内容	→	件名

1. 予定の入力画面で［これを▼］→［To Do へ送る］をタップします。

- To Do が起動し、新規 To Do データの入力画面が表示されます。

2. 必要に応じて、To Do の優先度の設定などの操作を行います。

- To Doの新規データ入力について詳しくは、「3-4 To Do」（114ページ）をご覧ください。

予定データをメールに転送するには

表示中のデータを、以下の対応でメールに転送し、新規の送信メッセージを作成することができます。

スケジュール		メール
内容	→	題名
内容		本文
開始日		
開始時刻		
終了日	→	
終了時刻		
場所		
メモ		

1. 予定の入力画面で［これを▼］→［メールへ送る］をタップします。

- メールが起動し、送信メールの作成画面が表示されます。

2. 宛先や本文の編集などの操作を行います。

- 送信メールの作成、およびメールの送信について詳しくは、「4-3 メール」（136 ページ）をご覧ください。

3-2-2　予定データの表示

スケジュールには、予定データやカレンダーを表示する画面として、「1日表示」「週表示」「3ヶ月カレンダー」の3種類が用意されています。ここでは、これらの各表示画面間での切り替え方や、各画面上での操作などについて説明します。

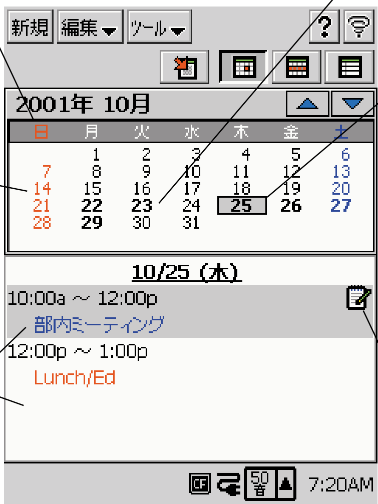
1日表示

本ソフトを起動すると、1日表示画面になります。また他の画面の表示中は、[アイコン]をタップすることで、1日表示画面に切り替えることができます。画面上部には当月のカレンダーを、下部には当日の用件を表示します。

カレンダー上で先頭に表示される曜日は、先頭曜日の設定に準じます（103ページ参照）。

日付に自由に色を付けることができます（102ページ「日付の色設定」を参照）。

「予定の公開方法」、「プライベート」の選択状態に応じて、データに色が付きます（91ページのMEMOを参照）。



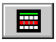
スケジュールデータを含む日付は、カレンダー上で太字で表示されます。

カレンダー上で現在選択されている日付が枠囲いで表示されます（日付カーソル）。現在選択されている日付の予定データが、画面下部に表示されます。

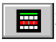
メモがあるデータにこのアイコンが付きます。このアイコンをタップするとメモを開きます。

- 用件のデータが複数存在し、一度に表示できない場合は、最初のデータを表示して約1秒たってから自動的にスクロール表示します。スクロール中に表示部をタップするとスクロールが止まります。

1日表示画面上での操作方法

- カレンダー上の日付をタップすると、その日にカーソルが移動し、画面下部のスケジュール表示もその日のものに切り替わります。
- カレンダー右上部の／をタップすると前後の月のカレンダーを表示し、日付カーソルは元のカレンダー上と同じ日に移動します。
- （週表示ボタン）または（3ヶ月カレンダーボタン）をタップすると、現在日付カーソルが点灯している日付を含むそれぞれの表示に切り替わります。
- 今日の日付にジャンプするにはをタップします。
- 予定データにメモ（97ページ参照）が含まれている場合は、その予定データの横にメモアイコンが表示されます。

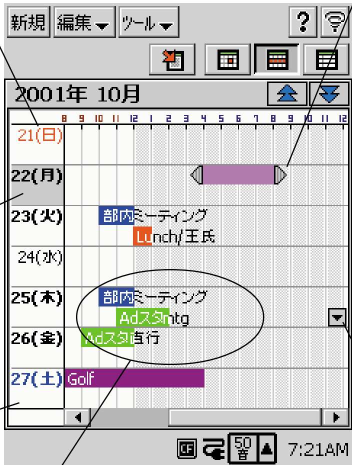
週表示

をタップすると週表示になります。週表示では、1週間分の予定データがタイムテーブル上にグラフィカルに表示されます。

カレンダー上で先頭に表示される曜日は、先頭曜日の設定に準じます（103ページ参照）。

現在選択されている日付は、このようにグレーで表示されます（日付カーソル）。

終日イベントを含む日付には「＊」が付きます。



予定データをタップするとこのようにデータの両側に三角のハンドルが表示されます。

- ハンドルをドラッグすることで、予定データの開始時刻／終了時刻を変更することができます。
- 予定データ自体をドラッグすると、予定の日付／時刻を移動できます。

複数のデータの時間帯が重複しており、2行以内で表示できない場合は、その日の右端に表示される上下スクロールボタンを使って、データをスクロール表示することができます。

「予定の公開方法」、「プライベート」の選択状態に応じて、データに色が付きます（91ページのMEMOを参照）。

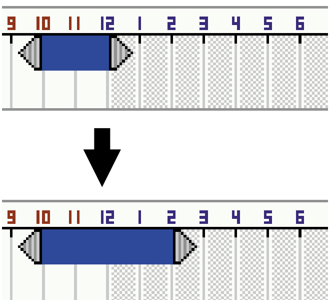
週表示画面上での操作方法

- 日付の欄をタップすると、その日付が選択されます。
- ／をタップすると、前後の週に移り、現在表示されているのと同じ曜日が選択されます。
- 予定データをダブルタップすると、その予定データの編集画面が表示されます。
- （1 日表示ボタン）または（3 ヶ月カレンダーボタン）をタップすると、現在日付カーソルが点灯している日付を含むそれぞれの表示に切り替わります。
- 今日の日付にジャンプするにはをタップします。
- 新規の予定データを、開始時刻と終了時刻を週表示上で指定して作成することができます。

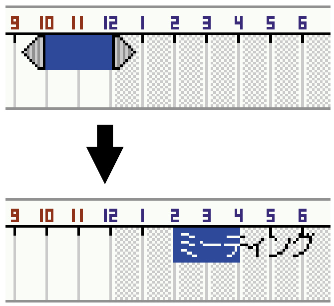


タイムテーブルをドラッグすると、このようにドラッグした範囲が水色で表示され、選択状態となります。この状態で［新規］をタップすると、選択範囲の開始時刻～終了時刻の新規予定データ入力画面が表示されます。

- 予定データをタップすると、その予定データが選択状態となり、両側に三角のハンドルが表示されます。



ハンドルをドラッグすると、予定の開始時間／終了時間を変更できます。



予定データそのものをドラッグすると、全体の予定時間を移動できます。

時刻表示の12時間制／24時間制について

CASSIOPEIAの「時計」（77ページ参照）の時刻表示設定によって、スケジュール上の時刻表示と週表示の時間軸は次のように変わります。

※「時刻表示」は、午前9時／午後3時の場合の例です。

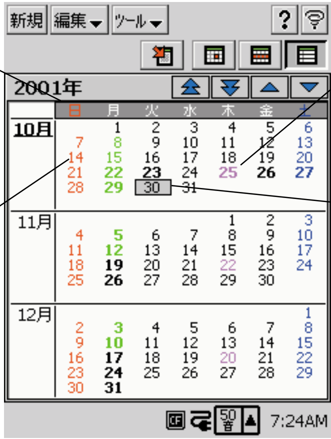
	時刻表示	時間軸
12時間表示の場合	9:00A／3:00P	12、1、2、～11、12、1、2、～11、12
24時間表示の場合	9:00／15:00	0、1、2、～11、12、13、14、～23、24

3ヶ月カレンダー

をタップすると3ヶ月分のカレンダーが表示されます。カレンダー上で、スケジュールデータが含まれている日を確認することができます。

カレンダー上で先頭に表示される曜日は、先頭曜日の設定に準じます（103ページ参照）。

日付に自由に色を付けることができます。「日付の色設定」（102ページ）を参照。



スケジュールデータを含む日付は、カレンダー上で太字で表示されます。

カレンダー上で現在選択されている日付が枠囲いで表示されます（日付カーソル）。

3ヶ月カレンダー画面上での操作方法

- カレンダー上の日付をタップすると、その日付が選択されます。
- 上下カーソルボタンの操作で前週／次週に、左右カーソルボタンの操作で前日／後日に、日付カーソルが移動します。月の先頭日、最終日の場合は、前後の月に移動します。最上段月の先頭日、最下段月の最終日の場合は、カレンダーが1ヶ月分スクロールします。
- カレンダー右上部の／をタップすると、カレンダーが1ヶ月分前後にスクロールします。／をタップすると、3ヶ月ずつのスクロールとなります。
- （1日表示ボタン）または（週表示ボタン）をタップすると、現在日付カーソルが点灯している日付を含むそれぞれの表示に切り替わります。
- 今日の日付にジャンプするにはをタップします（今日の日付を含む3ヶ月カレンダーが表示されます）。

3-2-3　各種設定について

ここでは、スケジュールで行うことができる各種の設定を説明します。

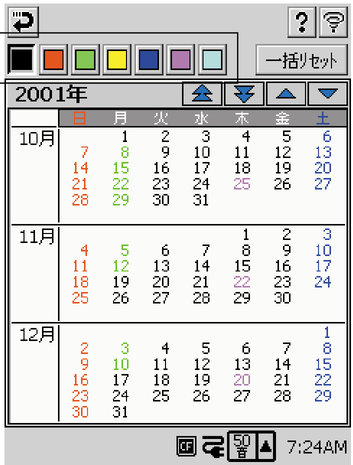
日付の色設定

１日表示と３ヶ月カレンダーに表示するカレンダー上の日付の色を、7色の中から自由に設定することができます。

日付の色設定を行うには

1. ［ツール］→［日付色設定］をタップします。

- 日付色設定画面が表示されます。



- カレンダー右上部の[▲]／[▼]をタップすると、カレンダーが１ヶ月分前後にスクロールします。[⏫]／[⏬]をタップすると、３ヶ月ずつのスクロールとなります。

2. カラーパレットから、日付の色付けに使いたい色をタップして選択します。

3. 選択した色を付けたい日付をタップします。

- 日付をドラッグすると、連続して色付けすることができます。

4. 必要なだけ手順２と３を繰り返します。

5. 設定を保存して元の画面に戻るには、[↩]をタップします。

設定した日付の色設定を一括して元に戻すには

以下の操作で、指定期間のカレンダー上の日付の色を、一括して初期設定（日曜日→赤、土曜日→青、その他の曜日→黒）に戻すことができます。

1. ［ツール］→［日付色設定］をタップします。

- 日付色設定画面が表示されます。

2. ［一括リセット］をタップします。

- 以下のようなダイアログが表示されます。



3. 初期設定に戻したい期間を入力して、[OK] ボタンをタップしてください。

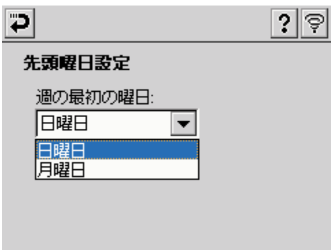
- 指定した期間の日付の色設定が、初期設定に戻ります。

先頭曜日の設定

スケジュールの各種表示画面上で先頭に表示される曜日を設定することができます。

1. ［ツール］→［先頭曜日設定］の順でタップします。

- 先頭曜日ダイアログが表示されます。



2. コンボボックス右側の▼をタップして、週の先頭に表示したい曜日を指定します。

3. をタップします。

アラーム設定

アラームの通知の方法を設定することができます。設定は以下の手順で行います。

1. ［ツール］→［アラーム設定］の順でタップします。

- アラーム設定ダイアログが表示されます。

アラーム時刻に画面にメッセージを表示する場合にチェックを付けます。

アラーム時刻にサウンドを鳴らす場合にチェックを付けます。

サウンドを繰り返し鳴らす場合にチェックします。



「サウンドの再生」にチェックした場合、このボックス右側の▼をタップして表示されるリストから、鳴らすサウンドを選択できます。選択したサウンドを試し聴きしたい場合は▶をタップします。■をタップすると、再生中のサウンドが止まります。

2. 設定が済んだらをタップします。

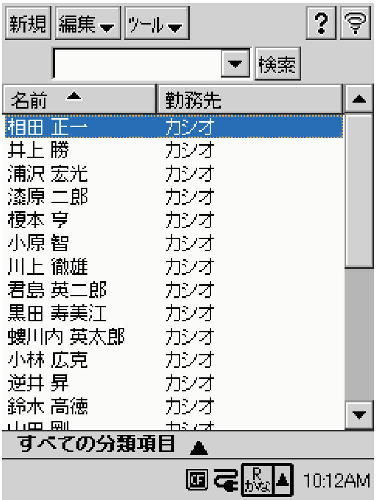
- 設定画面に入る前に表示していた画面に戻ります。

MEMO

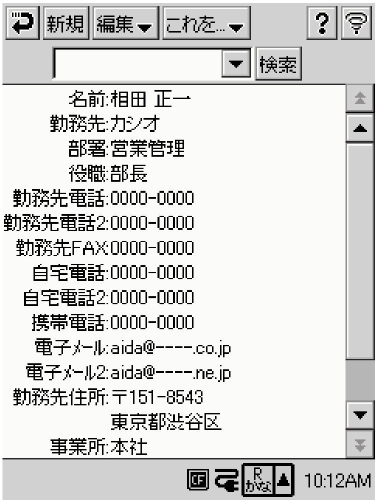
- 「音楽再生」や「動画再生」などでヘッドフォンから音を再生しているときにアラーム時刻が来た場合、アラームは本体のブザーでのみ鳴り、ヘッドフォンでは鳴りません。
- スケジュールには世界各国の都市と時差が設定されています。また、都市ごとにサマータイム実施の有無および実施期間の情報を持っています。サマータイム実施期間の情報は「何月の第何週の何曜日から何月の第何週の何曜日まで」という形式で設定されています。
  時計で都市変更を行うと、すでに登録してある予定の時刻は、更新後の都市との時差およびサマータイム情報などの差分が反映されます。
- アラームの通知音は、予定データの登録・編集時の音になります。登録・編集後にアラームの通知音を変更しても変更した音では通知されません。

3-3　住所録

住所録は、友人や仕事の同僚、取引先の人々などの住所・氏名・電話番号・電子メールアドレスといった各種の情報を登録し、管理するためのプログラムです。住所録には、登録されているデータを一覧表示するリスト画面と、個別のデータを表示する詳細画面の２種類の表示画面を持っています。



リスト画面



詳細画面

3-3-1　データの入力

ここでは住所録を使ったデータの入力、および各種の編集操作について説明します。

新規データの入力

新規データを入力するには

1. 住所録のリスト画面、または詳細画面を表示します。

2. ［新規］をタップします。

- 住所録データの入力画面が表示されます。

3. 入力パネルを使って、順次各項目への入力を行います。



「名前」欄には、左側のテキストボックスから姓／名の順で入力します。入力すると、「フリガナ」欄には半角カタカナでフリガナが自動的に入力されます。

4. データに分類項目を設定したい場合は、［分類項目］欄をタップします。

- 分類項目一覧画面が表示され、入力中のデータの分類を設定することができます。分類項目一覧画面から元の画面に戻るには、をタップします。
- 分類項目によって、リスト画面上に一覧表示するデータを絞ることができます（109ページ参照）。

5. データにメモを追加したい場合は、［メモ］欄をタップします。

- メモの入力画面が表示され、本機の内蔵プログラム《メモ》のテキスト書類作成時と同じ要領で文字入力を行うことができます。メモの入力画面から元の画面に戻るには、をタップします。

6. 必要な項目への入力が済んだら、をタップします。

- 元の画面（リスト画面または詳細画面）に戻ります。
- 詳細画面から作業を開始して入力の完了後、リスト画面に戻りたい場合は、［リスト］をタップします。
- 入力したデータを保存せずに入力画面を閉じるには、［編集▼］→［中止］をタップしてください。入力したデータが破棄され、入力画面に入る前の画面に戻ります。

データの編集

登録済みのデータに対して、必要に応じて訂正、削除することができます。また、登録済みのデータを複製して、新しいデータを作成することができます。ここでは、これら各種のデータ編集操作について説明します。

データを訂正するには

1. リスト画面で、編集したいデータをタップして選択し、再度タップします。

- 詳細画面が表示されます。

2. 詳細画面上をタップします。

- 住所録データの入力画面が表示されます。

3. 住所録データの新規入力の場合（105ページ）と同じ要領で、訂正したい部分を入力し直します。

4. 訂正したデータを保存するには、をタップします。

- 住所録データの入力画面が閉じます。

データを複製するには（複製して編集するには）

既存のデータの複製を作って編集し、類似のデータを簡単に登録することができます。

1. リスト画面で、複製したいデータをタップして選択します。

2. ［編集▼］→［コピー作成］をタップします。

- 手順1で選択したデータの複製が作成され、そのデータの編集画面が表示されます。

3. 住所録データの新規入力の場合（105ページ）と同じ要領で、訂正したい部分を入力し直します。

4. データを保存するには、をタップします。

- 住所録データの入力画面が閉じます。

データを削除するには

1. リスト画面で、削除したいデータをタップして選択します。

2. ［編集▼］→［削除］をタップします。

- データを削除して良いかを確認するメッセージが表示されます。

3. 削除して良い場合は［はい］を、削除するのをやめる場合は［いいえ］をタップします。

3-3-2　データの表示

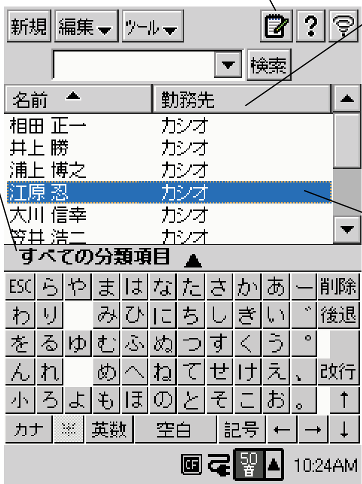
住所録に登録したデータは、リスト画面または詳細画面のいずれかの画面を使って参照することができます。

リスト画面

リスト画面では、住所録に登録されているデータを一覧で見ることができます。一覧表示するデータは、分類項目によって絞り込むこともできます。

リスト画面上で現在選択されているデータがメモを含む場合は、ここにメモアイコンが表示されます。アイコンをタップすると、メモの内容を参照することができます。

ここをタップすると表示されるリストから分類項目を選択して、リスト画面に表示するデータを絞り込むことができます（109 ページ参照）。



名前以外の表示項目は、勤務先、勤務先電話、電子メールなどから選ぶことができます（下記参照）。

データを一度タップすると、データが選択され、ハイライト表示になります。再度タップすると、そのデータの詳細画面に移ります。

リスト画面での表示項目を変更するには

リスト画面での２番目の表示項目（初期状態では勤務先）を、他の項目に変更することができます。

1. リスト画面を表示します。

2. ［ツール▼］→［表示項目変更］をタップします。

- 表示項目変更ダイアログが表示されます。

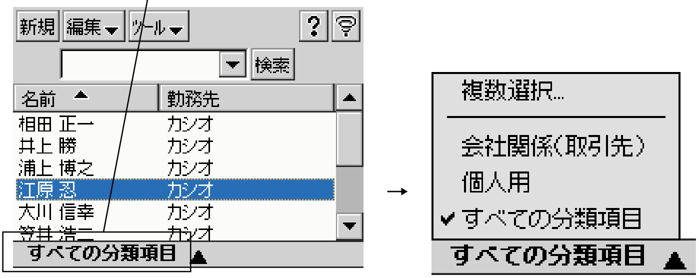
3. 表示したい項目をタップして選択します。

4. をタップしてリスト画面に戻ります。

分類項目でリスト画面に表示するデータを絞り込むには

特定の分類項目を持つデータだけを、リスト画面に一覧表示することができます。

1. リスト画面でここをタップします。



- 分類項目のリストがポップアップ表示されます。

2. 分類項目のリストから､表示対象にしたい分類項目をタップして選択します。
   - 選択した分類項目のデータのみが、リスト画面に表示されます。
   - 複数の分類項目を表示対象にしたい場合は､[複数選択] をタップします。右のようなダイアログが表示されますので、表示対象にしたいすべての分類項目にチェックを付けて､ をタップしてください。



分類項目を追加するには

以下の手順で新たな分類項目を追加することができます。

1. 上記の「分類項目でリスト画面に表示するデータを絞り込むには」の手順2で［複数選択］をタップします。
   - ［複数選択］ダイアログが表示されます。

2. ［追加 / 削除］をタップします。

- ［追加 / 削除］ダイアログが表示されます。



3. ダイアログ上部のテキストボックスに、追加したい分類項目名を入力します。

4. ［追加］をタップします。
- 手順３で入力した名前の分類項目が追加されます。
- 操作が済んだら必要なだけ をタップして、リスト画面に戻ります。

分類項目を削除するには

1. 「分類項目でリスト画面に表示するデータを絞り込むには」（109 ページ）の手順２で［複数選択］をタップします。
- ［複数選択］ダイアログが表示されます。

2. ［追加 / 削除］をタップします。
- ［追加 / 削除］ダイアログが表示されます。

3. 削除したい分類項目をタップして選択し、［削除］をタップします。
- 選択した分類項目が削除されます。

4. 操作が済んだら必要なだけ をタップして、リスト画面に戻ります。

詳細画面

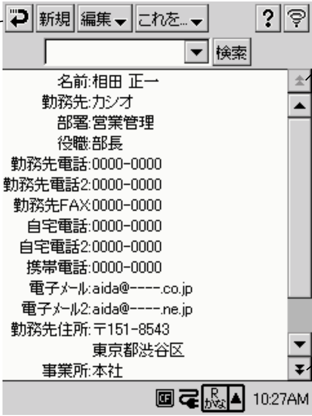
詳細画面では、住所録に登録されている個々のデータの全内容を参照することができます。また、詳細画面に表示中のデータをメールに転送して新規の送信メッセージを作成したり、メモに転送して新規のテキスト書類を作成することができます。

詳細画面を表示するには

リスト画面で、詳細画面を表示したいデータをタップして選択し、再度タップします。

- 選択されていないデータをダブルタップしても、詳細画面を表示することができます。

リスト画面に戻ります。



タップすると、(リスト画面上でのデータの並び順で)一つ前のデータが表示されます。

タップすると、一つ後のデータが表示されます。

表示中のデータを本文とした新規の送信メールを作成するには

住所録のデータを、詳細画面に表示されている形式でメールの本文フィールドに転送し、新規の送信メッセージを作成することができます。

1. 詳細画面で［これを▼］→［メールへ送る］をタップします。

- メールが起動し、送信メールの作成画面が表示されます。

2. 宛先や題名の指定、本文の編集などの操作を行います。

- 送信メールの作成、およびメールの送信について詳しくは、「4-3 メール」（136 ページ）をご覧ください。

表示中のデータで新規のメモのテキスト書類を作成するには

1. 詳細画面で［これを▼］→［メモへ送る］をタップします。

- メモが起動し、住所録の詳細画面上の全フィールドの内容が、新規のテキスト書類上に出力されます。

2. メモでテキストの編集などの操作を必要に応じて行います。

- メモを使ったテキスト書類の作成操作について詳しくは、「2-6 メモ」の中の「テキスト書類を新規作成するには」（72ページ）をご覧ください。

データの検索について

登録されている住所録データを任意の文字列で検索し、一致した文字列を含むデータのみを抽出して表示することができます。登録されているすべての項目のテキストが検索対象となります。

検索するには

1. リスト画面または詳細画面で、画面上部のテキストボックスに検索したい文字列を入力します。

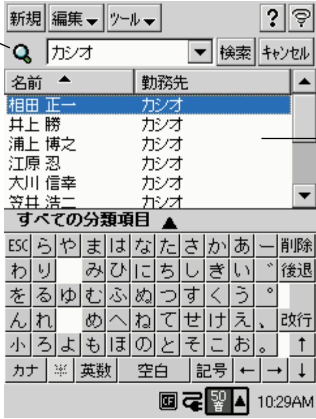
ここに検索したい文字列を入力します。



▼をタップして、最近使用した検索語を選択することができます（10個まで記憶しています）。

2. ［検索］ボタンをタップすると検索を開始します。

検索結果の表示中は、このアイコンが表示されます。



検索結果が一覧表示されます。

3. 検索を解除するには、[キャンセル] をタップしてください。

MEMO

- 検索を実行すると、分類項目は「すべての分類項目」になります。検索結果の表示中でも、一覧表示する分類項目の選択が可能です。
- 検索結果の表示中でも、他の検索語を入力して検索を実行できます。
- 検索条件に一致したデータがない場合は、「検索が終了しました。検索語が見つかりませんでした」とメッセージが表示されます。
- 検索結果の表示中に、データの新規作成、訂正、削除、コピー作成の操作を行うと、検索状態が解除されます。

3-4　To Do

To Do は、しなければならない仕事や作業を管理するためのプログラムです。
To Do を起動すると、はじめに以下のようなリスト画面が表示されます。

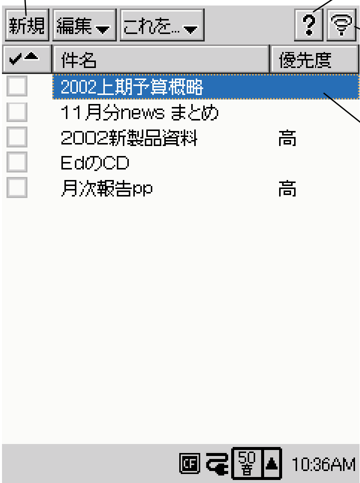
タップすると新規のデータの作成画面が表示されます。

タップした項目名による並べ替えができます。同じ項目名をタップするごとに、昇順／降順を切り替えることができます。

ヘルプを表示します。

トップメニューに戻ります。

To Do が一覧表示されます。一度タップすると選択状態になり、再度タップするとその To Do の編集画面が開きます。



リスト画面

新規データの追加とデータの編集

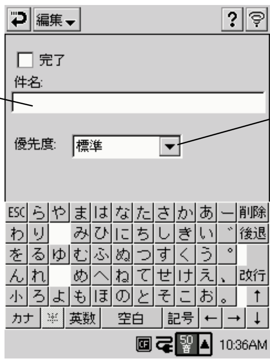
新規のデータを追加するには

1. To Do を起動します。To Do のリスト画面が表示されます。

2. ［新規］をタップします。新規データの入力画面が表示されます。

To Do の件名を入力します。

To　Do の優先度を、高／標準／低の 3 段階から選択します（初期設定は「標準」）。



3. 入力が済んだら、をタップします。

- 作成したデータが登録され、リスト画面に戻ります。

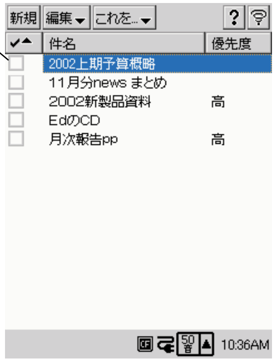
MEMO

- 入力したデータを保存せずに入力画面を閉じるには、手順３で［編集▼］→［中止］をタップしてください。入力したデータが破棄され、リスト画面に戻ります。

データにチェックをつける／外す

To Do のリスト画面で、作業済みのデータにチェックを付けることができます。

- チェックを付けるには、チェックボックスをタップします。
- チェック済みの項目のチェックボックスをタップすると、チェックを外すことができます。



MEMO

- リスト画面でチェックボックスがソート対象になっている場合、チェックを付けたり外したりする操作を行った時点では、ソート順は入れ替わりません。次回ソートを行った際に、ソートが行われます。
- チェックを付ける／外す操作は、To Do の入力画面上でも行うことができます。

データを編集するには

1. リスト画面で、編集したいデータをタップして選択し、再度タップします。

- 入力画面が表示されます。

2. 入力画面上の各項目を、必要に応じて修正します。

3. 修正が済んだら、をタップします。

- リスト画面に戻ります。

MEMO

- 手順２で件名を空欄にしてをタップすると、元のデータに戻ります。

データを削除するには

1. リスト画面で、削除したいデータをタップして選択します。

2. ［編集▼］→［削除］をタップします。

- 削除して良いかを確認するダイアログが表示されます。

3. 削除して良い場合は［はい］をタップします。

- 削除しない場合は［いいえ］をタップします。

To Do データの他のプログラムへの転送

To Doのリスト画面から、任意のデータをメモ、スケジュール、メールの各プログラムに転送することができます。

To Do データをメモに転送するには

To Doのリスト画面で選択されているデータを、以下の対応でメモに転送し、新規のテキスト書類を作成することができます。

To Do		メモ
件名	→	ファイル名
完了		本文
件名	→	
優先度		

1. To Do のリスト画面で、転送したいデータをタップして選択します。

2. ［これを▼］→［メモへ送る］をタップします。

- メモが起動し、新規テキストの作成画面が表示されます。

3. 必要に応じて、本文の編集などの操作を行います。

- メモを使ったテキスト作成について詳しくは、「2-6 メモ」の「テキスト書類を新規作成するには」（72 ページ）をご覧ください。

To Do データをスケジュールに転送するには

To Doのリスト画面で選択されているデータを、以下の対応でスケジュールに転送し、新規の予定データを作成することができます。

To Do		スケジュール
件名	→	内容

1. To Do のリスト画面で、転送したいデータをタップして選択します。

2. ［これを▼］→［スケジュールへ送る］をタップします。

- スケジュールが起動し、新規予定データの作成画面が表示されます。

3. 予定データの各項目を、必要に応じて入力します。

- スケジュールへの予定データの入力操作について詳しくは、「3-2 スケジュール」の「新規データの入力」（89 ページ）をご覧ください。

To Do データをメールに転送するには

To Do のリスト画面で選択されているデータを、以下の対応でメールに転送し、新規の送信メッセージを作成することができます。

To Do		メール
件名	→	題名
完了		本文
件名	→	本文
優先度		本文

1. To Do のリスト画面で、転送したいデータをタップして選択します。

2. ［これを▼］→［メールへ送る］をタップします。

- メールが起動し、送信メールの作成画面が表示されます。

3. 宛先や題名の指定、本文の編集などの操作を行います。

- 送信メールの作成、およびメールの送信について詳しくは、「4-3 メール」（136 ページ）をご覧ください。

MEMO

- Outlook の「仕事」と同期する時、「仕事」の定期的なアイテムは 1 件のデータとして本機に転送されます。本機でこのデータをチェックしたあとにもう一度同期すると、Outlook の「仕事」では定期的なアイテムが 1 回チェックされたことになり、本機には次回分のデータが転送されます。

第 4 章

インターネットの利用

4-1　概要

本機のインターネット機能の概要

本機のインターネット機能は、次の３つのプログラムによって構成されています。

ブラウザ.........インターネット上のホームページ閲覧を行うためのWebブラウザ・プログラムです。フレーム表示やブックマークの登録／管理機能を備えているほか、表示中のページをそのまま保存し、オフラインで閲覧することもできます。

メール.............電子メールの送受信を行うためのプログラムです。添付ファイルの送受信や、マルチアカウントに対応しています。また、メインメモリやメモリカード上にフォルダを作成して、受信メールを整理することが可能です。

通信設定.........「ブラウザ」および「メール」を利用するための接続設定を一括して行うことができるプログラムです。ダイヤルアップ接続の設定やメールアカウント設定をひとまとめにした「通信セット」と呼ばれる単位で登録することができ、複数の異なる接続設定を簡単に管理できます。

ブラウザおよびメールからは、通信設定で作成した通信セットを利用してインターネットやメールサーバーへの接続を行うしくみになっているため、メール、ブラウザという個々のプログラム上での通信設定やサービス設定の必要はありません。

インターネット接続には何が必要？

本機をインターネットに接続するためには、本機以外に次の用意が必要です。

ダイヤルアップ接続の場合

ダイヤルアップ接続によるインターネットへの接続が可能なインターネットサービスプロバイダに加入していることが必要です。
また、以下のいずれかの組み合わせで機器、ケーブル等を用意し、本機を物理的に電話回線に接続することが必要です。

(1)　携帯電話、携帯電話接続用ケーブル
(2)　コンパクトフラッシュカードタイプのカードモデム／通信カード、モジュラーケーブル、アナログ電話回線
(3)　PCカードタイプのカードモデム、本機専用のPCカードユニット（別売品）、

モジュラーケーブル、アナログ電話回線
(4) 外付けモデム、専用シリアルケーブル、モデムケーブル、モジュラーケーブル、アナログ電話回線

LAN 接続の場合

インターネットに接続されている企業内などのLANへのアクセス権を持っていることが必要です。
また、以下のいずれかの組み合わせで機器、ケーブル等を用意し、本機を物理的にLAN に接続することが必要です。

(1) コンパクトフラッシュカードタイプの LAN カード、Ethernet ケーブル
(2) PC カードタイプのLAN カード、本機専用のPC カードユニット（別売品)、Ethernet ケーブル

4-2　通信設定

「通信設定」は、本機を外部のコンピュータと接続するためのさまざまな設定を行うプログラムです。通信設定を使うと、以下の設定を行うことができます。

- ダイヤルアップ接続、LAN 接続のいずれかによる、インターネットへの接続設定（メールサーバーへの接続設定を含む）
- パソコンへのケーブル接続のための設定

本節では、通信設定を使ってできる設定操作のうち、インターネットへの接続設定について説明します。パソコンへのケーブル接続の設定については、第 7 章をご覧ください。

通信セットについて

通信設定では、インターネット接続を行うための設定を、「通信セット」という単位で登録します。インターネット接続のための通信セットには、次の 2 種類があります。

(1) ダイヤルアップ接続の通信セット

「ダイヤルアップ接続」は、電話回線を経由してインターネットに接続する方法です。プロバイダを利用してインターネットに接続する場合は、通常この方法を使います。
ダイヤルアップ接続の通信セットには、以下のような設定項目が含まれます。

- 通信セット名
- ダイヤルアップ接続先設定（接続先の電話番号、接続 ID、パスワードなど）
- モデム設定（ダイヤルアップ接続に利用するモデムに関する設定）
- メールアカウント設定（メールアドレス、メールアカウント、パスワードなど、メールを利用する場合にのみ設定）
- Proxy サーバーの設定（ブラウザを利用する場合にのみ必要に応じて設定）

ダイヤルアップ接続の通信セットは、複数作成することができます。

(2) LAN 接続の通信セット

「LAN接続」は、企業内などのLANを経由してインターネットに接続する方法です。
LAN 接続の通信セットには、以下のような設定項目が含まれます。

- 通信セット名
- LAN カードアダプタ情報
- LAN 接続のための各種設定（IP アドレス、ドメイン名、DNS など）
- メールアカウント設定（メールアドレス、メールアカウント、パスワードなど、メールを利用する場合にのみ設定）
- Proxy サーバーの設定（ブラウザを利用する場合にのみ必要に応じて設定）

LAN 接続の通信セットは、一つだけ作成することができます。

ダイヤルアップ接続設定を行う

ダイヤルアップ接続設定では、ご加入のプロバイダの情報を本機に設定します。プロバイダから支給されている、以下の情報をご確認ください。

電話番号 .... ダイヤルアップ接続を行うための電話番号で、通常「アクセスポイント」と呼びます。接続に利用する機器（携帯電話／アナログ回線など）に合ったアクセスポイントを選ぶことが必要です。

接続 ID .... プロバイダへのダイヤルアップ接続時に使う ID です。プロバイダによって、「ログイン ID」、「接続 ID」「ログイン名」などの、さまざまな呼び方があります。メールサーバーへの接続のためのユーザー名とは異なりますので、ご注意ください。

パスワード .... プロバイダへのダイヤルアップ接続時に使うパスワードです。プロバイダによって、「認証パスワード」、「ログインパスワード」、「接続パスワード」などの、さまざまな呼び方があります。メールサーバーへの接続のためのパスワードではありませんので、ご注意ください。

ネームサーバー ..... 接続先のプロバイダのインターネット上の住所に相当する情報です。通常は「プライマリ DNS」（本機の設定項目名は「DNS 1」）と「セカンダリDNS」（本機の設定項目名は「DNS 2」）の2つがあります。それぞれ「000.000.000.000」のように数値で指定します。

POP サーバー .... メールの受信に使われるサーバー名です。（例：popn.@abc.or.jp）

SMTP サーバー .... メールの送信に使われるサーバー名です。（例：smtpn.@abc.or.jp）

メールアドレス、... メールアカウント メールサーバーに接続するためのユーザー名です。通常はメールアドレスの「@」の前までがユーザー名となります。

パスワード .... メールサーバーに接続するためのパスワードです。

MEMO

- 上記の情報は、プロバイダ経由でインターネットに接続し、ネットサーフィンを行う際に、一般的に必要となる最低限の情報です。これら以外の情報が支給されている場合、特別な設定が必要かどうかについては、入会しているプロバイダにお問い合わせください。
- メールアドレス、メールアカウント、パスワードの入力時は、必ず半角英数字をご使用ください。

ダイヤルアップ接続の設定を行うには

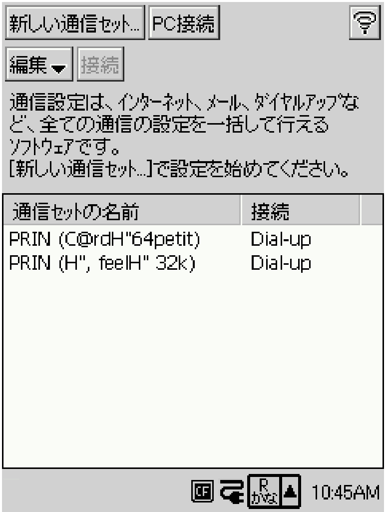
MEMO

- 通信カードやモデムカードによっては、以下の操作を行う前に、あらかじめカードを本機のカードスロットに差し込んでおく必要があります。詳しくは各カードの説明書を参照してください。
- 通信設定にもともと入っている通信セットについて
  - H"，feelH" をお持ちの方は、本機に予め組み込まれている通信セット PRIN (H",feelH" 32k) を使ってすぐにブラウザでインターネットにアクセスできます。
  - C@rdH"64petit をお持ちの方は、本機に予め組み込まれている通信セット PRIN (C@rdH"64petit) を使ってすぐにブラウザでインターネットにアクセスできます。
  - ただし、双方ともメールの送受信をするためには、H"LINK の E メールアドレスを取得している必要があります。

PRIN　　　　　　http://www.prin.ne.jp/
メールについて　http://www.prin.ne.jp/prin/mail/mail.html
また、H"LINKから取得しているアカウント情報を元に、通信セットの中のメールアドレス、メールアカウント、メールパスワードを書き換える必要があります。
例）****@pdx.ne.jp → hanako@pdx.ne.jp
　　　　　　　　　　　取得しているアカウント

1. トップメニュー上で［通信設定］をダブルタップします。

- 通信設定が起動し、以下のような画面が表示されます。



すでに登録済みの通信セットが、ここに一覧表示されます。

2. ［新しい通信セット］をタップします。

- 通信セット名などを指定する以下のような画面が表示されます。



新規作成する通信セットの名前を入力します。

どのプログラムでこの通信セットを使うかを指定します。

ダイヤルアップ接続を選択します。

通信セット名画面

3. ［→］をタップします。

- ダイヤルアップ接続先の情報を入力する画面になります。



入会しているプロバイダから支給されている情報に従って、ダイヤルアップ接続先の電話番号、接続ID、パスワードをそれぞれ入力します。
※半角で入力してください。

ここをタップすると、ダイヤルアップ接続時のリダイヤル回数、認証プロトコル、IPアドレス設定を行うことができます。詳しくは「ダイヤルアップ接続の高度な設定」（128ページ）をご覧ください。

ダイヤルアップ先情報画面

4. ［→］をタップします。

- 接続に利用するモデムの情報を入力する画面になります。



ここをタップして、通信に利用するモデムを選択します。
使わないモデムドライバを削除することによって本体メモリを若干増やすことができます。「ドライバ一覧」（259ページ）をご覧ください。

通信速度は、接続に利用するアクセスポイントとモデムの通信速度の範囲内で設定します。

これらの設定項目は、基本的には初期設定状態のままで構いません。入会しているプロバイダの指定があるなどの場合のみ、設定を変更してください。

モデム情報画面

MEMO

- あらかじめ通信カードやモデムカード等を本機のカードスロットに差し込んでおかないと、モデムの選択画面に該当するカードが現れないことがあります。カードを差し込んでおいても現れない場合は、カードを差し込んだ状態で本機をリセットしてみてください。
- 手順2で「インターネットで使う」のみにチェックを付け「メールで使う」にチェックを付けていない場合は、次の手順5と6の画面は表示されません。手順7に進んでください。

5. ［→］をタップします。

- メールアカウントに関する情報を入力する画面になります。



それぞれ、プロバイダから提供されている情報を入力してください。
※半角で入力してください。

メールの送信時にメールアドレスと共に表示される名前を、ここに入力します。

メールアカウント情報１画面

6. ［→］をタップします。

- 引き続きメールアカウント情報を入力します。



プロバイダから提供されているPOP3およびSMTPサーバ名を入力します。
※半角で入力してください。

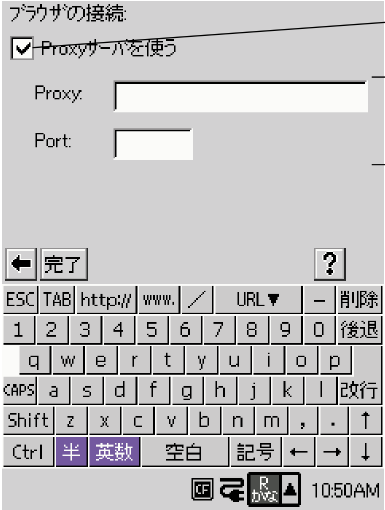
メールの送信の前に、メール受信のための認証を必要とするプロバイダの場合は、ここにチェックを付けます。ご利用のプロバイダで「POP Before SMTP」が必要かどうかは、プロバイダにお問い合わせください。

メールアカウント情報２画面

- 手順２で「メールで使う」のみにチェックを付け「インターネットで使う」にチェックを付けていない場合は、次の手順7の画面は表示されません。手順８に進んでください。

7. ［→］をタップします。

- ブラウザに関する設定を行う画面になります。



ブラウザの利用時にProxyサーバを使う場合には、ここにチェックを付けた上で、以下の情報への入力を行います。ご利用のプロバイダでProxyサーバを使うことができるかどうかは、プロバイダにお問い合わせください。

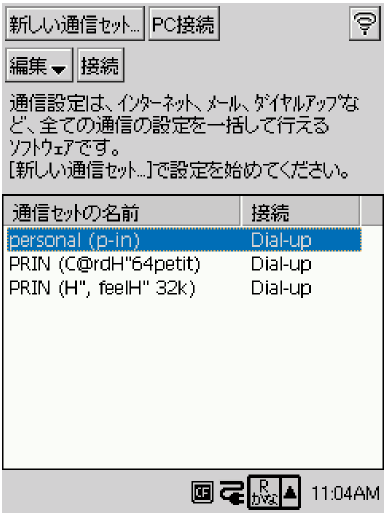
IPアドレス、ポートナンバーを入力します。
※半角で入力してください。

ブラウザ情報画面

8. 必要に応じて［←］ボタンをタップして前の画面に戻り、設定内容の確認を行います。

9. 正しく設定されているのを確認したら、［完了］をタップします。

- 新しい通信セットが登録され、通信設定の最初の画面に戻ります。



今登録した通信セットの名前が表示されるのを確認してください。

ダイヤルアップ接続の高度な設定

ダイヤルアップ先情報画面（125ページ）から、必要に応じてダイヤルアップ接続に関する高度な設定を行うことができます。

1. ダイヤルアップ先情報画面で［高度な設定］をタップします。

- 以下の画面が表示されます。



ダイヤルアップの高度な設定 1 画面

ダイヤルアップ接続先が通話中だった場合のリダイヤル回数と間隔を入力します。

接続時の認証プロトコルの暗号化の有無を選択します。通常は「なし」を選択してください。接続がうまくいかないようなら「あり」を試してみてください。

2. ［→］をタップします。



ダイヤルアップの高度な設定 2 画面

通常は「自動的に取得する」にチェックを付けておきます。固定 IP アドレスを利用する場合は、「自動的に取得する」のチェックを外した上で、IP アドレスを入力します。

ご入会のプロバイダから提供されている情報に従って入力してください。通常は「自動的に取得する」のチェックを外し、DNS1（およびDNS2）のみを指定します。

3. ［OK］をタップします。

- ダイヤルアップ先情報画面に戻ります。

ダイヤルアップ接続のテスト

「ダイヤルアップ接続の設定を行うには」（124ページ）の手順で作成した通信セットを使った、実際の接続のテストを行ってみましょう。

1. CASSIOPEIAの電源を切り、ダイヤルアップ接続に利用する機器を本機にセットします。

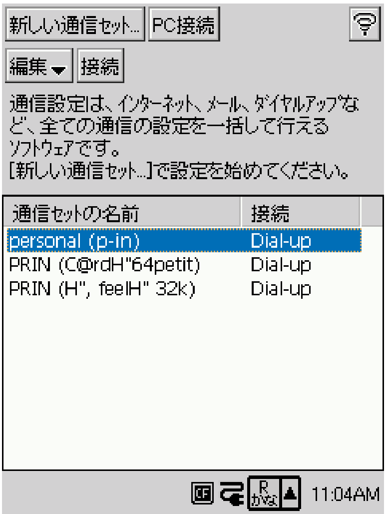
- 携帯電話を本機に接続するか、モデムカードを本機に取り付けます。携帯電話の接続やモデムカードの取り付けについては、第1章をご覧ください。

2. CASSIOPEIA の電源を入れます。

3. トップメニュー上で［通信設定］をダブルタップします。

- 通信設定が起動します。

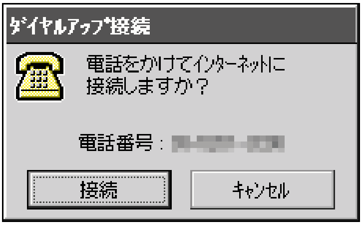
4. 通信設定画面で、接続に利用する通信セットをタップして選択します。



5. ［接続］をタップします。

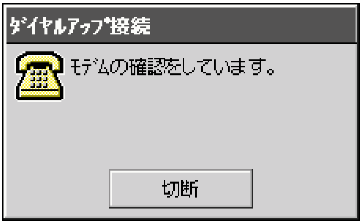
4 インターネットの利用

- 以下のダイアログが表示されます。



6. ［接続］をタップします。

- 以下のダイアログが表示され、接続先に電話をかけます。



7. ダイヤルアップ接続が確立すると、ダイアログが以下のようになり、本機がインターネットに接続された状態となります。



ダイヤルアップ接続中は、システムトレイにこのアイコンが表示されます。

- この状態で、ブラウザを使ったホームページを閲覧や、メールを使った電子メールの送受信が可能となります。各プログラムの利用については、「4-3 メール」「4-4 ブラウザ」でそれぞれ後述します。

8. ダイヤルアップ接続を切断するには、［切断］をタップします。

MEMO

- ダイヤルアップ接続ダイアログ上の［隠す］をタップすると、ダイヤルアップ接続ダイアログが背面に周り、隠れた状態になります。この状態でも接続状態は継続していますので、ご注意ください。
- 背面に回ったダイヤルアップ接続ダイアログを前面に表示するには、システムトレイのアイコンをタップしてください。
- ダイヤルアップ接続がうまくいかない場合は、機器の接続状態や設定内容を再確認してください。問題が解決できない場合は、巻末の「トラブルシューティング」をご覧ください。

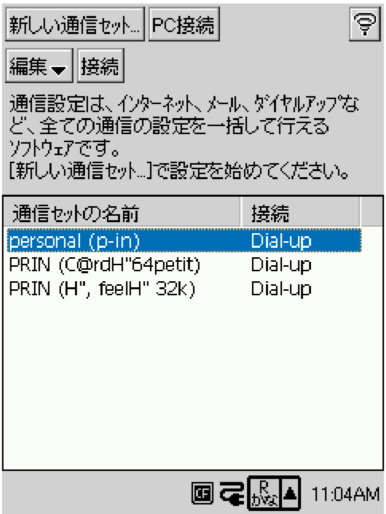
LAN 接続の設定を行う

本機を企業内などのLANを経由してインターネットに接続する場合には、LAN接続設定を行います。設定情報については、本機を接続するLANのシステム管理者などにお問い合わせください。

LAN 接続の設定を行うには

1. トップメニュー上で［通信設定］をダブルタップします。

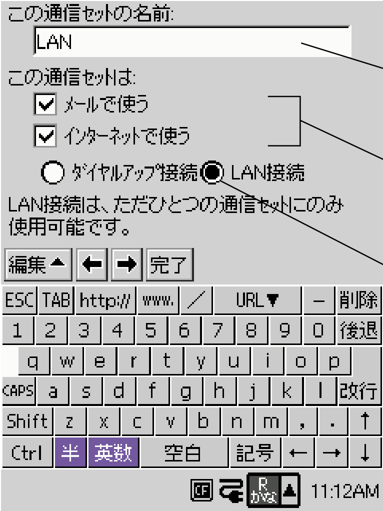
- 通信設定が起動し、以下のような画面が表示されます。



すでに登録済みの通信セットが、ここに一覧表示されます。

2. ［新しい通信セット］をタップします。

- 通信セット名などを指定する以下のような画面が表示されます。



新規作成する通信セットの名前を入力します。

どのプログラムでこの通信セットを使うかを指定します。

LAN 接続を選択します。

通信セット名画面

3. ［→］をタップします。

- 以下のような画面が表示されます。



LAN接続に利用するLANカードを選択します。

本機のLAN上のIPアドレスを固定的に指定する場合には、ここにIPアドレスを入力します。自動的に取得する場合には「自動的に取得する」にチェックを付けます。

LAN 設定（1)画面

4. ［→］をタップします。

- 以下のような画面が表示されます。



LAN 設定 (2)画面

ドメイン名および DNS アドレスをそれぞれ入力します。
DNSアドレスを自動的に取得する場合には、「自動的に取得する」にチェックを付けます。

5. ［→］をタップします。

- 以下のような画面が表示されます。



LAN 設定 (3)画面

LAN 接続時の認証のための「接続ID」と「パスワード」をそれぞれ入力してください。

6. ［→］をタップします。
- メールアカウントに関する情報を入力する画面になります。
- ここからの操作は、「ダイヤルアップ接続の設定を行うには」の手順５（126 ページ）以降とまったく同じになります。

通信セットの編集

作成済みの通信セットは、訂正、コピー、削除することができます。

通信セットの内容を訂正するには

既存の通信セットの訂正は、以下の手順で行います。

1. トップメニュー上で［通信設定］をダブルタップします。
   - 通信設定が起動します。

2. 内容を訂正したい通信セットをタップして選択します。

3. ［編集▼］→［通信セットを訂正］をタップします。
   - 手順２で選択した通信セットの通信セット名画面が表示されます。

4. ［→］／［←］ボタンをタップして各設定画面を移動し、必要な部分に訂正を加えます。
   - 訂正時の設定方法は、新規の通信セット作成時とまったく同様です。ダイヤルアップ接続の通信セットの場合は 123 ～ 131 ページを、LAN 接続の通信セットの場合は 131 ～ 134 ページを、それぞれ必要に応じてご覧ください。

5. 訂正が済んだら、いずれかの設定画面上で［完了］をタップします。
   - 訂正内容が登録され、通信設定の最初の画面に戻ります。

通信セットのコピーを作成するには

ダイヤルアップ接続の通信セットは、必要に応じてコピーを作成することができます。例えばアクセスポイント以外の情報がまったく同一の通信セットを作成するような場合には、コピーを作成してからアクセスポイントの電話番号のみを変更すれば、手間を省くことができます。

MEMO

- コピーが可能なのはダイヤルアップ接続の通信セットのみです。LAN接続の通信セットは一つしか作成できないため、コピーすることはできません。

通信セットのコピーは以下の手順で行います。

1. トップメニュー上で［通信設定］をダブルタップします。
- 通信設定が起動します。

2. コピーしたい通信セットをタップして選択します。

3. ［編集▼］→［通信セットをコピー］をタップします。
- 手順2で選択した通信セットの複製が作成されます。複製された通信セットには、元の通信セットの名称に番号が加えられます。

例：　元の通信セットの名前　　　CASIO Dial-up
　　　複製された通信セットの名前 CASIO Dial-up (2)

通信セットを削除するには

不要になった通信セットを削除することができます。LAN接続の通信セットを新たに作成したい場合には、その通信セットを一度削除することが必要です。
通信セットの削除は以下の手順で行います。

1. トップメニュー上で［通信設定］をダブルタップします。
- 通信設定が起動します。

2. 削除したい通信セットをタップして選択します。

3. ［編集▼］→［通信セットを削除］をタップします。
- 選択した通信セットを削除して良いかを確認するダイアログが表示されます。

4. 削除して良い場合は［はい］をタップします。
- 削除するのを止める場合は［いいえ］をタップします。

4-3 メール（電子メールの利用）

「メール」は、CASSIOPEIA 上で電子メールを送受信するための電子メールソフトです。「メール」には、以下のような特長があります。

- 複数のアカウントに対応しています。
- メールの強力な整理機能を備えています。整理用のフォルダの作成、選択した複数のメールの一括移動、コピー、削除、メモリカードへのメールの保存などが可能です。
- 添付ファイルの送受信に対応しています。
- メール作成時に便利な定型文の登録／呼び出しの機能を備えています。

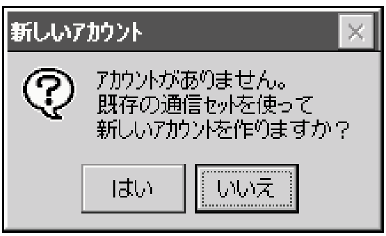
MEMO
- 「メール」は、POP3 メールサーバーのみに対応しています。IMAP4 には対応していません。
- ダイヤルアップ接続の設定やメールアカウントの設定は、通信設定を使って行います。詳しくは「4-2 通信設定」をご覧ください。

メールの起動

メールの初回の起動時について

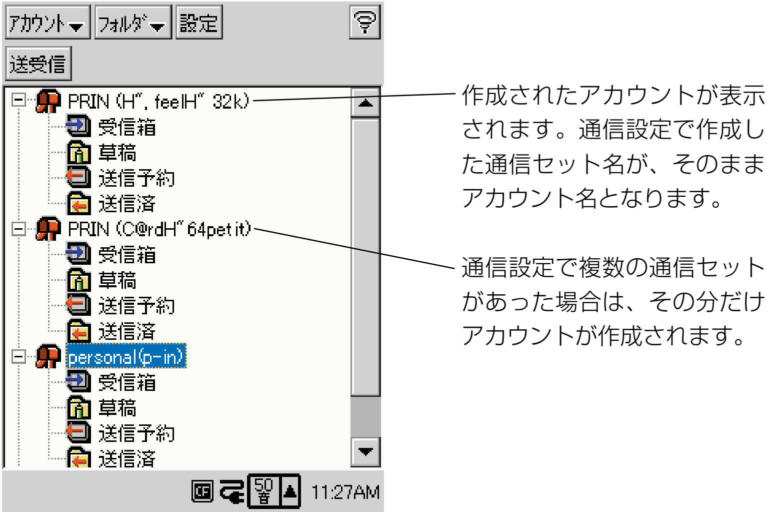
メールの初回の起動時には、必ず新規のアカウントを作成する操作が必要です。メールアカウントに関する各種の設定は通信設定上で作成した通信セットに含まれているため、通信設定ですでに通信セットを作成済みであれば、メールの起動時に表示されるダイアログに答えるだけで、メールの送受信に必要なアカウントが自動的に作成されます。
メールを初めて起動する際は、以下の手順で操作してください。

1. トップメニュー上で［メール］をダブルタップします。
- メールが起動し、以下のようなダイアログが表示されます。



2. [はい] をタップします。

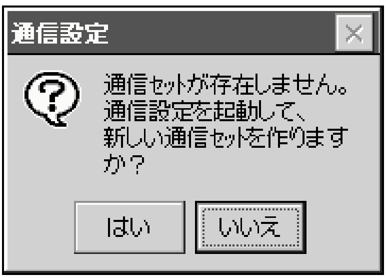
- 通信設定で作成した通信セットによってアカウントが作成され、以下のような画面（アカウント／フォルダー覧画面）が表示されます。



アカウント／フォルダー覧画面

MEMO

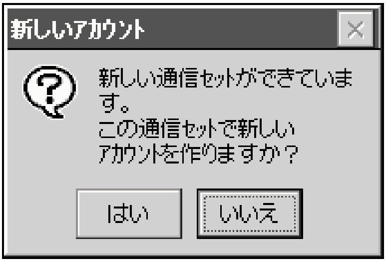
- メール上の操作によってすべてのアカウントを削除した場合は、その直後の起動時の動作は上記の説明と同様になります。
- 通信設定で通信セットを作成せずにメールを起動した場合は、以下のようなダイアログが表示されます。



このダイアログで [はい] をタップすると通信設定が起動し、新しい通信セットを作成する画面が表示されます。通信セットの作成について詳しくは、「4-2 通信設定」をご覧ください。

2回目以降のメールの起動について

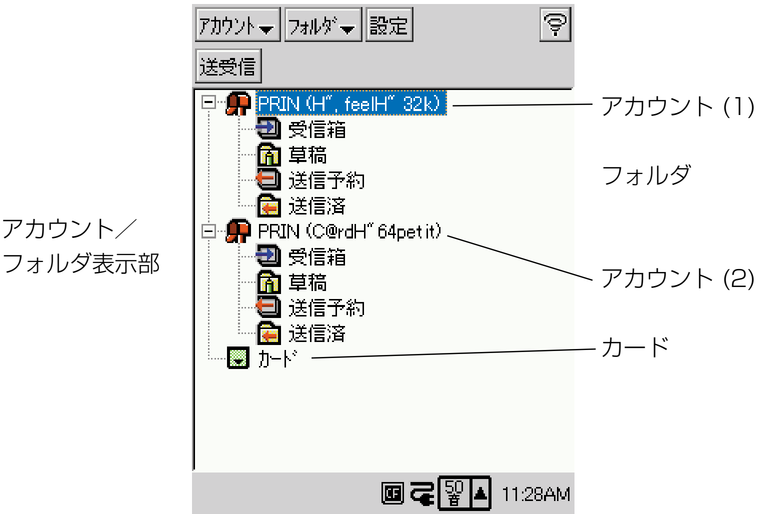
メールの初回の起動時にアカウントを作成した場合は、2回目以降の起動時にはすぐにメールのアカウント／フォルダー覧画面表示となります。ただし、メールソフトが新しい通信セットが作られたことを検知して、次のようなダイアログが表示される場合があります。



この場合は［はい］をタップして、新規の通信セットによるアカウントを作成してください。

アカウント／フォルダー覧画面について

メールを起動すると表示される「アカウント／フォルダー覧画面」は、メールでさまざまな操作を行うための起点となります。以下の画面は、2つのアカウントがある場合の例です。



以下ここでは、本画面の構成要素と、本画面で行うことができる操作を簡単に説明します。

アカウント／フォルダ表示部

- メール上のすべてのアカウントが一覧表示されます。各アカウントの左側の［+］をタップすると、そのアカウント内のフォルダが一覧表示されます。
- アカウントに含まれるフォルダのうち、「受信箱」「草稿」「送信予約」「送信済」の４つのフォルダを「既定のフォルダ」と呼びます。これらのフォルダは、各アカウントに対してデフォルトで作成され、削除することができません。
- アカウントまたはフォルダをタップするとハイライト表示になり、選択されたことを表します。現在選択されているアカウント（または現在選択されているフォルダを含むアカウント）が、メール送受信の実行対象となります。
- 本機のカードスロットにメモリカードが挿入されている場合は、カードアイコンが表示されます。カード上にアカウントを作成することはできませんが、カード内にフォルダを作ってメールを移動し、整理することができます。詳しくは「フォルダの作成とメールの整理」（165 ページ）をご覧ください。

［アカウント▼］メニュー

新規アカウントの作成、アカウントの編集、削除を行うことができます。詳しくは「アカウントの編集について」（140 ページ）をご覧ください。

［フォルダ▼］メニュー

新規フォルダの作成、フォルダ名の変更、フォルダの削除の操作を行うことができます。詳しくは「フォルダの作成とメールの整理」（165 ページ）をご覧ください。

［設定］ボタン

タップすると、メール送信時の署名の編集や、メールの作成、受信、表示に関するさまざまな設定を行うダイアログが表示されます。詳しくは「各種の設定について」（170 ページ）をご覧ください。

［送受信］ボタン

タップすると、現在選択されているアカウントによるメールの送受信が行われます。詳しくは「メールの送受信を行うには」（143 ページ）をご覧ください。

アカウントの編集について

メールの起動時に自動作成されたアカウントを編集したり、新規のアカウントを作成することができます。

アカウントを編集するには

既存のアカウントに対しては、アカウント名の変更と、アカウントに対する通信セットの変更が可能です。

1. アカウント／フォルダ一覧画面で、編集したいアカウントをタップして選択します。

2. ［アカウント▼］→［アカウントの編集］をタップします。

- 以下のダイアログが表示されます。



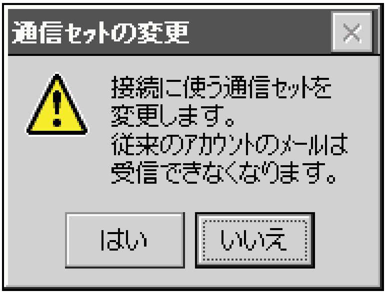
3. アカウント名を変更したい場合は、「アカウントの名前」欄に新しいアカウント名を入力します。

4. このアカウントで接続に使う通信セットを変更したい場合は、「接続に使う通信セット」欄をタップして、表示されるドロップダウンリストから別の通信セットを選択します。

- 通信セットが一つしかない場合は、選択を変更することはできません。

5. 変更を保存するには［OK］をタップします。

- 通信セットの変更を行った場合は、以下のダイアログが表示されます。



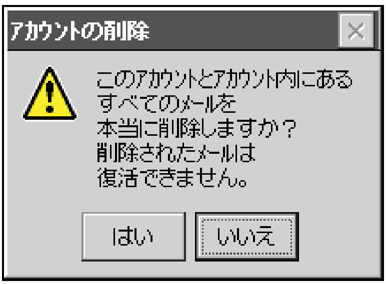
設定を変更して良い場合は［はい］をタップしてください。変更内容が保存され、アカウント／フォルダー覧画面に戻ります。

- 設定変更をやめる場合は［いいえ］をタップしてください。

アカウントを削除するには

1. アカウント／フォルダー覧画面で、削除したいアカウントをタップして選択します。

2. ［アカウント▼］→［アカウントの削除］をタップします。
   - 以下のダイアログが表示されます。



3. 本当に削除して良い場合は［はい］をタップします。
   - 削除をやめる場合は［いいえ］をタップしてください。

アカウントを新規作成するには

1. アカウント／フォルダ一覧画面で、［アカウント▼］→［新規アカウント］をタップします。

- 以下のダイアログが表示されます。



2. 「アカウントの名前」欄に、新規に作成するアカウントの名前を入力します。

3. 「接続に使う通信セット」欄をタップして、表示されるドロップダウンリストから通信セットを選択します。

4. ［OK］をタップします。

- 新規のアカウントが作成され、アカウント／フォルダ一覧画面に戻ります。

MEMO

- 上記の手順3で既存の通信セットを使わない場合は、［新しい通信セット］をタップして新規の通信セットを作成します。新規の通信セットの作成については、「4-2 通信設定」（122 ページ）をご覧ください。

メールの送受信

メールの送受信には、次の方法があります。

(1) 送信と受信を同時に行う .... 「送信予約」フォルダ（147 ページ参照）内に保存してある全メールの送信と、メールサーバ上の全メールの受信を行います。
(2) 受信のみを行う .... メールサーバ上の全メールの受信のみを行います。
(3) 送信のみを行う .... 「送信予約」フォルダ内に保存してある全メールの送信のみを行います。特定のメール１通だけを送信することも可能です。

(1)と(2)の操作は、いずれもアカウント／フォルダ一覧画面から行います。ここでは、(1)と(2)について説明します。
(3)については、「送信メールの作成」（145 ページ）の中で説明します。

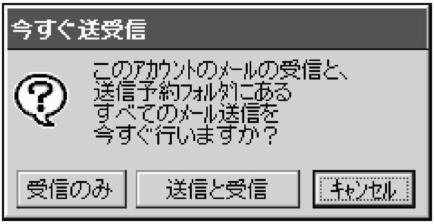
メールの送受信を行うには

1. メールを起動し、アカウント／フォルダ一覧画面を表示します。

2. 送受信を行いたいアカウントをタップして選択します。

3. ［送受信］をタップします。

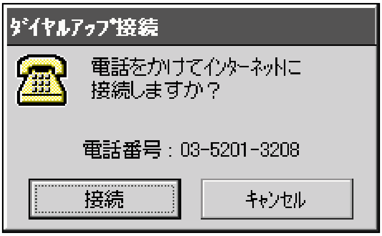
- 以下のようなダイアログが表示されます。



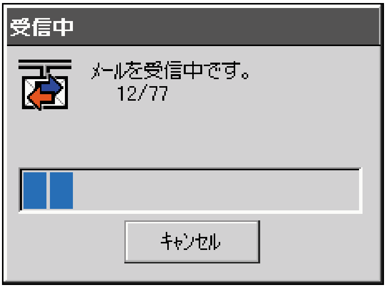
4. 実行したい操作に応じて、［受信のみ］または［送信と受信］をタップします。

- ダイヤルアップ接続の場合は、ここで以下のダイアログが表示されますので、［接続］をタップします。

4
インターネットの利用

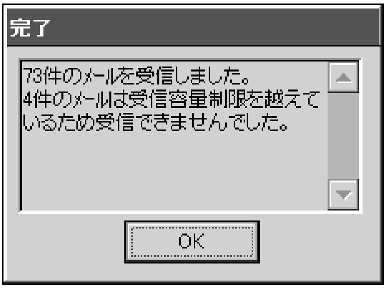


5. メールサーバーに接続されると以下のようなダイアログが表示され、受信→送信の順に実行されます。



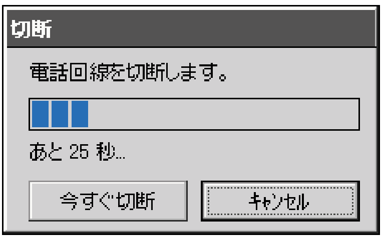
6. 送受信が完了すると、結果を示すダイアログが表示されます。

- 表示されるダイアログの内容は、結果によって異なります。



7. ［OK］をタップします。

- ダイヤルアップ接続の場合は以下のダイアログが表示され、放置すると表示時間後に回線が自動切断されます。



- すぐに電話回線を切断したい場合は［今すぐ切断］をタップしてください。
- 電話回線を切断せずに、本機をインターネットに接続したままにしたい場合には、［キャンセル］をタップしてください。

送信メールの作成

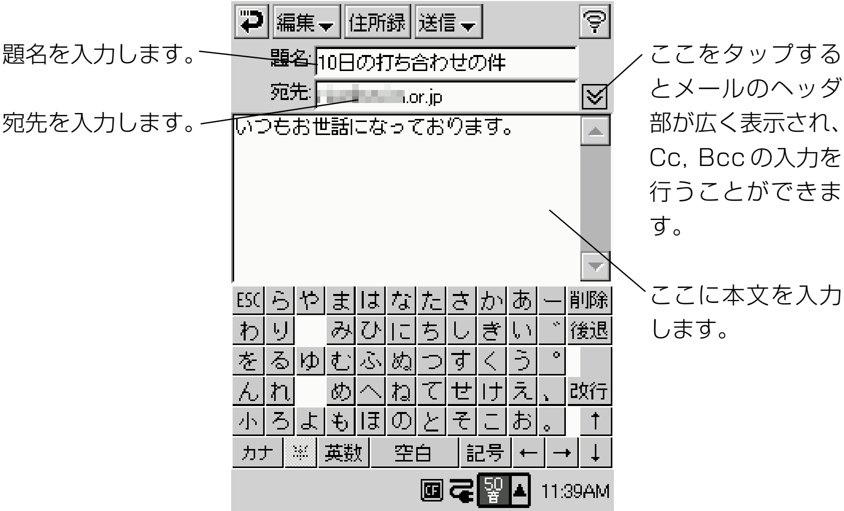
ここでは、送信メールの新規作成、編集、および送信メール作成に関わる各種の機能について説明します。

新規の送信メールを作成するには

1. メールを起動し、アカウント／フォルダー覧画面を表示します。
2. 送信を行いたいアカウントに含まれる任意のフォルダをダブルタップして開きます。
   - ダブルタップしたフォルダのメール一覧画面が表示されます（以下は受信箱フォルダの場合の画面例）。



3. ［新規］をタップします。
   - メールの編集画面が表示されます。

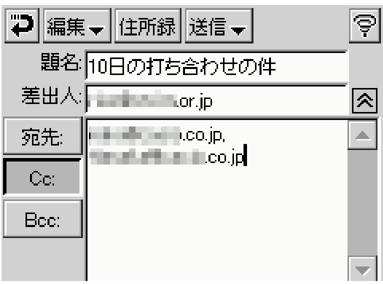


4. 題名、宛先、本文などを順次入力します。

- 宛先は、住所録への登録情報から入力することもできます（148ページ「住所録からメールアドレスを入力するには」を参照）。
- 本文の入力時には、あらかじめ登録しておいた定型文を利用することができます（151ページ「メールの本文に定型文を挿入するには」を参照）。
- メールに対してファイルを添付することができます（149ページ「ファイルを添付するには」を参照）。

5. Cc, Bccを入力したい場合はをタップします。

- メールのヘッダ部が広く表示されます。[Cc]、[Bcc] の入力したい項目のボタンをタップして、右側のテキストボックスにメールアドレスを入力してください。



- をタップすると、ヘッダ部の表示が元の状態に戻ります。

6. メールの作成が済んだら、[送信▼] → [送信予約フォルダへ] をタップします。

- 作成したメールが送信予約フォルダに保存されます。送信予約フォルダに保存されたメールは、次回のメールの送受信の操作時に、まとめて送信が行われます（143 ページ)。
- 作成したメールの送信を今すぐに行いたい場合は、[送信▼] → [今すぐ送信] をタップしてください。

MEMO

- 送信メールの本文末尾に署名を付けたい場合は、設定画面の「署名」タブに署名の入力を行います。詳しくは 170 ページをご覧ください。
- 上記の手順５の画面で「差出人」欄をタップすると以下のようなダイアログが表示され、メールの送信に利用するアカウントを変更することができます(複数のアカウントが設定されている場合)。



- 上記の手順6の操作を行わずにをタップすると、作成中のメールは [草稿] フォルダ内に一時保存されます。

編集中のメールを削除するには

1. メールの編集画面で [編集▼] → [メール削除] をタップします。

- 削除して良いかを確認するダイアログが表示されます。

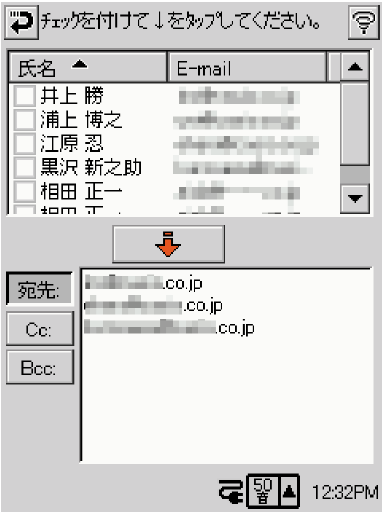
2. 削除して良い場合は [OK] をタップします。

- 削除をやめる場合は [×] をタップします。

住所録からメールアドレスを入力するには

1. メールの編集画面で［住所録］ボタンをタップします。

- 以下の画面が表示されます。



2. 宛先として指定したいすべてのメールアドレスにチェックを付けます。

3. をタップします。

- 手順2でチェックしたメールアドレスが、下のテキストボックスに入力されます。

4. 必要に応じて［Cc］、［Bcc］ボタンをタップし、上記の手順２と３と同様の操作でCc先、Bcc先のメールアドレスを入力します。

5. 指定がすべて済んだらボタンをタップします。

- メールの編集画面に戻ります。

MEMO

- あまり長いメールアドレスの場合、後ろが切れて表示される場合があります。

ファイルを添付するには

1. メールの編集画面で［編集▼］→［ファイルを添付］をタップします。

- 以下のようなファイル選択画面が表示されます。

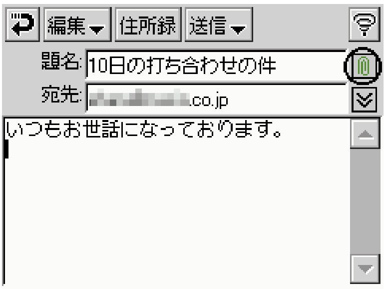


2. 添付したいファイルが入っているフォルダの左側の［+］をタップして、フォルダを開きます。

- フォルダ内のファイルがツリー表示されます。

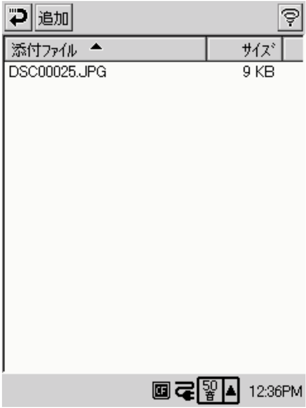
3. 添付したいファイルをタップして選択します。

- もう一度タップすると同時にそのファイルが添付ファイルとして選択され、メールの編集画面に戻ります。送信メールにファイルを添付すると、メール編集画面に📎が表示されます。



4. ファイルを続けて添付するには、をタップします。

- 添付ファイル画面が表示されます。添付ファイル画面には、最初に添付したファイルのファイル名とサイズが表示されています。



5. [追加]をタップします。

- ファイル選択画面が表示されます。

6. 手順2と同様に、添付したいファイルが入っているフォルダの左側の［+］をタップして、フォルダを開きます。

7. 添付したいファイルをタップして選択します。

- もう一度タップすると同時にそのファイルが添付ファイルとして選択され、添付ファイル画面に戻ります。

8. 必要なだけ、手順５～７ を繰り返します。

9. 添付したいファイルの選択が済んだら、添付ファイル画面でをタップします。

- メール編集の画面に戻ります。

MEMO

- メモリカードの利用中は、ファイル選択画面で［カード］タブをタップして、カード内のファイルを選択することも可能です。
- 一度添付の指定をしたファイルの添付を取り消すには、添付ファイル画面でそのファイルをタップして選択し、［削除］をタップしてください。

メールの本文に定型文を挿入するには

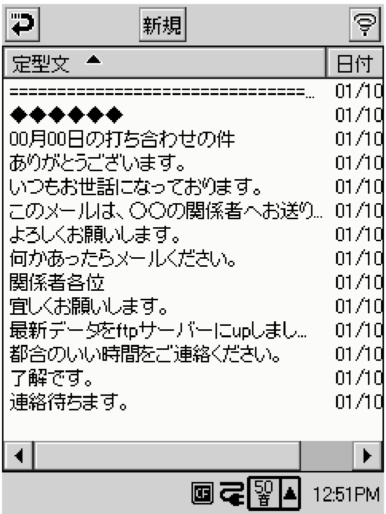
あらかじめ登録しておいた定型文を、メールの本文に挿入することができます。定型文の挿入は、以下の手順で行います。
※定型文の登録のしかたは後述します。

1. メールの編集画面で、定型文を挿入したい本文フィールド内の位置にカーソルを移動します。

- このとき、本文中のテキストが選択された状態にならないようにご注意ください。

2. ［編集▼］→［定型文］をタップします。

- 登録されている定型文の一覧画面が表示されます。



3. 挿入したい定型文をタップして選択します。

4. ［これを使う］ボタンをタップします。

- メールの編集画面に戻り、選択した定型文がメールの本文中に挿入されます。

定型文を新規登録するには

1. メールの編集画面で、本文フィールド内をタップします。

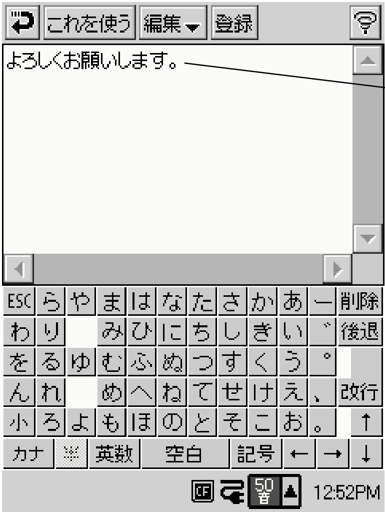
- 本文フィールド内のタップした位置にカーソルが表示されます。
- このとき、本文中のテキストが選択された状態にならないようにご注意ください。

2. ［編集▼］→［定型文］をタップします。

- 定型文の一覧画面が表示されます。

3. ［新規］ボタンをタップします。

- 定型文の編集画面が表示されます。



ここから定型文を入力します。

4. 登録したい定型文を入力します。

5. 入力が済んだら［登録］をタップします。

- 入力した文章が定型文として登録され、定型文の一覧画面に戻ります。

6. メールの編集画面に戻るには、をタップします。

MEMO

- 定型文の編集画面でをタップすると、入力した文章を定型文として登録せずに戻ります。

- 定型文の編集画面で［これを使う］をタップすると、メールの編集画面に戻り、入力した文章がメールの本文中に挿入されます。

編集中のメール本文の一部を定型文として登録するには

メールの編集画面で、本文フィールドに入力中の文字列の一部を選択し、定型文として登録することができます。

1. メールの編集画面の本文フィールドで、定型文として登録したい文字列をドラッグして選択します。

2. ［編集▼］→［定型文］をタップします。

- 定型文の編集画面が表示され、手順1で選択した文字列が入力された状態となります。

3. 必要に応じて、文字列を編集します。

4. ［登録］をタップします。

- 入力した文章が定型文として登録され、定型文の一覧画面に戻ります。

5. メールの編集画面に戻るには、をタップします。

定型文を削除するには

1. メールの編集画面で、本文フィールド内をタップします。

2. ［編集▼］→［定型文］をタップします。

- 定型文の一覧画面が表示されます。

3. 削除したい定型文をタップして選択します。

4. ［削除］ボタンをタップします。

- 選択した定型文が削除されます。

定型文を編集するには

1. メールの編集画面で、本文フィールド内をタップします。

2. ［編集▼］→［定型文］をタップします。
- 定型文の一覧画面が表示されます。

3. 編集したい定型文をダブルタップします。
- 定型文の編集画面が表示されます。

4. 定型文の修正を行います。

5. 必要な修正が済んだら［登録］をタップします。
- 修正が保存され、定型文の一覧画面に戻ります。

6. メールの編集画面に戻るには、をタップします。

スケジュール定型書式について

メールには、受信したメールの本文テキストを、スケジュールデータとして登録する機能があります（164ページ「受信メールの本文をスケジュールに送るには」を参照）。会議の予定などをメールで通知する際に、「スケジュール定型書式」を使ってメールを作成し、BE-500ユーザー宛に送信すると、受信者がそのメールをより効率良くスケジュールデータとして登録することができます。

1. メールの編集画面で、スケジュール定型書式を挿入したい本文フィールド内の位置にカーソルを移動します。

2. ［編集▼］→［スケジュール定型書式］をタップします。

- 以下の形式のテキストが、本文フィールドのカーソル位置に挿入されます。

```
*_スケジュール書式開始
*_内容_:_ここに内容を書く
*_開始日_:_2001/11/02
*_終了日_:_2001/11/02
*_開始時刻_:_13:00
*_終了時刻_:_15:00
*_場所_:_ここに場所を書く
*_メモ_:_ここにメモを書く_:_メモ終了
*_スケジュール書式終了
```

"_" は半角スペースを表します。

3. 件名〜内容の各項目を、それぞれ入力します。

- 例えば、以下のように入力します。

```
*_スケジュール書式開始
*_内容_:_月例販売会議
*_開始日_:_2001/12/15
*_終了日_:_2001/12/15
*_開始時刻_:_13:00
*_終了時刻_:_15:00
*_場所_:_本社第2 会議室
*_メモ_:_第二四半期の売上状況について_:_メモ終了
*_スケジュール書式終了
```

MEMO

- スケジュール定型書式の機能は、定型テキストを本文中に挿入するだけです。メール作成のその他の操作については、通常の操作とまったく同様です。
- スケジュール定型書式を利用する場合、時間は24時間表記で書きます（例：18:30）。
- 日付の書き方（書式）が正しくなかったり、不正な改行などが入っていると、スケジュールに正しく反映されません。

4

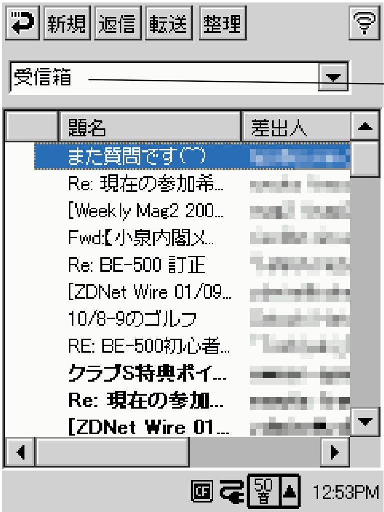
インターネットの利用

メールの表示について

メールを使って受信したメールや送信済みメールなどは、「メール一覧画面」または「メール詳細画面」のいずれかの画面を使って表示することができます。

メール一覧画面

一つのフォルダ（受信箱フォルダ、送信済フォルダなど）の中に含まれているメールを一覧表示する画面です。アカウント／フォルダ一覧画面で任意のフォルダをダブルタップすると、そのフォルダのメール一覧画面が表示されます。
以下は受信箱のメール一覧画面の例です。

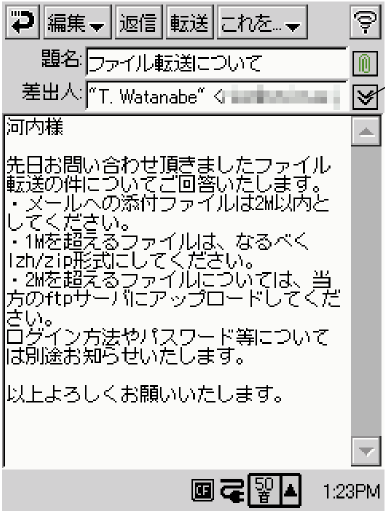


ここをタップすると同じアカウント内のフォルダが一覧表示され、他のフォルダのメール一覧画面に移動することができます。

フォルダ内のメールが一覧表示されます。どれか一つをダブルタップすると、そのメールの「メール詳細画面」が表示されます。

メール詳細画面

1通のメールの内容を詳細表示する画面です。メール一覧画面で任意のメールをダブルタップすると、そのメールのメール詳細画面が表示されます。
以下は受信メールの場合の例です。



ここをタップするとメールのヘッダ部分が拡張表示されます。ヘッダの拡張表示を元に戻すには、拡張表示中に[^]をタップします。

MEMO

- 草稿フォルダ、および送信予約フォルダのメール一覧画面上に表示されている任意のメールをダブルタップした場合は、そのメールの編集画面が表示されます。メールの編集画面上で行うことができる操作は、「送信メールの作成」（145 ページ）の内容に準じます。

受信メールに対する各種操作

ここでは、受信メールに対してのみ行うことができる各種の操作について説明します。

MEMO

- ここでの説明に出てくる「メール一覧画面」および「メール詳細画面」については、156 ページの「メールの表示について」をご覧ください。

返信メールを作成するには

受信したメールに対する返信メールの作成には､以下のいずれかの方法があります。

(1) 受信メールのメール一覧画面で返信したいメールをタップして選択し、［返信］ボタンをタップする

(2) 返信したい受信メールのメール詳細画面を表示して､[返信] ボタンをタップする

いずれの操作を行っても､元の受信メールの内容を本文に引用した､新規の送信メールの編集画面となります。｢新規の送信メールを作成するには｣（145 ページ）と同様の操作で、返信メールを作成してください。

MEMO

- 宛先が複数の受信メールに[返信]ボタンをタップすると､宛先を問い合わせるダイアログが表示されます。全員に返信するときは[はい]を､送信者のみに返信するときは[いいえ]をタップしてください。

転送メールを作成するには

受信したメールを他のアドレスに転送するには､以下のいずれかの方法があります。

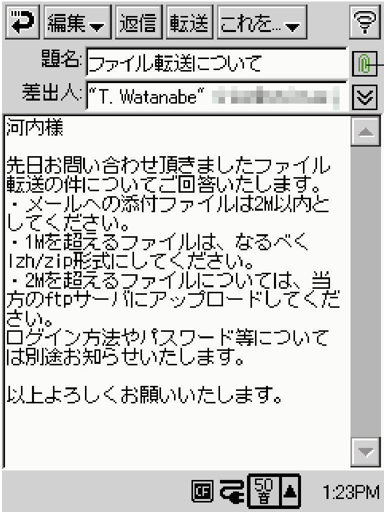
(1) 受信メールのメール一覧画面で転送したいメールをタップして選択し、［転送］ボタンをタップする

(2) 転送したい受信メールのメール詳細画面を表示して､[転送] ボタンをタップする

いずれの操作を行っても､元の受信メールの内容を本文に引用した､新規の送信メールの編集画面となります。｢新規の送信メールを作成するには｣（145 ページ）と同様の操作で、転送メールを作成してください。

添付ファイルを参照するには

受信メールに添付ファイルがある場合には、メール詳細画面上に以下のようなアイコンが表示されます。

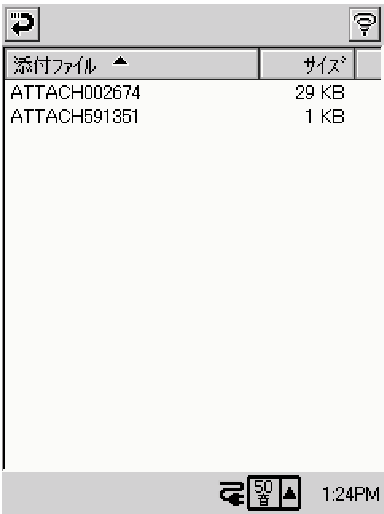


添付ファイルアイコン

添付ファイルを参照するには、以下の手順で操作します。

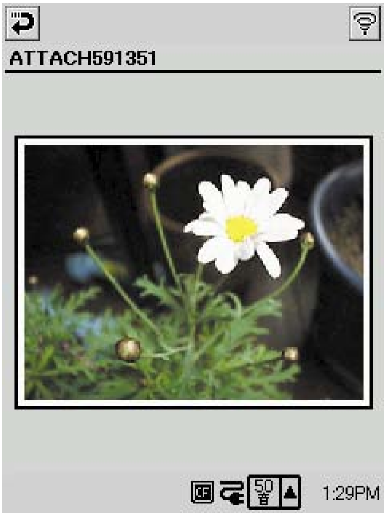
1. メール詳細画面で[添付ファイルアイコン]をタップします。

- 添付ファイル画面が表示されます。



2. 内容を参照したい添付ファイルをダブルタップします。

- 添付ファイルが画像ファイル（.JPG／.BMP／.GIF など）の場合は、以下のように表示されます。



をタップすると、元の添付ファイル画面に戻ります。

MEMO

- 手順２でダブルタップした添付ファイルが画像ファイル以外の場合は、ファイルタイプに応じたプログラムが起動し、そのファイルが開きます。
- 本機に対応プログラムのない添付ファイルは、本機では開くことはできません。

添付ファイルを保存するには

受信メールの添付ファイルを､メインメモリやメモリカード上に保存することができます。保存は次の手順で行います。

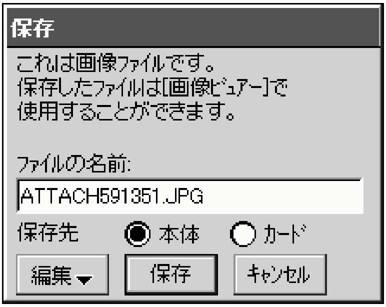
1. メール詳細画面でをタップします。

- 添付ファイル画面が表示されます。

2. 保存したい添付ファイルをタップして選択します。

3. ［保存］ボタンをタップします。

- 以下のようなダイアログが表示されます。



4. ファイル名と保存場所（本体またはカード）を指定します。

- 保存場所としてカードが選択できるのは、本機のカードスロットにメモリカードが挿入されている場合だけです。

5. ［保存］ボタンをタップします。

MEMO

- 上記の手順で保存した添付ファイルは、ファイルタイプに応じて、既定のフォルダ内に自動的に格納されます。例えば画像ファイルの場合は、￥My Documents￥Photo 内に入ります。

HTML メールを表示するには

HTML 形式のメールを受信した場合、そのメールのメール詳細画面上には［Html メール］ボタンが表示されます。このボタンをタップすると本機のブラウザ（詳細は 173 ページ参照）が起動し、HTML 形式の部分を表示することができます。

受信メールのヘッダ部分（From, To, Cc）に含まれているメールアドレスを住所録に登録するには

1. メール詳細画面で、ヘッダーフィールド（From, To, Cc のいずれか）内の住所録に登録したいメールアドレスをドラッグして選択します。

2. ［編集▼］→［住所録に登録］をタップします。

- 以下の画面が表示されます。



3. 「名前」欄にメールアドレスの所有者名を入力します。

4. ［OK］をタップします。

- 住所録に、入力した名前とメールアドレスのレコードが新規登録されます。

MEMO

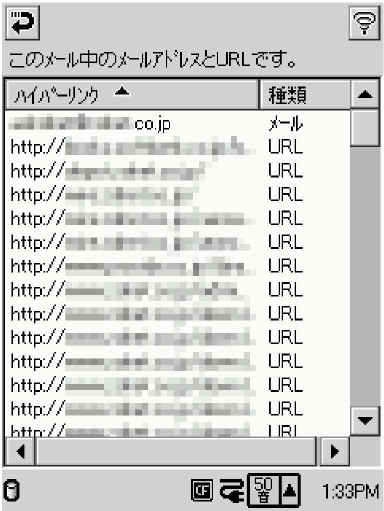
- 名前とメールアドレス以外の情報は、住所録を起動して追加入力してください。
- 特殊な記号など、名前として不正な文字を使うと文字が化けて表示されることがあります。

受信メール本文に含まれているハイパーリンクを参照するには

受信メールの本文中に含まれているハイパーリンク（メールアドレスとURL）のみを、一覧表示することができます。また、一覧表示から、メールアドレスを住所録に登録することも可能です。

1. メール詳細画面で、［編集▼］→［ハイパーリンク］をタップします。

- ハイパーリンク一覧画面が表示され、メール本文中に含まれるすべてのメールアドレスとURLが表示されます。



2. 元の画面に戻るには、をタップしてください。

受信メール本文に含まれているメールアドレスを住所録に登録するには

受信メール本文に含まれているメールアドレスを住所録に登録するには、以下の操作を行ってください。

1. ハイパーリンク一覧画面で、登録したいメールアドレスをタップして選択します。

2. ［住所録に登録］ボタンをタップします。

- 「住所録に登録」画面が表示されます。

3. 「名前」欄にメールアドレスの所有者名を入力します。

4. ［OK］をタップします。

- 住所録に、入力した名前とメールアドレスのレコードが新規登録されます。

MEMO

- 名前とメールアドレス以外の情報は、住所録を起動して追加入力してください。

受信メールの本文をスケジュールに送るには

本文にスケジュール情報を含む受信メールを、以下の対応でスケジュールに転送し、新規の予定を登録することができます。

メール	→	スケジュール
本文	→	件名
		開始日
		終了日
		開始時刻
		終了時刻
		場所
		内容

スケジュール定型書式（154ページ参照）を使って作成されたメールなど、メール本文のテキストが以下のような書式になっていた場合は、メール本文中のしかるべき部分が、スケジュールの各フィールドに格納されます。

```
*_スケジュール書式開始
*_内容_:_月例販売会議
*_開始日_:_2001/12/15
*_終了日_:_2001/12/15
*_開始時刻_:_13:00
*_終了時刻_:_15:00
*_場所_:_本社第2 会議室
*_メモ_:_第二四半期の売上状況について_:_メモ終了
*_スケジュール書式終了
```

“_”は半角スペースを表します。

受信メールの本文をスケジュールに転送するには、以下の手順で操作します。

1. メール詳細画面で［これを▼］→［スケジュールへ送る］をタップします。

- 上記の対応でメールの本文データがスケジュールに転送されます。スケジュールが起動し、新規予定データの作成画面が表示されます。

2. 予定データの各項目を、必要に応じて入力します。

- スケジュールへの予定データの入力操作について詳しくは、「3-2 スケジュール」の「予定データの入力」（89ページ）をご覧ください。

MEMO

- 受信メールの本文を正しく解析できなかった場合は、手順1で［これを▼］→［スケジュールへ送る］をタップしてもデータの転送が行われず、アラートメッセージが表示される場合があります。
- メール本文中に引用符が含まれていると、転送できません。

受信メールの本文をメモに送るには

受信メールの本文を、以下の対応でメモに転送し、新規のテキスト書類を作成することができます。

メール
ヘッダー部
本文

メモ
本文

1. メール詳細画面で［これを▼］→［メモへ送る］をタップします。

- メモが起動し、新規テキストの作成画面が表示されます。

2. 必要に応じて、本文の編集などの操作を行います。

- メモを使ったテキスト作成について詳しくは、「2-6 メモ」の「テキスト書類を新規作成するには」（72 ページ）をご覧ください。

フォルダの作成とメールの整理

メールでは、既定のフォルダ（「受信箱」「草稿」「送信予約」「送信済」の４つのフォルダ）以外に自由にフォルダを追加作成して、メールの分類を行うことができます。また、カード上にフォルダを作成してそのフォルダにメールを移動し、メインメモリを節約することも可能です。

新規フォルダを作成するには

1. メールのアカウント／フォルダ一覧画面を表示します。

2. フォルダを作成したいアカウントをタップして選択します。

3. ［フォルダ▼］→［新規フォルダ］をタップします。

- フォルダ名を入力するダイアログが表示されます。

4. フォルダ名を入力し、［OK］をタップします。

フォルダの名前を変更するには

既定のフォルダ以外のフォルダは、名前を変更することができます。

1. メールのアカウント／フォルダ一覧画面を表示し、名前を変更したいフォルダをタップして選択します。

2. ［フォルダ▼］→［フォルダの名称変更］をタップします。

- フォルダ名を入力するダイアログが表示されます。

3. フォルダ名を入力し、［OK］をタップします。

フォルダを削除するには

既定のフォルダ以外のフォルダは、削除することができます。フォルダを削除すると、その中に含まれているすべてのメールも削除されますのでご注意ください。

1. メールのアカウント／フォルダ一覧画面を表示し、削除したいフォルダをタップして選択します。

2. ［フォルダ▼］→［フォルダの削除］をタップします。

- フォルダとフォルダ内にあるすべてのメールを削除して良いかを確認するダイアログが表示されます。

3. 削除して良い場合は［はい］をタップします。

- 削除をやめる場合は［いいえ］をタップします。

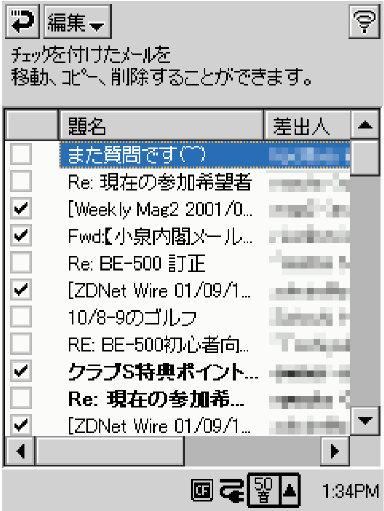
フォルダ間でメールを移動するには

1. 移動元のフォルダのメール一覧画面を表示します。

- 例えば受信箱フォルダのメールを他のフォルダに移動したい場合は､アカウント／フォルダ一覧画面で受信箱フォルダをダブルタップします。

2. ［整理］ボタンをタップします。

- 以下のような画面（整理モード画面）が表示されます。



3. 他のフォルダに移動したいメールにチェックを付けます。

- ［編集▼］→［全てにチェックをつける］をタップすると、すべてのメールに一括してチェックを付けることができます。逆に［編集▼］→［全てのチェックを外す］をタップすると、すべてのメールのチェックが外れます。

4. ［編集▼］→［他のフォルダへ移動］をタップします。

- 移動先のフォルダを指定するダイアログが表示されます。



5. 移動先として指定したいフォルダをダブルタップします。
   - タップすると同時に、そのフォルダへのメールの移動が実行されます。
   - 移動が完了すると、整理モード画面に戻ります。

6. 整理モード画面からメール一覧画面に戻るには、をタップします。

フォルダ間でメールをコピーするには

フォルダ間でのメールのコピー操作は、移動の操作とほとんど同じです。以下の説明中の「整理モード画面」については、「フォルダ間でメールを移動するには」（166ページ）をご覧ください。

1. コピー元のフォルダのメール一覧画面を表示します。

2. ［整理］ボタンをタップします。
   - 整理モード画面が表示されます。

3. 他のフォルダにコピー元したいメールにチェックを付けます。

4. ［編集▼］→［他のフォルダへコピー］をタップします。
   - コピー先のフォルダを指定するダイアログが表示されます。

5. コピー先として指定したいフォルダをダブルタップします。
   - タップすると同時に、そのフォルダへのメールのコピーが実行されます。
   - コピーが完了すると、整理モード画面に戻ります。

6. 整理モード画面からメール一覧画面に戻るには、をタップします。

メールを削除するには

以下の操作で、フォルダ内で指定したメールを一括して削除することができます。

1. 削除したいメールを含むフォルダのメール一覧画面を表示します。

2. ［整理］ボタンをタップします。
   - 整理モード画面が表示されます。

3. 削除したいメールにチェックを付けます。

4. ［編集▼］→［削除］をタップします。

- 削除して良いかを確認するダイアログが表示されます。

5. 削除して良い場合は［OK］をタップします。

- 削除をやめる場合は［×］をタップします。

6. 整理モード画面からメール一覧画面に戻るには、をタップします。

メールの未読／既読を切り替えるには

受信メールの未読／既読の扱いを、以下の操作で切り替えることができます。

1. 操作を行いたいフォルダのメール一覧画面を表示します。

2. ［整理］ボタンをタップします。

- 整理モード画面が表示されます。

3. 未読（または既読）扱いにしたいメールにチェックを付けます。

4. チェックを付けたメールを一括して未読扱いにするには、［編集▼］→［未読にする］をタップします。逆に一括して既読扱いにするには、［編集▼］→［読んだことにする］をタップします。

5. 整理モード画面からメール一覧画面に戻るには、をタップします。

各種の設定について

メールの設定ダイアログを使うと、メール送信時の署名の編集や、メールの作成、受信、表示に関するさまざまな設定を行うことができます。

メールの設定を行うには

1. アカウント／フォルダ一覧画面で［設定］ボタンをタップします。

- 設定ダイアログが表示され、はじめに「署名」タブが表示されます。



2. 「署名」「作成」「受信」「表示」の各タブ内で、必要な設定を行います。

- 各タブ内の設定項目の詳細については、次の「設定項目詳細」を参照してください。

3. 必要な設定がすべて済んだら、をタップします。

- アカウント／フォルダ一覧画面に戻ります。

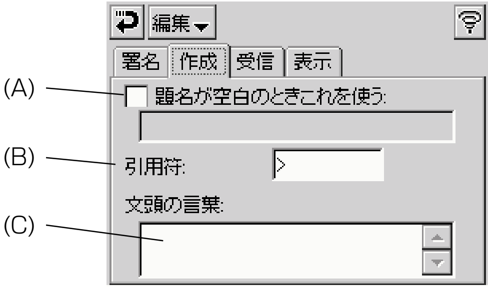
設定項目詳細

設定ダイアログ上の各タブごとに、設定項目の詳細を説明します。

「署名」タブ

- タブ内のフィールドに、テキストを入力することができます。入力したテキストは、メールの送信時に、送信メールの末尾に自動的に付加されます。
- 署名を付加したくない場合は、「署名」タブ内のフィールドを空欄にしておいてください。

「作成」タブ

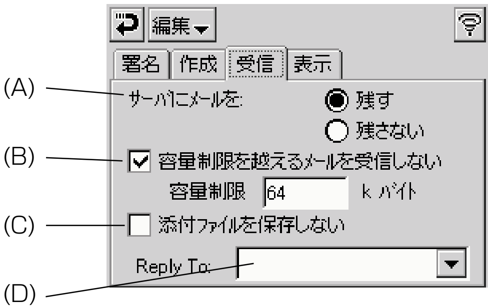


(A)　ここにチェックを付けると、送信メールの題名への入力省略時に、下のテキストボックス内の文字列が自動的に題名として使われます。

(B)　このテキストボックスに入力した文字が、返信／転送メールの作成時の引用符として使われます。

(C)　このテキストボックスに入力した文字列が、新規の送信メールの作成時に自動的に本文の文頭に挿入されます。

「受信」タブ



(A)　「残す」を選択すると、メールの受信後もメールサーバー上にメールを残します。「残さない」を選択すると、メールの受信と同時にメールサーバー上のメールを削除します。

(B)　ここにチェックを付けると、下の「容量制限」欄に入力したサイズを超えるメールを受信しません。

(C)　ここにチェックを付けると、添付ファイルは保存されません（ファイルが添付されている／いないに関わらず、メール本文は受信します）。

(D)　返信用のメールアドレスを指定したい場合は、ここにメールアドレスを入力します。

「表示」タブ



(A)　ここにチェックを付けると、メールの詳細表示画面上で、メール本文がテキストボックス幅で折り返して表示されます。

(B)　表示文字サイズを3段階から選択することがきます。ここで選択した文字サイズは、メールの編集画面とメール詳細画面の本文フィールドに適用されます。

4-4 ブラウザ

「ブラウザ」は、インターネット上のWebページを閲覧するためのWebブラウザ・プログラムです。ブラウザは、以下のような機能を備えています。

- フレーム表示に対応。特定のフレームのみを全画面に表示することも可能です。
- 表示中のWebページを50%縮小して表示することができます。
- 表示中のWebページのデータを、メインメモリやメモリカード上に保存し、オフラインで閲覧することができます。また、Webページ上の特定の画像を保存することができます。
- ブックマークの保存／整理機能があります。
- 最大20件までの履歴保存機能があります。
- ブラウザ画面上のボタン操作で、回線接続の手動切断／再接続を行うことができます。

MEMO

- ダイヤルアップ接続の設定やProxyサーバの設定は、通信設定を使って行います。詳しくは「4-2 通信設定」を参照してください。
- 大きなページを読み込んだ場合には、ブラウザが終了することがあります。その場合には、再度ブラウザを起動して読み込み直してみてください。
- 「ブラウザ」で通信中にInternetとの接続を終了する場合には、データの読み込みが完全に終了するまで待つか、もしくは[×]ボタンで読み込みを中断してから終了してください。
- 本機の「ブラウザ」はパソコン用のブラウザに比べると機能が限定されています。このためパソコン用のブラウザを使って閲覧することを前提に作られているWebページは、本機では表示できない場合があります。
  本機のブラウザは以下の規格に対応しています。

HTMLバージョン	3.2
SSL	2.0/3.0
SSL暗号化bit	40ビット

ブラウザ画面について

ブラウザを起動すると、以下のようなブラウザ画面が表示されます。ブラウザ画面は、以下のような構成になっています。



ここでは、本画面上のボタンやメニューなどについて、簡単に説明します。

アドレスバー
表示したいホームページアドレス（URL）をここに入力し、［> Go］ボタンをタップすると、そのページが表示されます。

ボタン

一つ前に表示していたページ（アドレス）に戻ります。

ボタン

ボタンをタップした後に有効なボタンで、ボタンをタップする前に表示していたページに再び戻ることができます。

ボタン

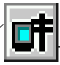
現在表示しようとしているページの読み込みを中止します。（ただし、回線が接続されている場合でも、回線は切断されません。）

ボタン

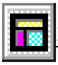
現在表示中のページの再読み込みを行います。

ボタン

ブックマーク画面を表示します（180ページ参照）。

／ボタン

設定画面（178ページ）で指定されている接続先への接続／切断を行います（179ページ参照）。

ボタン

フレームのあるWebページを表示すると、現在選択されているフレームは赤枠で囲って表示されます。このボタンをタップすることで、別のフレームを選択状態にすることができます。

ボタン

ブラウザを終了します。

［機能▼］メニュー

以下のコマンドが含まれています。

コマンド名	解説
Webページ保存	現在表示中のWebページを保存します（185ページ参照）。
パーツ保存	現在表示中のWebページ上の画像を保存します（189ページ参照）。
Webページを開く	「Webページ保存」で保存したページを開きます（186ページ参照）。
URL表示	ブラウザ画面上のアドレスバーの表示／非表示を切り替えます。
画像も表示	Webページの表示時に、画像を表示するか／しないかを切り替えます。
縮小表示	Webページの通常表示（100%サイズ）／縮小表示（50%サイズ）を切り替えます（179ページ参照）。
表示フォント	画面上に表示するフォントサイズを大／中／小の3種類から選択できます。
エンコード	画面上に表示する文字のエンコードを選択します（自動判別／Shift-JIS／JIS／EUC）。
フレームを全画面に	現在表示中のWebページの任意のフレームを選んで、全画面で表示することができます（179ページ参照）。
選択範囲をコピー	ページ上で選択されている文字列をクリップボードにコピーします。
設定	設定画面を表示します（173ページ参照）。
バージョン情報	ブラウザのバージョン情報を表示します。

ブラウザの設定

ブラウザを使ってネットサーフィンを行うには、はじめに設定の操作が必要です。以下の手順で設定を行ってください。

◆ご注意◆
以下の操作を行う前に、ブラウザで使う通信セットを、あらかじめ通信設定で作成しておいてください。詳しくは「4-2 通信設定」を参照してください。

1. ブラウザを起動し、［機能▼］→［設定］をタップします。

- 設定ダイアログが表示されます。

2. ［接続］タブ上で、以下の設定を行います。

- 「使用する通信セット」欄の▼をタップして、表示されるドロップダウンリストから通信セットを選択します。

3. 続いて［Web］タブをタップし、以下の設定を行います。

- ブラウザの起動と同時に特定のWebページを表示したい場合は、そのページのアドレスを「起動したらこのページへ」欄に入力します。起動時にWebページ表示を行わない場合には、空白にしておきます。
- 一部のWebサイトは、アクセスしたユーザーの識別情報などをユーザーの端末上に保存するための「Cookie」と呼ばれるファイルを発行します。このCookieを受け入れる場合は、「Cookieを許可する」にチェックを付けます。受け入れない場合はチェックを外します。ただし外した結果として一部のWebページは表示できなくなることがあります。
- Javaスクリプトに対応したい場合は、「Java Scriptに対応する」にチェックを付けます。
- ブラウザの起動と同時に、本機に保存したWebページを表示させることもできます。詳しくは、「ブラウザの起動時に保存済みWebページを表示させるには」を参照してください。

4. 必要な設定が済んだら、をタップします。

- ブラウザ画面に戻ります。

ブラウザの起動時に保存済み Web ページを表示させるには

ブラウザで保存した Web ページ（185 ページ参照）を、ブラウザの起動時に表示するように設定することができます。設定は以下の手順で行います。

1. ブラウザを起動し、保存済みのページを表示します。

2. アドレスバーに表示されるテキストを全選択し、［機能▼］→［選択範囲をコピー］をタップします。

3. ［機能▼］→［設定］をタップします。

- 設定ダイアログが表示されます。

4. ［Web］タブをタップします。

5. 「起動したらこのページへ」欄をタップして、カーソルを表示させます。

6. ［編集▼］→［貼り付け］をタップします。

- 手順2でコピーした保存済みWebページのローカルアドレスが貼り付けられます。

7. をタップして、ブラウザ画面に戻ります。

Web ページの表示について

Web ページを表示するには

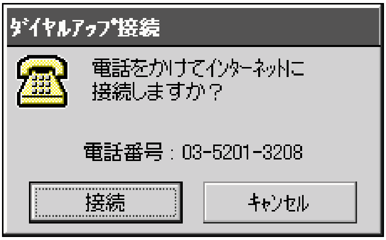
ブラウザを使った Web ページの表示は、以下の手順で行います。

1. ブラウザを起動します。

2. アドレスバーに、表示したい Web ページのアドレスを入力します。

3. ［> Go］ボタンをタップします。

- この時点で本機が回線に未接続の場合は、以下のダイアログが表示されますので、［接続］をタップします。

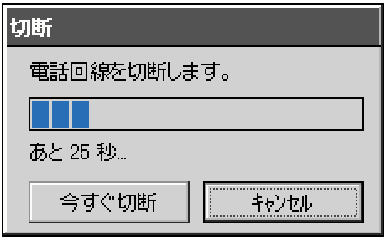


（ダイアログはダイヤルアップ接続の場合）

4. インターネットへの接続が完了すると、手順2で指定したアドレスのWebページがブラウザ画面上に表示されます。

5. Webページが完全に表示されたら、そのページは回線を切断した状態でも閲覧可能です。回線を切断するには、ボタンをタップします。

- ダイヤルアップ接続の場合は以下のダイアログが表示され、放置すると表示時間後に回線が自動切断されます。



- すぐに電話回線を切断したい場合は［今すぐ切断］をタップしてください。
- 電話回線を切断せずに、本機をインターネットに接続したままにしたい場合には、［キャンセル］をタップしてください。

MEMO

- ブラウザ設定（176ページ）の「起動したらこのページへ」で、インターネット上のWebページが設定されている場合は、上記の手順1でブラウザを起動すると同時に設定されている通信セットを使った接続が開始され、設定されているページが表示されます。

接続と切断について（ダイヤルアップ接続の場合）

上記の「Webページを表示するには」の操作例のように、回線への接続は、必要な場合に自動的に行われます。ブラウザでは、以下の場合に自動的に回線への接続が開始されます。

- 起動時（Start Pageとしてインターネット上のWebページが設定されている場合）
- アドレスバーにインターネット上のWebページのアドレスを入力し［> Go］ボタンをタップした場合
- ブックマーク機能（179ページ）を使って、インターネット上のWebページを指定した場合

自動接続以外にも、ボタンをタップすることで、手動での接続を随時行うことが可能です。また、回線への接続中は、ボタンをタップすることで、随時手動で接続を切断することができます。

特定のフレームを全画面に表示するには

複数のフレームに分割されているWebページを表示中の場合は、特定のフレームだけを選んで、全画面に表示することができます。

特定のフレームを全画面に表示するには、をタップして全画面表示したいフレームを強調表示させ（フレームが赤枠で囲って表示されます）、［機能▼］→［フレームを全画面に］をタップしてください。

ブックマークの登録と呼びだし

ブックマーク機能を使うと、ブラウザで表示したインターネット上のWebページのアドレスをページのタイトルと共に登録することができます。ブックマークを使えば、毎回アドレスを入力しなくても、簡単にそのWebページを訪問することができます。

表示中のWebページをブックマークに登録するには

1. ブラウザ画面でブックマークに登録したいWebページを表示します。

2. ボタンをタップします。

- 以下のブックマーク画面が表示されます。



ブックマーク

フォルダ
ブックマークをフォルダに入れて整理することができます。182ページの「ブックマークの整理」を参照してください。

3. ［ブラウズ中のページを登録］ボタンをタップします。

- ブックマークのタイトルとアドレスを入力するダイアログが表示されます。



Web ページのタイトルが自動的に入力されます（Webページによっては空欄になる場合もあります）。

Web ページのアドレスが自動的に入力されます。

4. 必要に応じて、ページのタイトル、URL の内容を修正します。

- Webページのタイトルに特殊な記号やアクセント記号などを使用しないでください。

5. 登録を完了するには、［OK］をタップします。

- ブックマーク画面に戻ります。
- ブックマーク画面からブラウザ画面に戻るには、をタップしてください。

新規のブックマークを手動で登録するには

Webページのタイトルとアドレスをすべて自分で入力して、ブックマークとして登録することができます。

1. ブラウザ画面でボタンをタップします。

- ブックマーク画面が表示されます。

2. ［新規］ボタンをタップします。

- ブックマークのタイトルとアドレスを入力するダイアログが表示されます。

3. ページのタイトル、URL をそれぞれ入力し、［OK］をタップします。

- ブックマーク画面に戻ります。

登録したブックマークの内容を訂正するには

登録済みのブックマークの内容を訂正するには、以下の操作を行います。

1. ブラウザ画面でボタンをタップします。

- ブックマーク画面が表示されます。

2. 訂正したいブックマークをタップして選択します。

3. ［訂正］ボタンをタップします。

- ブックマークのタイトルとアドレスを入力するダイアログが表示されます。

4. ページのタイトル、URL をそれぞれ訂正します。

5. 訂正内容を保存するには、［OK］をタップします。

- ブックマーク画面に戻ります。

ブックマークに登録した Web ページを呼び出すには

1. ブラウザ画面でボタンをタップします。

- ブックマーク画面が表示されます。

2. 呼び出したいブックマークをダブルタップします。

- ブラウザ画面に戻り、ダブルタップしたブックマーク先のWebページが表示されます。

ブックマークの整理

ブックマークを、フォルダに分けて整理することができます。ブックマークが増えた場合に、Webページのジャンルごとなどに分類するのに便利です。

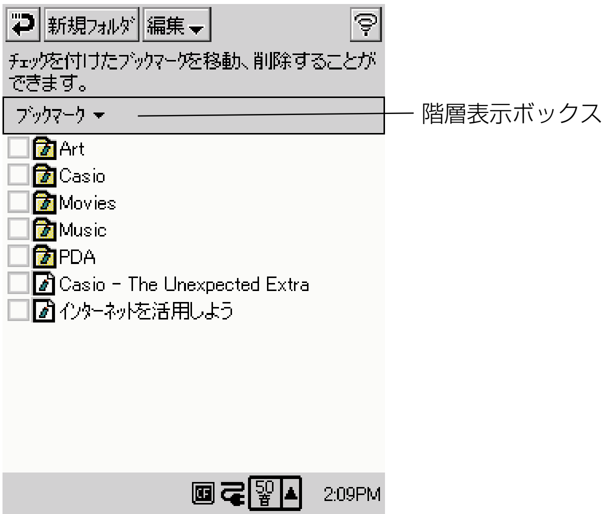
新規フォルダを作成するには

1. ブラウザ画面でボタンをタップします。

- ブックマーク画面が表示されます。

2. ［整理］ボタンをタップします。

- ブックマークの整理モード画面が表示されます。



3. 新規フォルダを作成したい階層を表示します。

- 既存のフォルダ内にさらにフォルダを作成したい場合は、既存のフォルダをダブルタップして、フォルダ内の階層を表示してください。
- 現在表示中の階層よりも上の階層を表示するには、階層表示ボックスの▼をタップすると表示されるメニューを使ってください。

4. ［新規フォルダ］ボタンをタップします。

- 新規フォルダの名前を入力するダイアログが表示されます。

5. フォルダ名を入力し、[OK] をタップします。
- ブックマークの整理モード画面に戻り、表示中の階層に作成した新規フォルダが表示されます。
- ブックマーク画面からブラウザ画面に戻るには、をタップしてください。

フォルダ名を変更するには

1. ブックマーク画面を表示します。

2. 名前を変更したいフォルダをタップして選択します。

3. [訂正] ボタンをタップします。
- フォルダ名を入力するダイアログが表示されます。

4. 新しいフォルダ名を入力し、[OK] をタップします。
- ブックマーク画面に戻ります。

ブックマーク／フォルダを別のフォルダに移動するには

1. ブラウザ画面でボタンをタップします。
- ブックマーク画面が表示されます。

2. [整理] ボタンをタップします。
- ブックマークの整理モード画面が表示されます。



3. 他のフォルダに移動したいブックマーク（およびフォルダ）にチェックを付けます。

- ［編集▼］→［全てにチェックをつける］をタップすると、すべてのブックマーク／フォルダに一括してチェックを付けることができます。逆に［編集▼］→［全てのチェックを外す］をタップすると、すべてのブックマーク／フォルダのチェックが外れます。

4. ［編集▼］→［他のフォルダへ移動］をタップします。

- 移動先のフォルダを指定するダイアログが表示されます。



5. 移動先のフォルダをダブルタップします。

- ダブルタップしたフォルダへ、ブックマーク（およびフォルダ）が移動します。

ブックマーク／フォルダを削除するには

1. ブラウザ画面でボタンをタップします。

- ブックマーク画面が表示されます。

2. ［整理］ボタンをタップします。

- ブックマークの整理モード画面が表示されます。

3. 削除したいブックマーク／フォルダにチェックを付けます。

4. ［編集▼］→［削除］をタップします。

- 削除して良いかを確認するダイアログが表示されます。

5. 削除して良い場合は［OK］をタップします。

- 削除するのをやめる場合は［×］をタップします。

MEMO

- フォルダを削除した場合は、フォルダに含まれるすべてのブックマークおよびフォルダも削除されます。

Web ページの保存

表示中のWebページを本機のメインメモリやメモリカード上に保存することができます。保存したページは、オフラインで閲覧することができます。

Web ページを保存するには

1. ブラウザ画面で保存したい Web ページを表示します。

2. ［機能▼］→［Web ページ保存］をタップします。

- 保存ダイアログが表示されます。



3. ファイル名と保存場所（本体またはカード）を指定します。

- 保存場所としてカードが選択できるのは、本機のカードスロットにメモリカードが挿入されている場合だけです。

4. ［保存］をタップします。

- 「保存中です」というダイアログが表示され、Webページの保存が開始されます。保存に時間がかかりすぎる場合などは、ダイアログ上の［キャンセル］ボタンをタップすることで、Webページの保存をキャンセルすることができます。
- 保存が完了すると、ダイアログが閉じます。

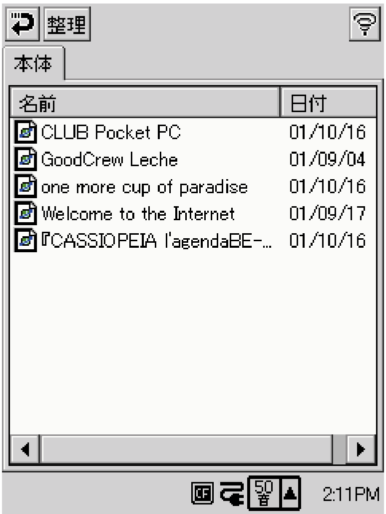
MEMO

- 上記の手順で保存した添付ファイルは、メインメモリ（またはメモリカード）上の￥My Document￥WebPage内に入ります。
- 保存する時は、回線を切らないでください。
- Webページの保存では、再読込(reload)を行います。したがって、通信中である必要があります。
- Webページの名前に特殊な記号やアクセント文字などを使うと正しく保存・表示されない場合があります。
- オフラインでブラウンジング中のページを保存することはできません。

保存したWebページを開くには

1. ブラウザ画面で［機能▼］→［Webページを開く］をタップします。

- 以下のようなダイアログが表示されます。



メモリカード上に保存したＷｅｂページを開きたい場合は、［カード］タブをタップします。

2. 開きたい保存Webページをダブルタップします。

- ダブルタップした保存Webページが開きます。

保存した Web ページの整理

保存した Web ページを本体メインメモリとメモリカードの間で移動／コピーしたり、削除することができます。また、保存 Web ページの名前を変更することができます。

保存 Web ページをメインメモリとメモリカードの間で移動するには

1. ブラウザ画面で［機能▼］→［Web ページを開く］をタップします。

- Web ページを開くダイアログが表示されます。

2. ［整理］ボタンをタップします。

- 保存 Web ページの整理画面が表示されます。

3. ［本体］タブまたは［カード］タブをタップし、移動元を選択します。

4. 移動したい保存 Web ページにチェックを付けます。

- ［編集▼］→［全てにチェックをつける］をタップすると、すべての保存 Web ページに一括してチェックを付けることができます。逆に［編集▼］→［全てのチェックを外す］をタップすると、すべての保存 Web ページのチェックが外れます。

5. ［編集▼］→［カードへ移動］（または［本体へ移動］）をタップします。

- 手順４でチェックを付けた保存 Web ページの移動が実行されます。

6. ブラウザ画面に戻るには、を２回タップします。

保存 Web ページをメインメモリとメモリカードの間でコピーするには

1. ブラウザ画面で［機能▼］→［Web ページを開く］をタップします。

- Web ページを開くダイアログが表示されます。

2. ［整理］ボタンをタップします。

- 保存 Web ページの整理画面が表示されます。

3. ［本体］タブまたは［カード］タブをタップし、コピー元を選択します。

4. コピーしたい保存 Web ページにチェックを付けます。

5. ［編集▼］→［カードへコピー］（または［本体へコピー］）をタップします。

- 手順４でチェックを付けた保存 Web ページのコピーが実行されます。

6. ブラウザ画面に戻るには、を２回タップします。

保存 Web ページを削除するには

1. ブラウザ画面で［機能▼］→［Web ページを開く］をタップします。

- Web ページを開くダイアログが表示されます。

2. ［整理］ボタンをタップします。

- 保存 Web ページの整理画面が表示されます。

3. 削除したい保存 Web ページにチェックを付けます。

4. ［編集▼］→［削除］をタップします。

- 削除して良いかを確認するダイアログが表示されます。

5. 削除して良い場合は［OK］をタップします。

- 削除するのをやめる場合は［×］をタップします。

6. ブラウザ画面に戻るには、を２回タップします。

Web ページ上の画像の保存

Webページ上に、ページの部品として埋め込まれている特定の画像を選択して保存することができます。

Web ページ上の画像を保存するには

1. ブラウザ画面で保存したい画像を含む Web ページを表示します。

2. ［機能▼］→［パーツ保存］をタップします。

- 以下のようなパーツの選択画面が表示されます。



3. 画面上で、保存したい画像をタップします。

- 保存ダイアログが表示されます。

4
インターネットの利用

4. 必要に応じてファイル名を変更し、[保存] をタップします。

- 画像の名前に特殊な記号やアクセント記号などを使用しないでください。
- 「保存中です」というダイアログが表示され、ファイルの保存が開始されます。保存に時間がかかりすぎる場合などは、ダイアログ上の [キャンセル] ボタンをタップすることで、ファイルの保存をキャンセルすることができます。
- 保存した画像は画像ビュアーで表示できます。
- 保存が完了すると、ダイアログが閉じます。

第5章

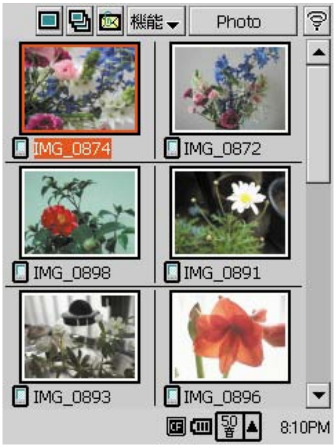
画像・音楽関連プログラム

5-1　画像ビュアー

画像ビュアーは、CASSIOPEIA上で各種形式の画像を表示することができるプログラムです。画像をサムネイル付きで一覧表示したり、スライドショー表示することもできます。また、別売品のデジタルカメラカードを使えば、画像の撮影を行うこともできます。



撮影画面



インデックス画面

MEMO

- 画像ビュアーは、本機に付属のCD-ROMからインストールしてご利用ください。本機へのプログラムのインストール方法については、付属のCD-ROM内に含まれているドキュメントをご覧ください。

◆ご注意◆

- デジタルカメラカードに付属のCD-ROMに入っている「モバイルカメラアプリケーション」は、本機にはインストールしないでください。

画像ビュアーで扱うことができるファイルについて

画像ビュアーを使って撮影した画像は、JPEG形式のファイルとして保存されます。この形式を含め、画像ビュアーでは以下の各形式の画像ファイルを扱うことができます。

MEMO

- 画像ファイルによっては表示できない場合があります。

- JPEG 形式ファイル（.JPEG または .JPG）
- BMP 形式ファイル（.BMP）
- GIF 形式ファイル（.GIF）
- PNG 形式ファイル（.PNG）

5-1-1　撮影

撮影画面を使って、静止画を撮影することができます。また、一定の時間間隔での連写を行うことも可能です。

> **◆ご注意◆**
> - 撮影を行うためには、別売品のデジタルカメラカード (JK-710DC)が必要です。
> - デジタルカメラカードに付属のCD-ROM に入っている「モバイルカメラアプリケーション」は、本機にはインストールしないでください。

各種の撮影の操作

撮影前の準備

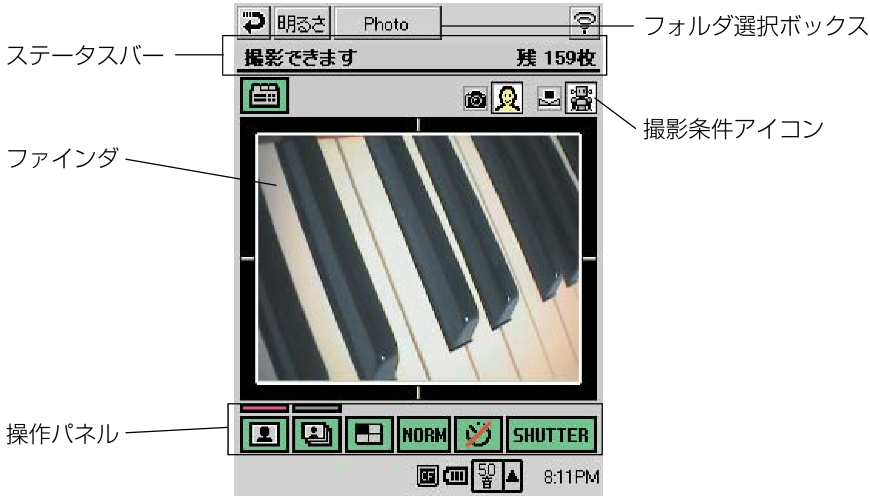
撮影を行う前に、必ず以下の点をご確認ください。

- デジタルカメラカードをCASSIOPEIAのカードスロットに正しく取り付けてください。取り付け方については、デジタルカメラカードの取扱説明書をご覧ください。
- デジタルカメラの焦点距離調節や、レンズ部の回転など、デジタルカメラ側の操作については、デジタルカメラカードの取扱説明書をご覧ください。
- CASSIOPEIA本体の内蔵バッテリが消耗していないかをご確認ください。消耗している場合は、充電を行ってください。

撮影するには

1. 画像ビュアーを起動します。

2. をタップして撮影画面を表示します。



- ステータスバーに「撮影できます」と表示されているのをご確認ください。詳しくは「ステータスバーの表示内容について」（197ページ）をご覧ください。

3. をタップして、静止画モードを選択します。

- 以下の手順４～手順８の操作は、シャッターを押す前の様々な撮影設定の操作です。必要のない操作は適宜スキップして構いません。

4. 撮影画質を指定します。

- 操作パネルの ボタン（左から４番目のボタン）をタップします。タップするたびにNORMボタン上の絵柄が次のように切り替わります。

FINE .... ファイン（最も高画質でファイルサイズが大きい）

NORM .... ノーマル（中程度の画質・ファイルサイズ）

ECON .... エコノミー（画質は低いがファイルサイズが小さい）

5. 撮影画像サイズを指定します。

操作パネルのボタン（左から３番目のボタン）をタップします。タップするたびにボタン上の絵柄が次のように切り替わります。

- ････ VGA (640 x 480)
- ････ 1/4 VGA (320 x 240)
- ････ 1/9VGA（212 × 160）（連写撮影時のみ選択可能）
- ････ 1/16VGA（160 × 120）（連写撮影時のみ選択可能）

6. 必要に応じて、撮影設定（ホワイトバランスの調節などが可能）を行います。

- 撮影設定を行うには、ボタンをタップします。現在の撮影設定の状態が、画面右上の「撮影条件アイコン」に表示されます。
- 設定内容および設定に応じた表示内容について詳しくは、「撮影設定を行うには」（198 ページ）をご覧ください。

7. 必要に応じて、撮影した画像を保存するフォルダの指定を行います。

- フォルダ選択ボックスに、撮影画像の保存先フォルダが表示されます。画像の保存フォルダを変更するには、フォルダ選択ボックスをタップすると表示されるダイアログ上で、保存先として指定したいフォルダをタップして選択し、［OK］をタップしてください。
- フォルダを新規に作成したい場合の操作については、211 ページの「5-1-3 フォルダとファイルの操作について」をご覧ください。

8. レンズ部の焦点調節ダイヤルを回して、被写体に応じて焦点を調節します。

9. 撮影を実行します。

- 撮影画面上のファインダで被写体を確認し、SHUTTERボタンをタップするか、本体の［OK］ボタンを押します。撮影画像データがJPEG ファイルとしてメインメモリに保存されます。
- 引き続き撮影を行う場合は、このままSHUTTERボタンをタップするか、本体の[OK]ボタンを押すだけで撮影できます。
- 撮影した画像を見るには、ボタンをタップしてインデックス画面に戻ってください。詳しくは、「5-1-2 画像の表示」（200 ページ）をご覧ください。

MEMO

- 撮影した画像データのファイル名は、自動的に付けられます。詳しくは、「撮影画像のファイル名について」（197 ページ）をご覧ください。

連写するには

一定の時間間隔で、複数の静止画を連続して撮影（連写）することができます。1回シャッターを切ることで連写される枚数は、撮影サイズの設定によって以下のように決まります。

画像サイズ	枚数
VGA（640 × 480）	2枚
1/4VGA（320 × 240）	8枚
1/9VGA（212 × 160）	12枚
1/16VGA（160 × 120）	32枚

連写の操作手順は、「撮影するには」（193ページ）の手順と基本的に同じです。ただし、手順3で操作パネルのボタンをタップする代わりにボタンをタップして「連写モード」を選択してください。

MEMO

- 連写時は、撮影がすべて終了するまで、プレビュー画像表示は変わりません。
- 撮影終了後、画面上に保存中のダイアログが表示されます。
- 連写時の撮影の時間間隔は、「撮影設定」で行います。詳しくは、「撮影設定を行うには」（198ページ）をご覧ください。

タイマー撮影を行うには

静止画撮影／連写撮影では、シャッターを押してから10秒後に撮影を行う「タイマー撮影」が可能です。タイマー撮影するには、操作パネルのボタンをタップしてください。ボタンがのように変わり、タイマー撮影ができる状態になります。

- タイマー撮影のカウントダウン中は、ファインダにカウントダウンの秒数が表示されます。
- カウントダウン中にSHUTTERボタンをタップするとカウントダウンは中止されます。
- タイマー撮影を解除するには、ボタンをタップして、ボタンをに切り替えてください。

ステータスバーの表示内容について

ステータスバーには、画像ビュアーの状態表示、および現在の設定での撮影可能な画像の枚数を表示します。



撮影できます .... シャッターを押すと撮影ができる状態です。

準備が出来ていません...... デジタルカメラカードが正しく装着されていないなど、撮影できない状態です。

現在の撮影設定と本体のメモリの空き容量に応じた撮影可能枚数が表示されます。

●撮影画像のファイル名について

撮影した画像のファイル名は、次の要領で自動的に付けられます。

【静止画】

「画像」+半角月日４桁＋半角連番４桁＋「.jpg」

例）画像 06230001.jpg

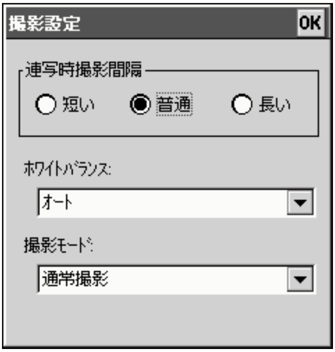
【連写によって撮影された静止画】

「連写」+半角月日４桁＋半角連番４桁＋「.jpg」

例）連写 06230001.jpg ～連写 06230008.jpg

撮影設定を行うには

撮影画面で をタップすると、撮影設定ダイアログが表示されます。撮影設定ダイアログでは、静止画／連写の撮影に関する以下の各種設定を行うことができます。以下、説明文中の（　）内のアイコンは、撮影画面上の「撮影条件アイコン」（194ページ）の表示状態を示します。



連写時撮影間隔

連写時に、シャッターが切られる間隔を設定します。「短い」＝15枚／秒、「普通」＝10枚／秒、「長い」＝5枚／秒になります。

ホワイトバランス

「屋外」（ ）「電球下」（ ）「蛍光灯下」（ ）「オート」（ ）から選択できます。

撮影モード

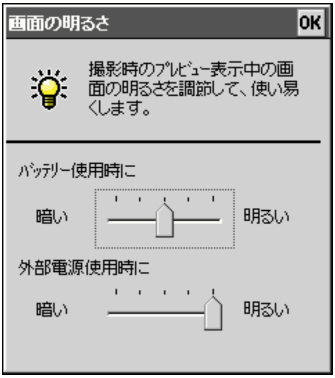
ポートレートや風景など通常の被写体を撮影するための「通常撮影」（ ）、白地の名刺や書類などを接写で撮影するための「名刺撮影」（ ）から選択できます。名刺撮影選択時は、ホワイトバランスは指定できなくなります。

撮影時の画面の明るさを調節するには

撮影時のプレビュー中（撮影の待機中）の画面の明るさを調節することができます。

1. 撮影画面で［明るさ］ボタンをタップします。

- ［画面の明るさ］ダイアログが表示されます。



2. ダイアログ上のスライダーを使って、画面の明るさを調節します。

- バッテリー使用時と外部電源使用時のそれぞれについて個別に明るさを調節することができます。
- CASSIOPEIAを内蔵バッテリで駆動している場合､「バッテリー使用時に」のスライダーを動かすと､スライダーの位置に応じて画面の明るさが変化します。また、本体にACアダプタなどの外部電源を接続して駆動している場合は、「外部電源使用時に」のスライダーを動かすと、スライダーの位置に応じて画面の明るさが変化します｡この画面の明るさが、プレビュー時に反映されます。

3. ダイアログ上で行った設定を有効にするには、［OK］をタップしてください。

5

画像・音楽関連プログラム

5-1-2　画像の表示

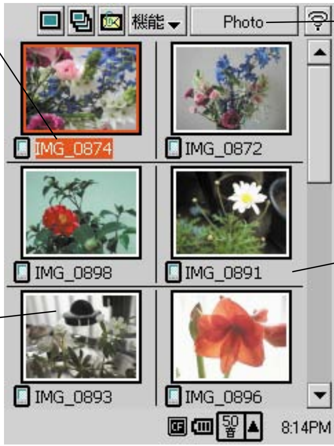
画像ビュアーによる画像の表示のしかたには、フォルダ単位でファイルを一覧表示する「インデックス画面」、静止画 1 ファイルを表示する「1 画像表示画面」、静止画を 1 枚ずつ次々と連続して表示することができる「スライドショー表示画面」があります。

インデックス画面

インデックス画面には 1 画面につき 6 つの画像ファイルが、サムネイル画像付きで一覧表示されます。インデックス画面は、次のような画面構成になっています。

現在選択されている画像ファイルは、このように赤い枠で囲まれ、ファイル名が反転表示されます。カーソルボタン操作で選択位置を移動できます。

サムネイル画像
画像を縮小表示します。



フォルダ選択ボックス
インデックス画面には、ここで選択されているフォルダに含まれる静止画ファイルが表示されます。

ファイル名
ファイル名の前の はメインメモリ上に、 はメモリカード上にあるファイルを表しします。

インデックス画面

インデックス画面では、次の操作を行うことができます。

- 表示するフォルダの切り替え
- 1 画像表示画面への移行
- スライドショー表示画面への移行
- フォルダ名の変更／フォルダの作成・移動・削除
- ファイル名の変更／ファイルの移動・削除
- インデックス画面に表示するサムネイル画像の自動作成
- 画像を添付ファイルとした送信メールの作成

ここでは、これらの各種の操作について説明します。

表示するフォルダを切り替えるには

インデックス画面には、現在選択されているフォルダに含まれる静止画ファイルのみが一覧表示されます。一覧表示するフォルダを切り替えるには、以下の操作を行います。

1. ［機能▼］→［フォルダ］またはフォルダ選択ボックスをタップします。

- ［フォルダ選択］ダイアログが表示されます。



このダイアログ上では、フォルダの新規作成、名前変更、削除を行うこともできます。これらの操作については、「フォルダに対する各種操作」（211 ページ）をご覧ください。
なおフォルダ選択ボックスをタップした場合は、ダイアログ下部の３つのボタンは表示されません。

2. 選択したいフォルダをタップします。

3. ［OK］をタップします。

- インデックス画面に戻り、手順2で選択したフォルダの内容が表示されます。

MEMO

- 他の画面からインデックス画面への表示切り替えを行うと、その画面に表示される画像のサムネイル画像ファイルが自動的に作成されます。
- 画像ビュアーからアクセスが可能なのは、本体メモリ上*（またはメモリカード上**）の My Documents￥Photo フォルダの直下のフォルダのみです。

＊　￥Nand Disk￥My Documents￥Photo
＊＊￥My Documents￥Photo

サムネイルを再作成するには

ファイル管理（238ページ）などを使って本機にコピーした画像ファイル（あるいは本機から削除した画像ファイル）のファイル名やサムネイルが、インデックス画面上に反映されていないような場合には、サムネイルの再作成の操作を行ってください。

サムネイルを再作成するには、［機能▼］→［サムネイル再作成］をタップしてください。

画像を添付ファイルとした送信メールの作成

インデックス画面で選択されている画像を添付ファイルとして、送信メールを作成することができます。

1. インデックス画面で、添付ファイルとして送信したい画像を選択し、ボタンをタップします。

- メールが起動し、選択した画像を添付ファイルとした送信メールの作成画面が表示されます。

2. 宛先や題名の指定、本文の編集などの操作を行います。

- 送信メールの作成、およびメールの送信について詳しくは、「4-3 メール」（136ページ）をご覧ください。

MEMO

- 上記手順1の操作は、1画像表示画面を表示して画像を確認し、1画像表示画面のボタンをタップしても構いません。

インデックス画面から他の画面に移行するには

インデックス画面からは、以下の各操作により他の画面に移行することができます。

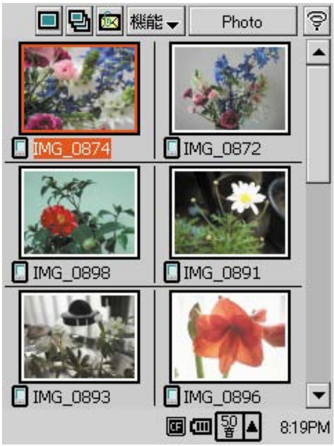
ボタンをタップ.............. 現在選択されているサムネイル画像の1画像表示画面に移行します。

ボタンをタップ.............. スライドショー表示画面に移行します。

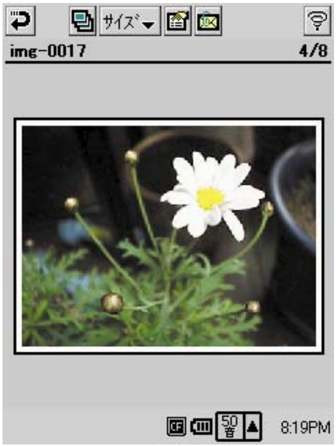
ボタンをタップ.............. 撮影画面に移行します。

1 画像表示画面

インデックス画面上で縮小表示されている画像の 1 つを選択して、1 画面に拡大表示することができます。この表示画面を「1 画像表示画面」と呼びます。



インデックス画面



1 画像表示画面

インデックス画面から「1 画像表示画面」画面に移行するには、次のいずれかの操作を行います。

- 1 画像表示画面したい画像のサムネイルをダブルタップ
- サムネイルを選択（ファイル名が反転した状態に）した上で、ボタンをタップ
- サムネイルを選択（ファイル名が反転した状態に）した上で、CASSIOPEIA 本体の［OK］ボタンを押す

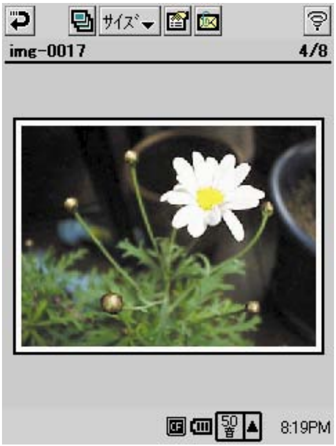
1 画像表示画面から再びインデックス画面に戻るには、ボタンをタップします。

MEMO

- 画像サイズが 640（幅）× 480（高さ）ピクセル（ドット）を超える静止画は表示できません。画像サイズが上限を超える静止画ファイルは、インデックス表示ではサムネイルが表示されません。

1 画像表示画面の使い方

1 画像表示画面には、「縮小」「縮小なし」「拡大表示画面」「全画面」の４種類の表示形式があります。



縮小



縮小なし



拡大表示画面



全画面

縮小 .... 画像全体が収まるように縮小表示されます。
縮小なし .... 画像が原寸で表示されます。画面上に表示しきれない部分は、スクロールバーを操作して表示することができます。
拡大表示画面 .... 画像を約２倍に拡大表示します。
全画面.................. 画面の全体を使って、横位置に画像を表示します。

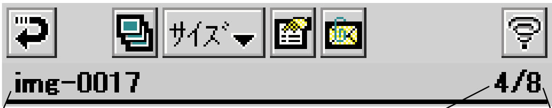
1画像表示画面の表示形式を切り替えるには

「縮小」「縮小なし」「拡大表示画面」「全画面」の各表示形式間で表示を切り替えるには、次のいずれかの操作を行います。

- ［サイズ］メニューから「縮小」「縮小なし」「拡大」「全画面」のいずれかを選択する
- CASSIOPEIA本体の［OK］ボタンを押す（押すごとに「縮小」→「縮小なし」→「拡大」→「全画面」の順で切り替わります）
- 「全画面」表示では、画面をタップすると「縮小」表示に切り替わります。

1画像表示画面のステータスバーの情報について

1画像表示画面のステータスバーには、次の情報が表示されます。



ファイル名

現在表示中の画像のインデックス画面上での表示順番

元のインデックス画面上に表示されていた画像ファイル数

1画像表示画面に表示する画像を切り替えるには

インデックス画面に戻らなくても、1画像表示画面に表示する画像を切り替えることができます。現在表示している画像の、元のインデックス画面上での表示順で、前後の画像に切り替えることが可能です。

表示画像を切り替えるには、CASSIOPEIA本体のカーソルボタンを使います。

- 左または上ボタンを押すと、前の画像を表示します。
- 右または下ボタンを押すと、次の画像を表示します。

ファイルのプロパティを表示するには

1画像表示画面で現在表示中のファイルのプロパティ画面を表示して、ファイルに関する各種の情報を見ることができます。

1. 1画像表示画面でをタップします。



2. プロパティ画面を閉じるには、［OK］をタップしてください。

1画像表示画面から他の画面に移行するには

1画像表示画面からは、以下の各操作により他の画面に移行することができます。

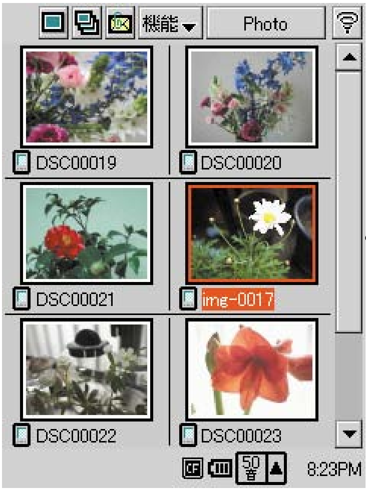
ボタンをタップ............ インデックス画面に戻ります。

ボタンをタップ............. 現在表示中の画像を含むフォルダのスライドショー表示画面に移行します。

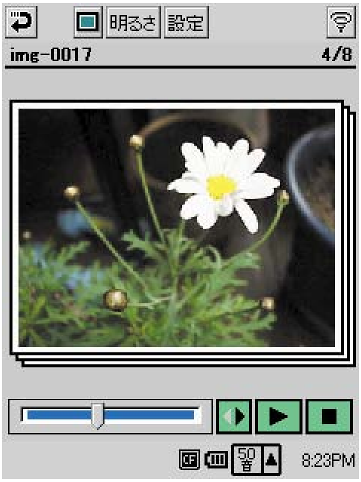
ボタンをタップ............. 撮影画面に移行します。

スライドショー表示画面

スライドショー表示画面を使うと、1画像表示画面の「縮小」表示と同じ形式で、静止画の自動連続表示を行うことができます。
スライドショー表示画面に移るには、インデックス画面(または1画像表示画面)でをタップします。



インデックス画面



スライドショー表示画面

スライドショー表示画面からインデックス画面に戻るには、をタップします。

スライドショー表示画面の使い方

ここではスライドショー表示画面上での各種操作について説明します。



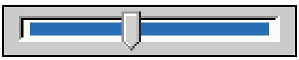
●スライドショーの再生操作について

スライドショー表示画面の操作パネルを使うことで、次の操作を行うことができます。

 .... スライドショーを開始します。インデックス画面上での表示順に、順次静止画が表示されます。静止画の表示時間は、スライドショー設定ダイアログ上での設定に従います（209 ページの「スライドショー表示画面の時間間隔などを設定するには」を参照）。

 .... スライドショーを停止します。

 .... スライドショーの再生方向を切り替えます。ボタンがの状態では順送り（インデックス画面上でのファイルの表示順）、ボタンがの状態では逆送りとなります。

 .... スライダーを左右に移動することで、スライダーの位置に応じた静止画を表示することができます。

● CASSIOPEIA 本体のボタンを使った操作

CASSIOPEIA 本体のボタンを使って、以下の操作を行うことができます。

OK .... ボタンと同じ働きをします。

ESC .... ボタンと同じ働きをします。

カーソル .... ボタンを押すごとに、表示画像を前後に1コマずつ移動することができます。下または右ボタンで次の画像へ、上または左ボタンで前の画像へ移動します。

MEMO

- ステータスバーに表示される情報は、静止画の1画像表示画面の場合と同様です。「1画像表示画面のステータスバーの情報について」（205ページ）をご覧ください。

スライドショー表示画面の時間間隔などを設定するには

［設定］ボタンをタップして表示されるダイアログ上で、スライドショー表示画面の時間間隔設定、およびスライドショーの繰り返し再生のオン／オフ設定を行うことができます。



再生時間間隔 .... スライドショー再生において、静止画1枚を表示する時間を設定します。

繰り返し再生を行う .. このチェックボックスにチェックを付けた状態でスライドショーの再生を開始すると、停止操作を行うまでスライドショーが繰り返し再生されます。

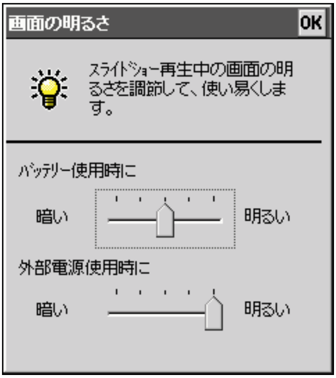
ダイアログ上で行った設定を有効にするには、［OK］をタップしてください。

スライドショー表示画面の明るさを調節するには

スライドショー再生中の画面の明るさを調節することができます。

1. スライドショー表示画面で［明るさ］ボタンをタップします。

- ［画面の明るさ］ダイアログが表示されます。



2. ダイアログ上の各スライダーを使って明るさ調節を行います。

- バッテリー使用時と外部電源使用時のそれぞれについて個別に明るさを調節することができます。
- CASSIOPEIAを内蔵バッテリで駆動している場合、「バッテリー使用時に」のスライダーを動かすと、スライダーの位置に応じて画面の明るさが変化します。また、本体にACアダプタなどの外部電源を接続して駆動している場合は、「外部電源使用時に」のスライダーを動かすと、スライダーの位置に応じて画面の明るさが変化します。この画面の明るさが、プレビュー時に反映されます。

3. ダイアログ上で行った設定を有効にするには、［OK］をタップしてください。

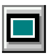
MEMO

- ここでの画面の明るさ設定は、撮影時のプレビュー中の画面の明るさ設定とは別個に保存されます。撮影時の画面の明るさ設定については、198ページをご覧ください。

スライドショー表示画面から他の画面に移行するには

スライドショー表示画面からは、以下の各操作により他の画面に移行することができます。

 ボタンをタップ............ インデックス画面に戻ります。

 ボタンをタップ............. 現在表示中の画像を含むフォルダの1画像表示画面に移行します。

 ボタンをタップ............. 撮影画面に移行します。

5-1-3　フォルダとファイルの操作について

画像ビュアー上でのフォルダとファイルに対する操作は、すべてインデックス画面上で行います。

フォルダに対する各種操作

フォルダに対する各種操作は、インデックス画面で［機能▼］→［フォルダ］をタップすると表示される［フォルダ選択］ダイアログで行います。



［フォルダ選択］ダイアログ

このダイアログ上では、フォルダの新規作成、名前変更、削除を行うこともできます。
なおフォルダ選択ボックスをタップした場合は、ダイアログ下部の３つのボタンは表示されません。

フォルダを新規作成するには

1. ［フォルダ選択］ダイアログを表示します。
2. ［新規作成］をタップします。
   - ［新規作成］ダイアログが表示されます。
3. ［フォルダの名前］欄にフォルダ名を入力し、［OK］をタップします。

フォルダ名を変更するには

1. ［フォルダ選択］ダイアログを表示します。
2. 名前を変更したいフォルダをタップします。

3. ［名前の変更］をタップします。

- ［名前の変更］ダイアログが表示されます。

4. 新しいフォルダ名を入力し、［OK］をタップします。

フォルダを削除するには

1. ［フォルダ選択］ダイアログを表示します。

2. 削除したいフォルダをタップします。

3. ［削除］をタップします。

- フォルダを削除して良いかを確認するメッセージが表示されます。

4. フォルダを削除して良い場合は［はい］を、削除をやめる場合は［いいえ］をタップしてください。

ファイルに対する各種操作

画像ビュアーで扱うことができる画像ファイルに対する各種操作は、インデックス画面の［機能▼］メニューから処理を選択して行います。

ファイル名を変更するには

1. インデックス画面で、ファイル名を変更したい画像のサムネイルをタップして選択します。

2. ［機能▼］→［名前の変更］をタップします。

- ［名前の変更］ダイアログが表示されます。

3. 新しいファイル名を入力し、［OK］をタップします。

ファイルを移動するには

1. インデックス画面で、移動したい画像のサムネイルをタップして選択します。

2. ［機能▼］→［移動］をタップします。

- ［移動］ダイアログが表示されます。

3. 移動先のフォルダをタップして選択し、［OK］をタップします。

ファイルを一括して移動するには

現在インデックス画面に表示中の全ファイルを、一括して他のフォルダに移動することができます。

1. 移動元にしたいフォルダを選択し、インデックス画面に表示します。

- インデックス画面に表示するフォルダの選択のしかたについては、「表示するフォルダを切り替えるには」（201 ページ）をご覧ください。

2. ［機能▼］→［一括移動］をタップします。

- ［一括移動］ダイアログが表示されます。

3. 移動先のフォルダをタップして選択し、［OK］をタップします。

- 手順 1 でインデックス画面に表示されていたフォルダ内の全ファイルが、移動先として指定したフォルダへ移動します。

ファイルを削除するには

1. インデックス画面で、削除したい画像のサムネイルをタップして選択します。

2. ［機能▼］→［削除］をタップします。

- ファイルを削除して良いかを確認するメッセージが表示されます。

3. ファイルを削除して良い場合は［はい］を、削除をやめる場合は［いいえ］をタップしてください。

ファイルを一括して削除するには

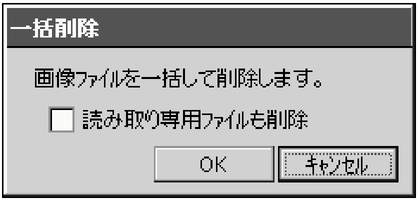
現在インデックス画面に表示中の全ファイル（フォルダ内のすべての画像ファイル）を、一括して削除することができます。

1. 全ファイルの削除対象にしたいフォルダを選択し、インデックス画面に表示します。

- インデックス画面に表示するフォルダの選択のしかたについては、「表示するフォルダを切り替えるには」（201 ページ）をご覧ください。

2. ［機能▼］→［一括削除］をタップします。

- ファイルを削除して良いかを確認するメッセージが表示されます。



- 読みとり専用ファイルも含めて一括削除したい場合は、チェックボックスにチェックを付けます。

3. 削除して良い場合は［OK］を、削除をやめる場合は［キャンセル］をタップしてください。

5-2　動画再生

「動画再生」を使うと、CASSIOPEIA上で動画ファイルの再生を行うことができます。



インデックス画面



動画再生画面

MEMO

- 動画再生は、本機に付属のCD-ROMからインストールしてご利用ください。本機へのプログラムのインストール方法については、付属のCD-ROM内に含まれているドキュメントをご覧ください。
- 動画再生では、カシオのオリジナル動画フォーマットであるCMF形式のファイルのみを再生することができます。CMF形式ファイルは、付属のCD-ROMに含まれているPC用プログラムの「モバイルビデオコンバータ」を使って、AVIファイルなどから変換して作成することができます。

インデックス画面

インデックス画面には１画面につき６つの動画ファイルが、サムネイル画像付きで一覧表示されます。インデックス画面は、次のような画面構成になっています。

サムネイル画像
動画ファイルの開始位置から約５ 秒後のフレームを縮小表示します。

現在選択されている動画ファイルは、このように赤い枠で囲まれ、ファイル名が反転表示されます。カーソルキー操作で選択位置を移動できます。



インデックス画面

フォルダ選択ボックス
インデックス画面には、ここで選択されているフォルダに含まれる動画ファイルが表示されます。

ファイル名
ファイル名の前のはメインメモリ上に、はメモリカード上にあるファイルを表します。

インデックス画面では、次の操作を行うことができます。

- 表示するフォルダの切り替え
- フォルダ名の変更／フォルダの作成・移動・削除
- ファイル名の変更／ファイルの移動・削除
- インデックス画面に表示するサムネイル画像の自動作成
- 動画ファイルを添付した送信メールの作成

ここでは、これらの各種の操作について説明します。

表示するフォルダを切り替えるには

インデックス画面には、現在選択されているフォルダに含まれる動画ファイル（CMF）のみが一覧表示されます。一覧表示するフォルダを切り替えるには、以下の操作を行います。

1. ［機能▼］→［フォルダ］またはフォルダ選択ボックスをタップします。

- ［フォルダ選択］ダイアログが表示されます。



フォルダ名ボックスをタップした場合は、ダイアログ下部の３つのボタンは表示されません。

2. 選択したいフォルダをタップします。

3. ［OK］をタップします。

- インデックス画面に戻り、手順2で選択したフォルダの内容が表示されます。

MEMO

- 他の画面からインデックス画面への表示切り替えを行うと、その画面に表示される動画のサムネイル画像ファイルが自動的に作成されます。
- 動画再生からアクセスが可能なのは、本体メモリ上*（またはメモリカード上**）の My Documents￥Movie フォルダの直下のフォルダのみです。

＊　￥Nand Disk¥My Documents¥Movie
＊＊￥My Documents¥Movie

サムネイルを再作成するには

ファイル管理（238ページ）などを使って本機にコピーした動画ファイル（あるいは本機から削除した動画ファイル）のファイル名やサムネイルが、インデックス画面上に反映されていないような場合には、サムネイルの再作成の操作を行ってください。
サムネイルを再作成するには、［機能▼］→［サムネイル再作成］をタップしてください。

動画を添付ファイルとした送信メールの作成

インデックス画面で選択されている動画を添付ファイルとして、送信メールを作成することができます。

1. インデックス画面で、添付ファイルとして送信したい動画を選択し、ボタンをタップします。

- メールが起動し、選択した動画を添付ファイルとした送信メールの作成画面が表示されます。

2. 宛先や題名の指定、本文の編集などの操作を行います。

- 送信メールの作成、およびメールの送信について詳しくは、「4-3 メール」（136 ページ）をご覧ください。

MEMO

- 上記手順 1 の操作は、動画再生画面を表示して画像を確認し、動画再生画面のボタンをタップしても構いません。

インデックス画面上でのフォルダ／ファイルに対する操作について

動画再生のインデックス画面上で行うことが可能なフォルダ／ファイルに対する操作は、画像ビュアーのインデックス画面上での操作とまったく同様です。フォルダの新規作成／名前変更／削除や、ファイル名の変更、ファイルの移動／削除などの操作については、「5-1-3 フォルダとファイルの操作について」（211 ページ）をご覧ください。

5-2-1　動画再生画面での各種操作について

動画ファイルを再生するには

動画ファイルの再生は、次の手順で行います。

1. 本プログラム（動画再生）を起動します。

2. インデックス画面で再生したいサムネイルをタップして選択し をタップするか、サムネイルをダブルタップします。

- インデックス画面で再生したいファイルを選択した状態で、本体の［OK］ボタンを押しても構いません。
- ファイルを開くと、以下のような再生画面が表示されます。



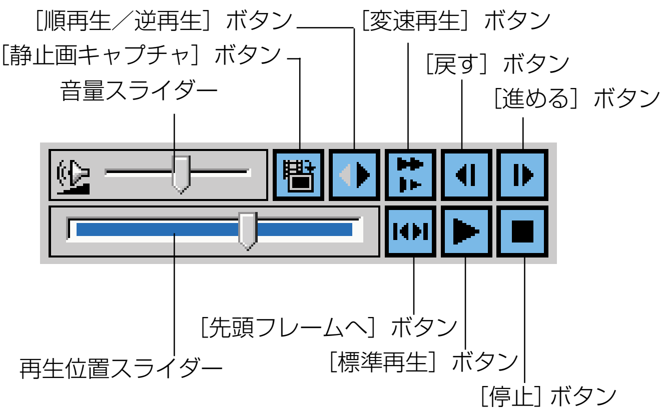
- 再生を開始するには、 ボタンをタップするか、OK ボタンを押します。
- 再生を途中で停止するには ボタンをタップするか、または再生中に本体の［OK］ボタンを押します。
- インデックス表示に戻るには をタップするか、本体の［ESC］ボタンを押します。

MEMO

- 再生中に他のソフトを起動するなどして本ソフトが非アクティブになった場合は、再生は強制的に停止されます。

動画再生画面上での操作（操作パネルを使った各種操作）

動画再生画面上の操作パネルを使うと、動画ファイル再生の各種操作を行うことができます。また、再生音の音量調節や、動画ファイルからの静止画のキャプチャも可能です。それぞれの操作は、下図に示した各ボタン／スライダーを使って行います。



音量スライダー	音量を調節します。つまみを右方向にドラッグすると音量が大きくなり、左方向にドラッグすると音量が小さくなります。
［先頭フレームへ］ボタン	タップすると、動画ファイルの先頭または末尾にジャンプします。順再生中は先頭に、逆再生中は末尾にジャンプします。
［順再生／逆再生］ボタン	タップするたびに、再生する方向を切り替えます。順再生の状態では、逆再生の状態ではとなります。なお、再生中の動画ファイルにより逆再生ができない場合は、このボタンは動作しません。
［変速再生］ボタン	高速再生や、スロー再生などの変速再生を行います。再生スピードは、「動画再生選択」ダイアログ上で行います。詳しくは222ページの「変速再生やリピート再生を設定するには」をご覧ください。なお、再生中の動画ファイルにより変速再生ができない場合は、このボタンは動作しません。
［標準再生］ボタン	標準スピードでの再生が開始されます。
［停止］ボタン	再生を停止します。
再生位置スライダー	再生中の動画の現在の位置を表示します。また、つまみをドラッグすることで、再生位置を移動することができます。

［戻す］ボタン	タップするたびに、再生位置を前へ戻します。
［進める］ボタン	タップするたびに、再生位置を先へ進めます。
［静止画キャプチャ］ボタン	現在表示している動画のフレーム画像を、静止画として保存します。詳しくはこのページの「動画ファイルから静止画をキャプチャするには」をご覧ください。

本体のボタンを使った各種操作

動画再生画面上の操作パネルの操作は、CASSIOPEIA本体の各ボタンを使って行うことが可能です。

【再生中】

- ［OK］ボタンを押すと、再生が停止します。

【停止中】

- ［OK］ボタンを押すと、再生（標準再生）が開始されます。

【随時】

- 上（逆再生）または下（順再生）を切り替えます。
- 右カーソルキーを押すと、現在開いている動画ファイルを閉じて、次のファイルを開きます。
- 左カーソルキーを押すと、現在開いている動画ファイルを閉じて、ひとつ前のファイルを開きます。

※ここで言う「前のファイル」「次のファイル」とは、インデックス画面上での表示順が現在開いているファイルの前、次ということです。

動画ファイルから静止画をキャプチャするには

現在開いている動画ファイルから、静止画をキャプチャして、JPEG ファイルとして保存することができます。次の手順で操作してください。

1. 動画再生画面上でファイルを再生します。

2. キャプチャしたい位置で再生を停止します。

- 再生位置スライダーや［戻す］／［送る］ボタンを使って、キャプチャしたい画像を表示することもできます。

3. ボタンをタップします。

4. ［はい］をタップします。

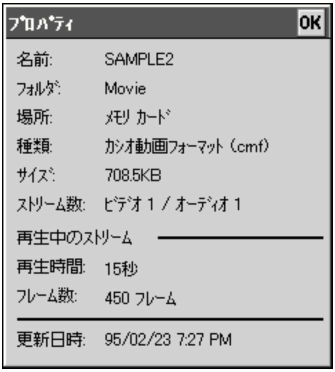
MEMO

- キャプチャしたファイルは、本体メモリ上のNand Disk￥My Documents￥Photoフォルダ内に保存されます。
- キャプチャしたファイルは画像ビュアーで見ることができます。

ファイルのプロパティを表示するには

動画再生画面で現在表示中のファイルのプロパティ画面を表示して、ファイルに関する各種の情報を見ることができます。

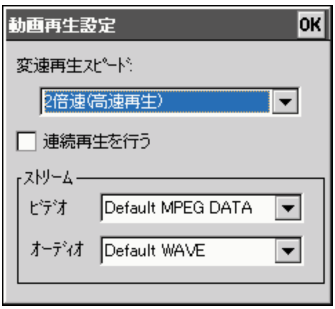
1. 動画再生画面で、をタップします。



2. プロパティ画面を閉じるには、［OK］をタップしてください。

変速再生やリピート再生を設定するには

変速再生時の再生速度の設定や、リピート再生などの各種設定を行うことができます。設定は、動画再生画面の表示中に、［設定］をタップして表示されるダイアログ上で行います。



変速再生スピード	現在開いている動画ファイルの、変速再生時のスピードを選択します。選択可能なスピードは、現在開いている動画ファイルの種類によって異なります。また、変速再生ができない動画ファイルの場合は、「設定できません」と表示されます。
連続再生を行う	このチェックボックスにチェックを付けると、現在開いているファイルの再生／変速再生を行ったときに、自動的に繰り返して再生を行うことができます。
ストリーム	現在開いている動画ファイルのビデオ、オーディオの各ストリーム表記文字列が表示されます。複数のストリームを持った動画ファイルの場合は、再生対象とするストリームを選択することができます。

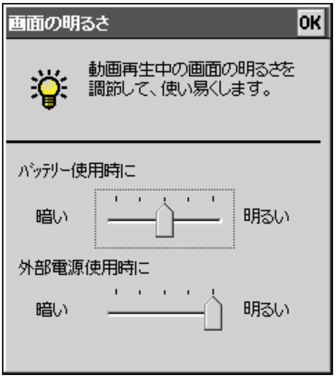
設定が済んだら、［OK］をタップしてください。ダイアログ上で行った設定が有効となり、ダイアログが閉じます。

動画再生中の画面の明るさを調節するには

動作再生中の画面の明るさを調節することができます。

1. 動作再生画面で［明るさ］ボタンをタップします。

- ［画面の明るさ］ダイアログが表示されます。



2. ダイアログ上の各スライダーを使って明るさ調節を行います。

- バッテリー使用時と外部電源使用時のそれぞれについて個別に明るさを調節することができます。

5

画像・音楽関連プログラム

- CASSIOPEIAを内蔵バッテリで駆動している場合、「バッテリー使用時に」のスライダーを動かすと、スライダーの位置に応じて画面の明るさが変化します。また、本体にACアダプタを接続して駆動している場合は、「外部電源使用時に」のスライダーを動かすと、スライダーの位置に応じて画面の明るさが変化します。この画面の明るさが、動画再生時に反映されます。

3. ダイアログ上で行った設定を有効にするには、[OK] をタップしてください。

5-3　音楽再生

「音楽再生」は、CASSIOPEIA で MP3 ファイルの再生を行うためのプログラムです。再生音は、CASSIOPEIA のヘッドホンジャックから出力されます。

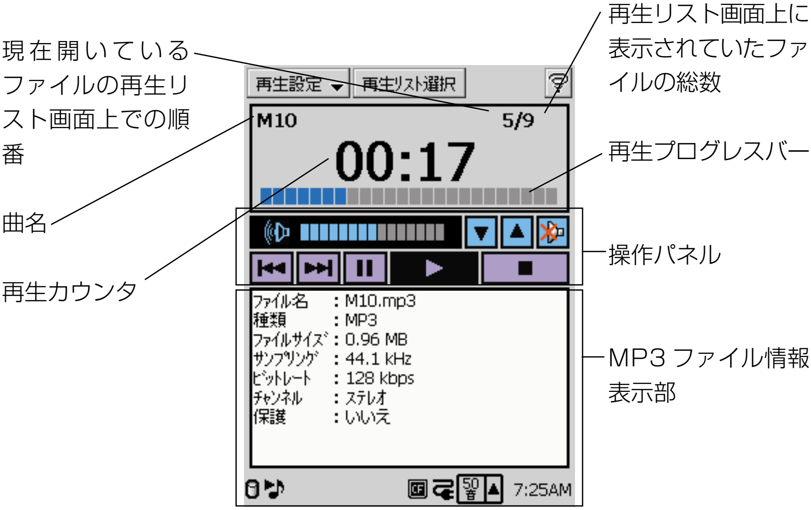
MEMO

- 音楽再生からは、本機のメインメモリ上*またはメモリカード上**の「My Documents￥Music」フォルダ内のファイルのみを再生することができます。「My Documents￥Music」フォルダ外に置いてあるファイルは再生することはできません。
  ＊　￥Nand Disk￥My Documents￥Music
  ＊＊￥My Documents￥Music
- MP3のフォーマットによっては本プログラムでは再生できない場合があります。
- 音楽再生は、本機に付属のCD-ROMからインストールしてご利用ください。本機へのプログラムのインストール方法については、付属のCD-ROM内に含まれているドキュメントをご覧ください。

オーディオファイルの再生について

オーディオファイルを再生するには

1. 本プログラム（音楽再生）を起動すると、以下のような再生画面が表示されます。



5 画像・音楽関連プログラム

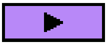
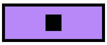
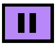
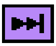
2. 再生を開始するには、ボタンをタップするか、CASSIOPEIA の［OK］ボタンを押します。

- 現在選択されている再生リストに従って、再生が開始されます。
- 再生リストの選択、編集などの操作については、「再生リスト画面の操作」（229 ページ）をご覧ください。

3. 再生を途中で停止するには、ボタンをタップするか、CASSIOPEIA の［ESC］ボタンを押してください。

再生画面上での操作

再生画面上の操作パネルを使って、各種の再生操作を行うことができます。

ボタン	解説
	再生の停止中にタップすると、再生を開始します。
	再生中にタップすると、再生を停止します。再生の一時停止中にタップすると、一時停止状態を解除して再生を停止します。
	再生中にタップすると、再生を一時停止します。一時停止中に再度タップすると、一時停止したところから再生を再開します。
	タップすると、現在再生中のファイルの一つ前のファイルの先頭から再生が開始されます。
	タップすると、現在再生中のファイルの次のファイルの先頭から再生が開始されます。
	タップすると消音され、一時的に音量がゼロになります（消音中も再生は継続します）。もう一度タップすると、元の音量で再生音が鳴ります。
	タップするたびに音量が小さくなります。現在の音量は、ボタンの左に表示されている音量インジケータで確認することができます。
	タップするたびに音量が大きくなります。現在の音量は、ボタンの左に表示されている音量インジケータで確認することができます。

CASSIOPEIA 本体のボタンを使った各種操作

再生画面上の操作パネルの操作は、CASSIOPEIAの各ボタンを使って行うことが可能です。

【再生中】

- ［OK］ボタンを押すと、再生が一時停止します。
- ［ESC］ボタンを押すと、再生が停止します。

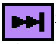
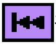
【一時停止中】

- ［OK］ボタンを押すと、一時停止した位置から再生が再開されます。

【停止中】

- ［OK］ボタンを押すと、曲の先頭から再生が開始されます。

【随時】

- 上カーソルキーを押すと音量が大きくなり、下カーソルキーを押すと小さくなります。
- 右カーソルキーを押すとキーと同様の動作（次の曲へのスキップ）、左カーソルキーを押すとキーと同様の動作（前の曲へのスキップ）となります。

リピート再生

「リピート再生」の設定をONにすると、再生を停止するまで、現在選択されている再生リストの再生をエンドレスで繰り返し行います。
「リピート再生」の設定を切り替えるには、再生画面上で［再生設定］メニューから［リピート再生］を選択し、［リピート再生］にチェックマークを付けてください。

MEMO

- 再生を解除するには、再度［再生設定］メニューから［リピート再生］を選択し、［リピート再生］のチェックマークを外してください。

再生中に CASSIOPEIA の画面を消すには（表示 OFF モード）

オーディオ再生時の電池消耗を軽減するために、本ソフトによるオーディオ再生時にCASSIOPEIA の画面表示を消すことができます。この状態を、「表示 OFF モード」と呼びます。
表示 OFF モードを有効にするには、再生画面上で［再生設定］メニューから［表示 OFF モード］を選択して［表示 OFF モード］にチェックマークを付けてください。

MEMO

- [表示OFFモード]にチェックマークが付いた状態でオーディオファイルの再生を開始すると、タッチスクリーン上の表示は完全に消えてしまうため、画面上の操作を行うことはできなくなります。画面を復帰させるには、[OK]ボタンを押して再生を一時停止するか、[ESC]ボタンを押して再生を停止してください。
- リピート再生がオフの状態の場合は、再生の終了によって再生が停止すると、画面は自動的に復帰します。
- 表示OFFモードを解除するには、再度[再生設定]メニューから[表示OFFモード]を選択し、[表示OFFモード]のチェックマークを外してください。

表示OFFモードの時にカーソルボタンを使うには

表示OFFモードの時でも、音量の調節や曲のスキップを、カーソルキーを使って行うことが可能です。表示OFFモード中にカーソルキーを有効にするには次の様に設定します。

再生画面上で「再生設定」メニューから「十字キー有効」を選択して、「十字キー有効」にチェックマークを付けてください。

バックグラウンド再生について

音楽再生で音楽再生中に他のプログラムを起動しても、音楽再生はバックグラウンドで動作するため、再生を継続することができます。

バックグラウンド再生中はシステムトレイ上にアイコンが、バックグラウンド停止中はアイコンが表示されます。このアイコンをタップすると音楽再生がアクティブになり、再び各種の再生操作が可能となります。

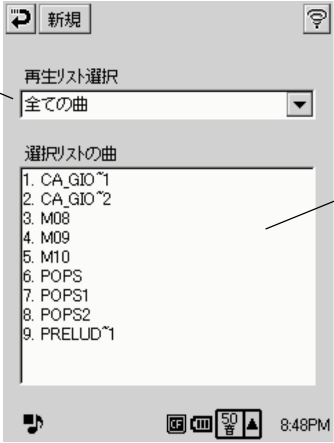
再生リスト画面の操作

本機のメインメモリまたはメモリカード上のMy Documents¥Musicフォルダの中のMP3ファイルを「再生リスト」に登録することで、特定の曲だけを指定した順序で再生することができるようになります。再生リストは、最大100件まで登録できます。

再生リスト画面を表示するには

再生画面で[再生リスト選択]ボタンをタップすると、再生リスト画面が表示されます。

再生リスト選択ボックス
現在選択されている再生リストが表示されます。



選択されている再生リストに登録されている曲が表示されます。

再生リストを選ぶには

1. 再生画面で［再生リスト選択］ボタンをタップします。

- 再生リスト画面が表示されます。

2. 「再生リスト選択」ボックスの▼部分をタップし、表示されるドロップダウンメニューから、利用したい再生リストを選びます。

3. 選択が終了したら、ボタンをタップすると再生画面に戻ります。

MEMO

- 手順2で表示されるドロップダウンメニューから「全ての曲」を選ぶと、音楽再生で再生可能なすべてのMP3ファイルが再生されます。メモリカードを利用している場合は、メインメモリ上のすべての曲が先に再生された後で、メモリカード上のすべての曲が再生されます。
- 再生リストが一つも登録されていない場合は、手順2で表示されるドロップダウンメニューには「全ての曲」だけしか表示されません。

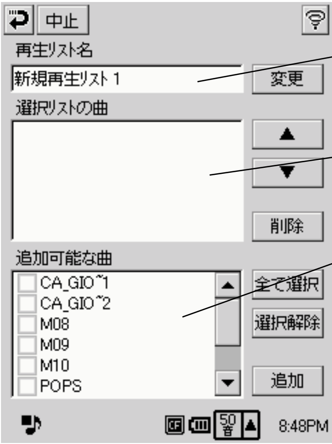
新規の再生リストを作成するには

1. 再生画面で［再生リスト選択］ボタンをタップします。

- 再生リスト画面が表示されます。

2. ［新規］ボタンをタップします。

- 再生リスト編集画面が表示されます。



3. 「再生リスト名」ボックスに、再生リストの名称を入力します。

4. 「追加可能な曲」ボックスで、この再生リストに追加したい曲にチェックを付けます。

- ［全て選択］をタップすると、「追加可能な曲」の全曲にチェックを付けることができます。
- ［選択解除］をタップすると、「追加可能な曲」の全曲のチェックを外すことができます。

5. ［追加］ボタンをタップします。

- チェックを付けた曲が、「選択リストの曲」欄に追加されます。

6. 「選択リストの曲」ボックスで、曲の再生順序を指定します。

- 曲の順序を変更したい曲名をタップして選び、［▼］／［▲］ボタンを使って曲順を上下に移動します。
- 曲名を選んだ状態で［削除］ボタンをタップすると、その曲をこの再生リストから外します。

7. 設定がすべて済んだら、をタップします。

- 再生リスト画面に戻り、新規に作成した再生リストが選択された状態となります。

MEMO

- 手順６で［中止］ボタンをタップすると、編集中のデータを破棄して、再生リスト画面に戻ります。

再生リストを編集するには

1. 再生画面で［再生リスト選択］ボタンをタップします。

- 再生リスト画面が表示されます。

2. 「再生リスト選択」ボックスの▼部分をタップし、ドロップダウンメニューから編集したい再生リストを選びます。

3. ［修正］ボタンをタップします。

- 再生リスト編集画面が表示されます。
- この後の操作は、「新規の再生リストを作成するには」（230ページ）の手順３以降と同様です。

再生リストを削除するには

1. 再生画面で［再生リスト選択］ボタンをタップします。

- 再生リスト画面が表示されます。

2. 「再生リスト選択」ボックスの▼部分をタップし、ドロップダウンメニューから削除したい再生リストを選びます。

3. ［削除］ボタンをタップします。

- 再生リストを削除して良いか確認するメッセージが表示されます。

4. 再生リストを削除して良い場合には「はい」を、削除をやめる場合は「いいえ」をタップしてください。

第6章

ユーティリティ

6-1　バックアップ

「バックアップ」は、CASSIOPEIA 上の各種ユーザデータをメモリカードにバックアップするためのプログラムです。本体メモリ上のすべてのデータ（スケジュール、住所録、To Do およびメールの全データ、各種ファイル、追加インストールしたプログラム、各種の設定情報）をバックアップします。
不意の事故によりユーザデータが破壊されたときなどに、バックアップデータを使ってユーザデータを復元（リストア）することができます。

操作前のご注意

- バックアップ／リストアを行う前に、必ず本機のリセットの操作を行ってください。リセットの操作方法については 261 ページをご覧ください。
- バックアップ／リストアを行う場合は、必ず AC アダプタをご使用ください。
- バックアップ／リストアの実行中は、CASSIOPEIA 上のボタンの操作、画面のタップ操作など、一切の操作を行わないでください。バックアップ／リストアの作業が開始されたら、終了するまで CASSIOPEIA に触れないでください。
- バックアップを行う際には、メモリカードの空き容量を確認の上、操作を開始してください。空き容量の目安は約 12MB です。

バックアップについて

ここでの操作を行う前に、必ず上記の「操作前のご注意」をお読みください。

バックアップするには

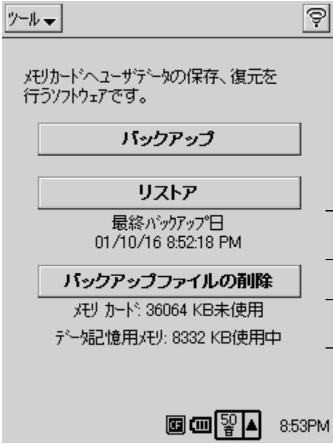
1. CASSIOPEIA に AC アダプタを接続します。

2. CASSIOPEIA のリセットを実行します。

3. カードスロットに、充分な空き容量のあるメモリカードを挿入します。

4. トップメニューで［バックアップ］をダブルタップします。

- バックアップが起動し、次の画面が表示されます。



メモリカード上にすでにバックアップデータがある場合は、ここに最終バックアップ日時が表示されます。

メモリカードの空き容量と、本体のデータ記憶用メモリ使用量が、ここに表示されます。

5. ［バックアップ］をタップします。

- 次のダイアログが表示されます。



バックアップファイルにパスワードを設定したい場合は、2つの入力ボックスに同じパスワードを半角英数字10文字以内で入力します。入力した文字は「＊」のように表示されます。
パスワードを設定しない場合は、何も入力せずに次の手順に進んでください。
※パスワードに使用できるのは半角英数字のみです。

6. バックアップを開始するには、［はい］を、バックアップを開始しない場合は、［いいえ］をタップします。

- ［はい］をタップすると、バックアップが開始されます。

7. バックアップが終了すると、「バックアップが終了しました」というダイアログが表示されますので、［OK］をタップします。

MEMO

何らかの理由でバックアップが失敗した場合でも、メモリカード上に前回バックアップしたデータがある場合は、そのデータは影響を受けません。

バックアップを中断するには

バックアップ処理中に、メッセージボックスの［キャンセル］ボタンをタップすると、「バックアップを中断します。よろしいですか？」という メッセージが表示されます。[はい] をタップすることで、バックアップを中断することができます。バックアップを続行する場合は［いいえ］をタップしてください。

リストアについて

「リストア」を実行すると、CASSIOPEIA 上のデータは次のようになります。

- CASSIOPEIA上とバックアップデータ上に同一のファイルおよび設定がある場合には、バックアップデータ上にあるファイルおよび設定によってCASSIOPEIA上のデータが上書きされます。
- CASSIOPEIA 上にあって、バックアップデータ上にないファイルおよび設定は、すべて削除されます。
- リストアを実行すると、現在インストールしているアプリケーションは削除され、バックアップ時のインストール状態に戻ります。

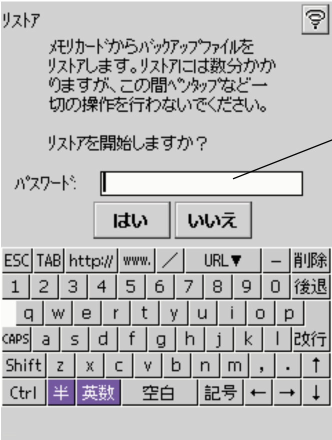
ここでの操作を行う前に、必ず233ページの「操作前のご注意」をお読みください。

リストアするには

1. CASSIOPEIA に AC アダプタを接続します。
2. CASSIOPEIA のリセットを実行します。
3. カードスロットに、バックアップデータが保存されているメモリカードを挿入します。
4. トップメニューで［バックアップ］をダブルタップします。
   - バックアップが起動します。

5. ［リストア］をタップします。

- CASSIOPEIAが再起動し、タッチスクリーンの補正画面が表示されます。画面の指示に従ってタッチスクリーンの補正を行ってください。
- タッチスクリーンの補正を終了すると、次のダイアログが表示されます。



バックアップ時にパスワードを設定した場合は、そのパスワードをここに入力してください。
パスワードを設定しなかった場合は、何も入力せずに次の手順に進んでください。

6. リストアを開始するには、［はい］を、リストアを開始しない場合は、［いいえ］をタップします。

- ［はい］をタップするとリストアが開始されます。

7. リストアが終了すると、「リストアが終了しました」というダイアログが表示されますので、［OK］をタップします。

- CASSIOPEIAが自動的にリセットされますので、起動するまでお待ちください。

バックアップファイルの削除

バックアップを使ってメモリカード上に作成したバックアップファイルを削除することができます。メモリカードの空き容量不足でバックアップを実行できない場合などには、以下の操作を行ってください。

MEMO

- 削除したバックアップファイルは元に戻せませんのでご注意ください。

バックアップファイルを削除するには

1. CASSIOPEIAの電源を切り、カードスロットにバックアップデータが保存されているメモリカードを挿入します。

2. トップメニューで［バックアップ］をダブルタップします。

- バックアップが起動します。

3. ［バックアップファイルの削除］をタップします。

- 次のダイアログが表示されます。



4. バックアップファイルを削除するには、［はい］をタップします。

- 削除しない場合は、［いいえ］をタップしてください。

6-2　ファイル管理

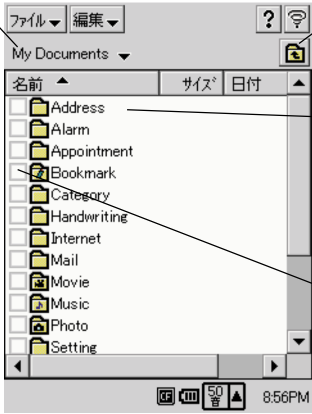
ファイル管理を使うと、メインメモリやメモリカード上のファイルやフォルダに対する各種操作を行うことができます。

- ファイル管理は、本機に付属のCD-ROMからインストールしてご利用ください。本機へのプログラムのインストール方法については、付属のCD-ROMに収録されているドキュメントをご覧ください。

ファイル管理の画面と基本操作

トップメニューでファイル管理をタップしてファイル管理を起動すると、ファイル／フォルダが一覧表示されます。

ここをタップすると表示されるドロップダウンリストを使って、現在表示中の階層より上の階層に移動することができます。



1階層上のフォルダに移動します。

フォルダをタップして選択し、再度タップすると、そのフォルダ内が表示されます。

チェックボックスにチェックを付けて、コピー／移動／削除の実行に一括処理するフォルダやファイルを複数選択できます。

MEMO

- 一部のシステムファイルなどは、ファイル管理上には表示されません。
- ファイル管理からの操作で、他のプログラムを起動することはできません。

画面表示を最新の状態にするには

［ファイル▼］→［最新の情報に更新］の順にタップすると、画面表示を最新の状態にすることができます。ファイル管理が起動している状態で、別のプログラムによりファイルの削除や追加が行われた時などには、この操作を行ってください。

ファイル／フォルダに対する各種の操作

新規フォルダを作成するには

1. フォルダを作成したい階層を表示します。

2. ［ファイル▼］→［フォルダ新規作成］の順にタップします。

- 新規フォルダダイアログが表示され、フォルダ名の入力待機状態になります。

3. フォルダ名を入力し、をタップします。

画面上の全てのファイル／フォルダを選択するには

［編集▼］→［すべて選択］の順にタップすると、画面上の全てのファイル／フォルダが選択できます（すべてのファイル／フォルダのチェックボックスにチェックが付きます）。

ファイル／フォルダを複製するには

複製の操作は、ファイル、フォルダのいずれの場合も同じです。以下の手順中ではファイルの場合で説明します。

1. 複製したいファイルのチェックボックスにチェックを付けます。

- 複数のファイルを一括して複製したい場合は、複製したいすべてのファイルのチェックボックスにチェックを付けます。

2. ［編集▼］→［コピー］の順にタップします。

- ファイルが複製元として指定されます。

3. 複製先の階層を表示します。

4. ［編集▼］→［貼り付け］をタップします。

- 複製元として指定したファイルが、現在表示中の階層に複製されます。

MEMO

- 複製元のファイルがあった階層で［貼り付け］の操作を行った場合は、同じ階層に元のファイルの複製が作成されます。このとき、複製のファイル名には、元の名前に「コピー〜」が付加されます。

- ファイルの［コピー］の操作後、他のファイルの［コピー］または［切り取り］の操作を行うまでは、何度でも繰り返し［貼り付け］の操作による同一ファイルの複製を行うことができます。

ファイル／フォルダを移動するには

移動の操作は、ファイル、フォルダのいずれの場合も同じです。以下の手順中ではファイルの場合で説明します。

1. 移動したいファイルのチェックボックスにチェックを付けます。
   - 複数のファイルを一括して移動したい場合は、移動したいすべてのファイルのチェックボックスにチェックを付けます。

2. ［編集▼］→［切り取り］の順にタップします。

3. 移動先の階層を表示します。

4. ［編集▼］→［貼り付け］をタップします。
   - 元の階層から、現在表示中の階層へ、ファイルの移動が実行されます。

MEMO

- フォルダを移動した場合は、フォルダ内のすべてのファイル／フォルダも同時に移動されます。
- ファイルの［切り取り］の操作後、［貼り付け］の操作は1度だけ行うことができます。コピーの場合のように、繰り返し［貼り付け］の操作を行うことはできません。

ファイル名／フォルダ名を変更するには

1. 名前を変更したいファイルまたはフォルダをタップして選択します。

2. ［ファイル▼］→［名前の変更］の順にタップします。
   - ［名前の変更］ダイアログが表示され、ファイルまたはフォルダ名の入力待機状態になります。

3. 新しい名前を入力し、をタップします。

MEMO

- ファイルの拡張子を変更することはできません。

ファイル／フォルダを削除するには

1. 削除したいファイルまたはフォルダのチェックボックスにチェックを付けます。
   - 複数のファイル／フォルダを一括して削除したい場合は、削除したいすべてのファイル／フォルダのチェックボックスにチェックを付けます。

2. ［ファイル▼］→［削除］の順にタップします。
   - 削除して良いかを確認するダイアログが表示されます。
   - フォルダの削除の場合は、フォルダ内のすべてのファイル／フォルダが削除されますのでご注意ください。

3. 削除して良い場合は、［はい］をタップします。
   - 削除をキャンセルする場合は、［いいえ］をタップしてください。

◆ご注意◆

- 一度ファイルやフォルダの削除を実行した後で、削除を取り消すことはできません。大切なファイルを誤って削除しないよう、充分ご注意ください（誤って削除したファイルによっては本機のプログラムが起動しなくなる場合もあります）。
- 本機をリセット（261 ページ参照）すると、本機のマイデバイス ¥Nand Disk フォルダの外にユーザーが作成／保存したフォルダやファイルは削除されます。リセット操作によって削除されないようにするためには、フォルダやファイルはマイデバイス¥Nand Diskフォルダ内に置くか、メモリカード上に保存してください。

第 7 章

パソコンとの連携

7-1　概要と準備

本機をパソコンに接続することによって、本機とパソコンとの間でデータのやりとりを行うことができるようになります。具体的には、以下のようなことが可能です。

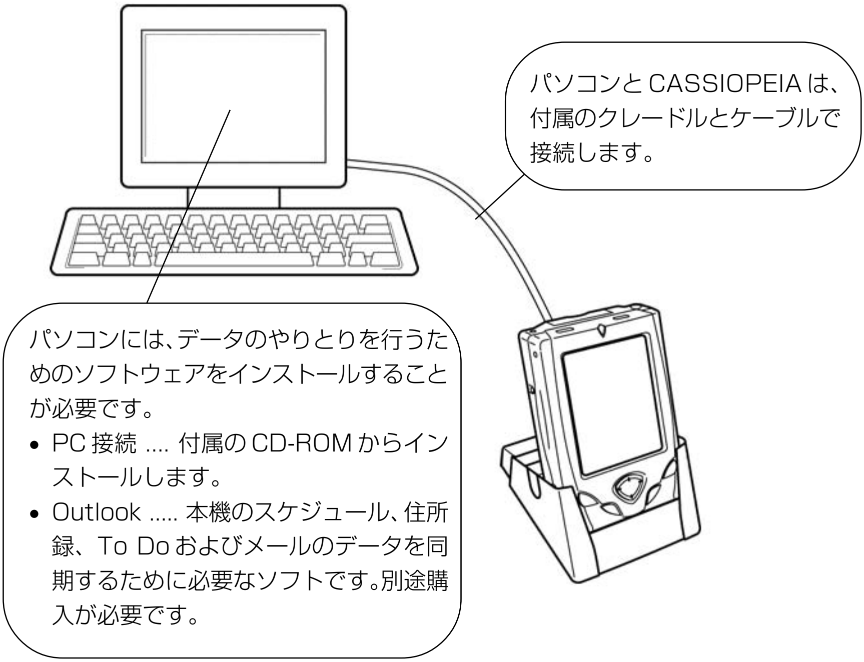
- 本機のスケジュール、住所録、To Do およびメールのデータと、パソコン上の Outlook のデータの同期
- 本機とパソコンの間でのファイルのコピー
- 本機の全データのパソコンへのバックアップと、バックアップしたデータの復元
- 工場出荷時データの復元を行い、工場出荷時の状態に戻す

MEMO

- MP3 ファイルや画像、CMF ファイルなどのデータファイルを Nand Disk および Storage Card に転送するためには、フォルダ同期機能をご使用ください。各データファイルを格納するための Nand Disk および Storage Card 上のフォルダ名はアプリケーション毎に定められています。フォルダ名は各アプリケーションのページをご覧ください。
- CASSIOPEIA にパスワードが設定されている場合は、CASSIOPEIA 上でパスワードを解除してからパソコンと接続してください。
- 何らかの要因でCASSIOPEIAとパソコンが接続できなくなった場合は、パソコンをリスタートしてください。
- 同期処理中に CASSIOPEIA がメモリフルになると、同期が不完全な状態で終了し、CASSIOPEIA が不安定な状態になる場合があります。CASSIOPEIA のメモリ容量はパソコンに比べて少ないので、大量のデータがCASSIOPEIAに書き込まれないように以下のような操作を行なってください。
  - MS Outlook の不要なデータを削除する。
  - 同期する必要のないデータを同期の設定がされていないフォルダに移動する。

  また、同期の実行前にはCASSIOPEIAのメモリ残量が充分にあることを確認する。

データをやりとりするための準備



本機とパソコンとの間でデータのやりとりを行うには、はじめに次の(1) ～ (3) の順番で準備作業を行うことが必要です。

(1) パソコンへのOutlookのインストール
- Outlook 97/98/2000が利用可能です。
- Outlookは、市販のパッケージを別途ご購入ください。
- Outlookのインストール方法については、Outlookに付属のマニュアルをご覧ください。

(2) パソコンへのPC接続のインストール
- 付属のCD-ROMからインストールします。
- PC接続はすべての種類のパソコン上での動作を保証するものではありません。PC接続のインストールが可能なパソコンに関する情報は、第1章をご覧ください。
- インストール方法については、別紙の「クイックスタート」をご覧ください。

(3) 本機とパソコンの接続
- 本機とパソコンの接続方法については、第1章をご覧ください。

MEMO

- Outlookをお持ちでない場合は、(2)、(3)の操作だけを行ってください。Outlookは後からインストールしても構いません。
- パソコンにOutlookをインストールしていなくても、PC接続をインストールするだけで、スケジュール、住所録、To Doおよびメールのデータの同期以外の操作は可能です。
- パソコンと接続中はがシステムトレイに表示されます。
- もしも接続が開始されない場合には、CASSIOPEIAを、クレードルまたはUSBケーブル/シリアルケーブルから一度外し、差しなおしてください。

通信設定について

本機とパソコンを接続する際の本機上の設定は、本機の「通信設定」を使って行います。

パソコン接続のための通信設定を行うには

1. トップメニューで［通信設定］をダブルタップします。

- 通信設定が起動します。

2. ［PC接続］をタップします。

- ［PC接続の設定］画面が表示されますので、必要な設定を行います。



本機とパソコンをケーブル接続した際に、パソコンとの接続を自動的に確立したい場合には、ここにチェックを付けます。

パソコンとUSBで接続するかシリアルポートで接続するか選択します。

本機とパソコンを今すぐ接続状態にしたい場合にタップします。本機とパソコンがケーブル接続されている場合にのみ有効です。「自動的に接続する」にチェックがついている時は、タップする必要はありません。

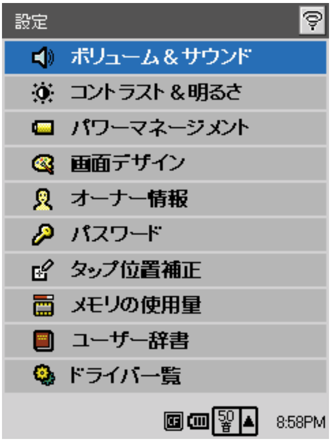
3. 設定がすんだら［OK］をタップします。

第 8 章

各種設定

8-1　設定の概要

本機を利用する上での基本的な使用環境の設定や、本機のハードウェア、システムなどに関する各種の調節を行うことができます。
トップメニューで［設定］をダブルタップすると、以下のような設定メニュー画面が表示されます。



設定メニュー

この設定メニュー画面から、個々の設定項目の画面に移動することができます。

項目名	概要
オーナー情報	自分の個人情報を入力します。入力した情報は、本機の電源を入れたときに画面に表示させるように設定することもできます。
パスワード	本機に数字４桁のパスワードを設定し、電源を入れたときにパスワードを入力しないと本機の情報にアクセスできないようにすることができます。
画面デザイン	本機の画面上の各部の配色を選ぶことができます。
コントラスト＆明るさ	画面のコントラスト、明るさ、および自動減光するまでの時間の設定を行います。
タップ位置補正	タッチスクリーンの表示に対するスタイラスのタップ位置が微妙に食い違っているような場合に、タッチスクリーンの調整を行います。
ボリューム＆サウンド	タッチスクリーンのタップ時などの確認音のオン／オフや、ヘッドホン音量の調節などを行います。

パワーマネージメント	内蔵バッテリの現在の残量を確認できます。また、本機を操作せずに放置した場合に自動的に電源が切れるまでの時間を設定することができます。
メモリの使用量	本機のプログラム実行用メモリとデータ記憶用メモリそれぞれの現在の使用量を確認することができます。メモリカードの利用時は、メモリカードの使用量もチェックできます。また、実行中のプログラムの終了の操作を行うことができます。
ユーザー辞書	日本語の変換辞書に100個までの語句をユーザー辞書として追加登録できます。
ドライバ一覧	本機にインストールされているドライバ（システムソフトウェア）が表示されます。

MEMO

- 日付／時刻の設定については、77 ページをご覧ください。

各設定項目の画面を表示するには

各設定項目の画面は、以下のいずれかの操作で表示することができます。

- 表示したい設定項目をタップして選択し、再度タップする
- 表示したい設定項目をダブルタップする
- 上下カーソルキーを使って表示したい設定項目をハイライトさせ、［OK］ボタンを押す

表示した設定画面を閉じるには、各設定画面の［終了］ボタンをタップします。設定メニュー画面に戻ります。

設定メニュー画面を閉じるには

設定メニュー画面右上のをタップします。トップメニューに戻ります。

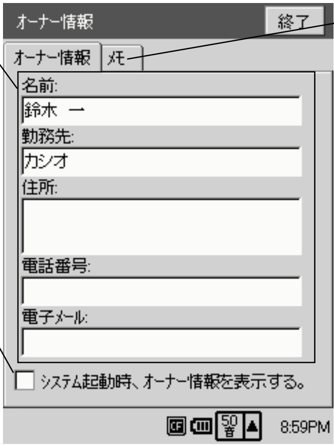
8-2　個別の設定操作

ここでは設定メニュー画面から表示可能な、各設定項目について説明します。

オーナー情報

自分の個人情報を入力します。入力した情報は、本機の電源を入れたときに画面に表示させるように設定することができます。

入力したい項目欄をタップし、入力を行います。



その他のメモを入力したい場合は、ここをタップします。

入力した情報を、本機の電源を入れたときに表示したい場合は、ここにチェックを付けます。

パスワード

本機の電源を入れたときに、ここで設定したパスワードを入力しないと、本機の情報にアクセスできないようにすることができます。

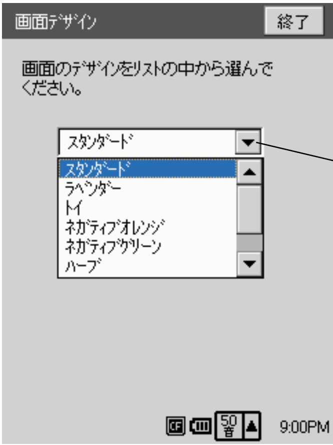


画面上のキーパッドを使って、４ 桁のパスワードを設定します。いったん［決定］をタップしてこの変更を保存すると、設定したパスワードを入力しなければ、パスワード設定画面にアクセスできなくなります。

本機の電源を入れたときに、ここで設定したパスワード入力を要求するようにしたい場合は、ここにチェックを付けます。

画面デザイン

画面上のさまざまな構成要素（コマンドバーやボタン、背景など）の配色を、異なる6つのセットの中から選ぶことができます。



ここをタップしてドロップダウンリストを表示し、好みの配色を選択します。

MEMO

- 「画面デザイン」の設定を変更した時点で起動していたプログラムの配色は変化しません。各プログラムを一度終了し、再度起動した後から、変更した設定が反映されます。なおプログラムの終了のしかたについては、「メモリの使用量」（255ページ）をご覧ください。

コントラスト＆明るさ

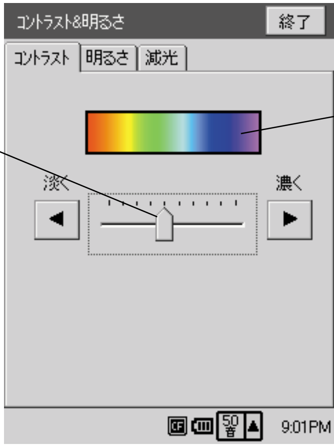
「コントラスト＆明るさ」の設定画面には、以下の３つのタブが含まれています。

コントラスト .... 画面全体のコントラストを調節します。
明るさ .... 画面全体の明るさを調節します。
自動減光 .... 自動減光するまでの時間の設定を行います。

コントラストタブ

画面の色が薄すぎたり濃すぎたりして見にくい場合には、このタブ上でコントラストを調節します。

このスライダーを左右に動かすか、◀、▶ボタンをタップして、コントラストを調節します。



この色見本は、調節時の目安になります。

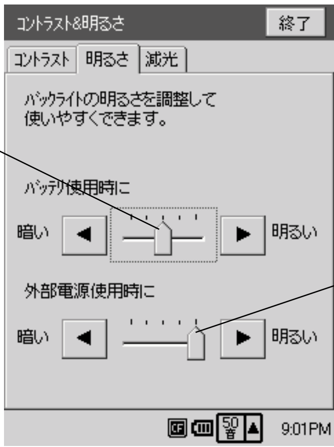
MEMO

- コントラストの調節は、本画面を使わなくても、以下のキー操作によって行うこともできます。
  - 電源ボタン＋上カーソル　→　コントラストを濃くする
  - 電源ボタン＋下カーソル　→　コントラストを淡くする

明るさタブ

画面（バックライト）の明るさの調節は、このタブ上で行います。調節は、バッテリ使用時と AC アダプタ使用時の個別に行うことができます。

このスライダーを左右に動かすか、◀、▶ボタンをタップして、して、バッテリ駆動時の画面の明るさを調節します。



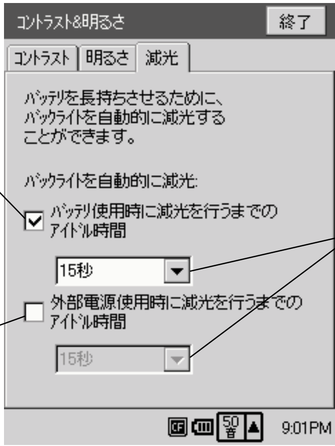
このスライダーを左右に動かすか、◀、▶ボタンをタップして、外部電源（AC アダプタおよびオプションの外部電源パック）使用中の画面の明るさを調節します。

MEMO

- 画面の明るさの調節は、本画面を使わなくても、以下のキー操作によって行うこともできます。
  - 電源ボタン＋右カーソル　→　画面を明るくする
  - 電源ボタン＋左カーソル　→　画面を暗くする

自動減光タブ

バッテリを長持ちさせるために、本機の操作を行わないで一定時間が経過すると画面の明るさを自動的に減光するように設定することができます。自動減光の設定を、このタブ上で行います。



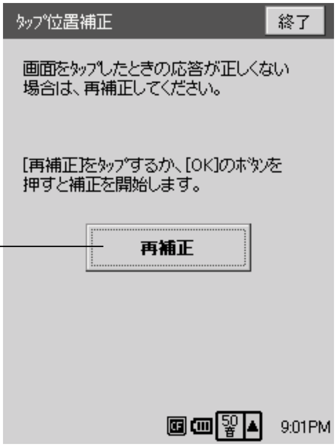
内蔵バッテリ使用時に自動減光するようにしたい場合は、ここにチェックを付けます。

外部電源使用時に自動減光するようにしたい場合は、ここにチェックを付けます。

自動減光するまでの時間を設定します。

タップ位置補正

タッチスクリーンの表示に対するスタイラスのタップ位置が微妙に食い違っているような場合には、本画面を表示してタッチスクリーンの調整を行います。



タップすると、タッチスクリーンの調整画面になります。

MEMO

- 本画面を使わなくても、電源ボタンを押しながら［OK］ボタンを押すことで、すぐにタッチスクリーンの調整画面に入ることもできます。
- 一度タッチスクリーンの調整画面に入った後で補正の操作をキャンセルするには、本機の［ESC］ボタンを押してください。

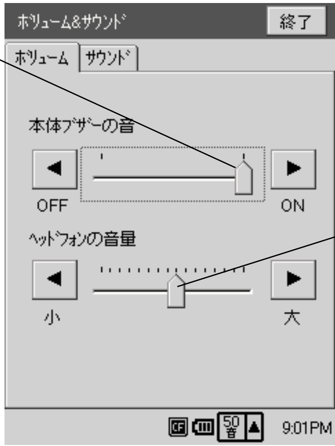
ボリューム＆サウンド

「ボリューム＆サウンド」の設定画面には、「ボリューム」と「サウンド」の２つのタブが含まれています。

ボリュームタブ

本体から鳴るブザー音のオン／オフ設定と、ヘッドホン音量の調節を行います。

このスライダーを左右に動かすか、◀、▶ボタンをタップして、ブザー音のオン/オフを設定します。

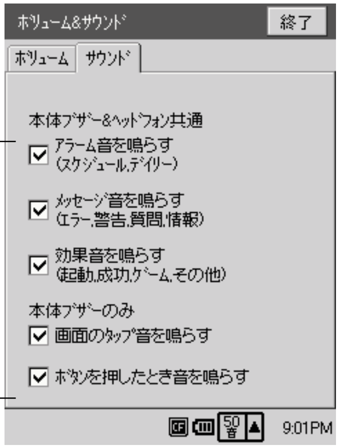


このスライダーを左右に動かすか、◀、▶ボタンをタップして、ヘッドホン音量を設定します。

サウンドタブ

本機から出る各種の音（アラーム音や、画面をタップした際の音など）を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

チェックが付いている項目については、音が鳴ります。
音を鳴らしたくない項目のチェックボックスをタップして、チェックを外します。

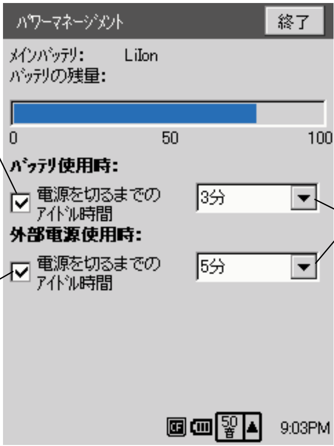


パワーマネージメント

パワーマネージメント画面では、バッテリパックの現在の残量を確認できます。また、本機を操作せずに放置した場合に自動的に電源が切れるまでの時間を設定することができます。

内蔵バッテリ使用時に自動的に電源が切れるようにしたい場合は、ここにチェックを付けます。

外部電源使用時に自動的に電源が切れるようにしたい場合は、ここにチェックを付けます。



自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。

メモリの使用量

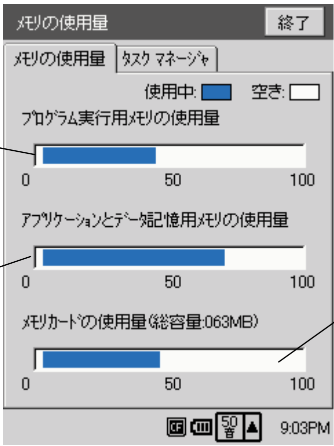
「メモリの使用量」の設定画面には、「メモリの使用量」と「タスクマネージャ」の2つのタブが含まれています。

メモリの使用量タブ

メモリの使用量タブでは、現在のメモリの使用量が確認できます。

本機のプログラム実行用メモリの現在の使用量が表示されます。

本機の追加アプリケーションとデータ記憶用メモリの現在の使用量が表示されます。

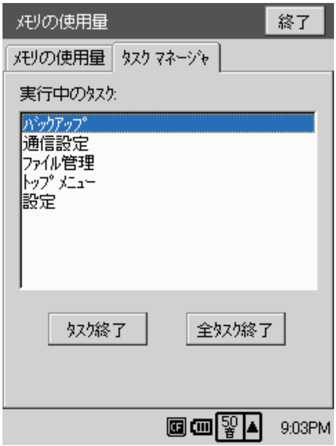


メモリカードの利用時は、メモリカードの現在の使用量が表示されます。

8
各種設定

タスクマネージャタブ

タスクマネージャタブには、実行中のプログラムの一つを選択して終了したり、実行中のすべてのプログラムを一括して終了することができます。実行中のプログラムを終了することで、その分のプログラム実行用メモリの空き容量を確保することができます。



- 「実行中のタスク」でプログラム名をタップして選択した上で[タスク終了]をタップすると、そのプログラムだけを終了することができます。
- 実行中のプログラムをすべて一括して終了したい場合は、[全タスク終了] をタップします。

データ記憶用メモリの空き容量を増やすには

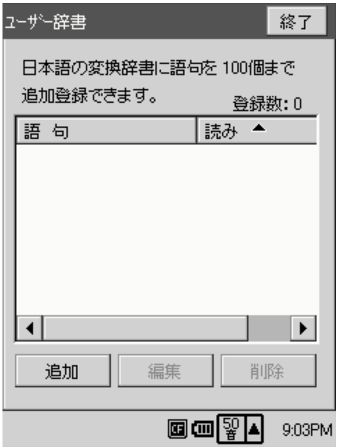
本機のデータ記憶用メモリの空き容量を増やしたい場合には、次の方法を試してみてください。

- メインメモリからメモリカードにファイルを移動する
- メインメモリ上の不要なファイルを削除する

いずれの操作も「ファイル管理」を使って行うことができます。詳しくは「6-2ファイル管理」(238 ページ)をご覧ください。

ユーザー辞書

日本語の変換辞書に 100 個までの語句をユーザー辞書として追加登録できます。

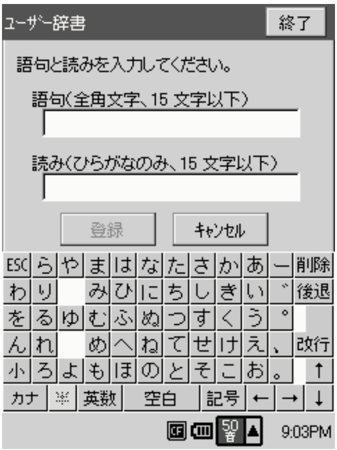


ユーザー辞書に語句を追加するには

1. 設定メニューで［ユーザー辞書］をダブルタップし、ユーザー辞書画面を表示します。

2. ［追加］をタップします。

- 以下の辞書登録ダイアログが表示されます。



3. 登録したい語句とその語句に対する読みを、それぞれ入力します。

4. ［登録］をタップします。

- 登録するのをやめる場合は［キャンセル］をタップします。

ユーザー辞書の語句を編集するには

1. 設定メニューで［ユーザー辞書］をダブルタップし、ユーザー辞書画面を表示します。

2. ユーザー辞書画面で編集したい語句をタップして選択し、［編集］をタップします。

- 辞書登録ダイアログ上に、選択した語句とその語句に対する読みが表示されます。

3. 語句と読みの必要な部分を修正します。

4. 修正した内容で登録するには、［登録］をタップします。

- 修正登録をやめる場合は［キャンセル］をタップします。

ユーザー辞書の語句を削除するには

1. 設定メニューで［ユーザー辞書］をダブルタップし、ユーザー辞書画面を表示します。

2. ユーザー辞書画面で削除したい語句をタップして選択し、［削除］をタップします。

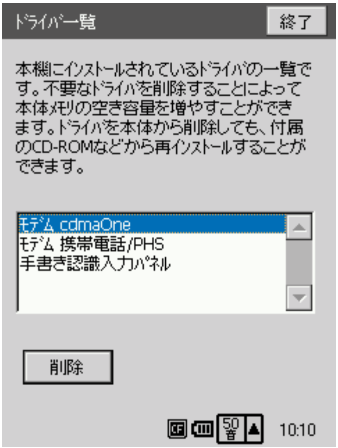
- 削除して良いかを確認するダイアログが表示されます。

3. 削除する場合は［はい］を、削除をしない場合は［いいえ］をタップします。

ドライバー覧

ドライバー覧画面には、本機にインストールされているドライバ（システムソフトウェア）が表示されます。ここで表示されているドライバ（システムソフトウェア）は削除することができます。

手書きタイプの入力パネル、およびモデムの一部のうち、使わないドライバを削除することによって本体メモリの空き容量を増やすことができます。削除したドライバは、本機に付属のCD-ROMから再インストールすることができます。



ドライバを削除するには

1. 一覧から削除したいドライバをタップして選択します。
2. [削除]ボタンをタップします。
3. 削除を確認するメッセージが表示されますので、確認して[はい]をタップします。
4. ドライバが削除されると、自動的に本機にリセットがかかります。再起動後に通常どおりご使用頂けます。

ドライバを再インストールするには

1. PC接続のインストールされているパソコンを起動し、パソコンと本機を接続します。
2. パソコンのCD-ROMドライブに本機に付属のCD-ROMをセットします。
3. CD-ROMのメニュー画面から[BE-500専用ソフトウェア一覧]をクリックします。
4. 一覧から再インストールしたいドライバを選択し、[インストール]をクリックします。

Appendix

補足情報

リセットとデータ復旧

リセットについて

「リセット」は、パソコンでの「再起動」に相当します。リセットを実行すると、入力中や編集中などで、まだ保存していなかったデータは消去されますが、メモリ上にすでに保存されているデータや、各種設定などは基本的にそのまま残ります。
誤操作や何らかの異常により、本機が正常に動作しなくなった場合は、リセット操作を行う必要があります。リセットの操作は、例えば次のような現象が起きた場合に必要です。

- 画面をタップしたり、ボタンを押してもまったく反応しない
- 処理中を示すアイコンが回転したまま、いつまでたっても消えない

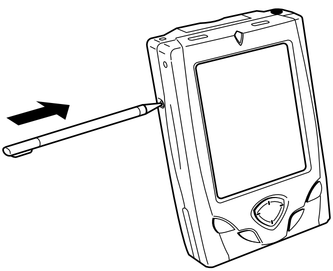
◆ご注意◆

- リセットボタンは、システムトレイのメモリーアクセスインジケータ（ ）が表示されていないことを確認してから押してください。
- リセットを行うと、マイデバイス ¥Nand Disk の外にあるユーザのファイルやフォルダは消去されます。リセットを行う前に必要なファイルやフォルダはマイデバイス ¥Nand Disk の中に入れるか、メモリカードなどに入れてください。
- 通常はリセットの操作で保存済みのデータが失われることはありませんが、データ異常などによって、まれにすべてのデータがクリアされる場合があります。可能な場合は、リセットを行う前にメモリカードなどにデータのバックアップをしておくことをお勧めします。

リセットを実行するには

1. 本機の電源が入っていない場合は、電源を入れます。

2. システムトレイにメモリーアクセスインジケータ（ ）が表示されていないことを確認し、リセットボタンをスタイラスで押してください。



3. 画面上に「Starting...」という文字が表示され、リセット処理が開始されます。

- しばらくすると、トップメニュー画面が表示されます。リセット前にメモリ上にすでに保存されていたデータや各種設定などに変化はありませんので、そのままご使用ください。

リセットを実行しても正常に戻らない場合は？

リセットを実行しても本機が正常に戻らない場合は、さらに次の操作を実行してください。

1. 本機の電源ボタンを押しながら、リセットボタンをスタイラスで押します。

- 画面上に「Initializing...」という文字が表示され、システムの再ロードが開始されます。

2. 続けて画面上に「Starting...」という文字が表示され、リセット処理が開始されます。

- しばらくすると、トップメニュー画面が表示されます。リセット前にメモリ上にすでに保存されていたデータや各種設定などに変化はありませんので、そのままご使用ください。

◆ご注意◆

- もし上記の操作を行った後も、本機が正常な状態に戻らない場合は、次の「データの復旧について」を参照して操作を行ってください。

データの復旧について

「リセットについて」（261 ページ）で説明した操作によって本機が正常に戻らない場合には、次の(a)～(c)のいずれかの方法で対処してください。

(a)　PC 接続（第７章参照）を使ってパソコン上に作成したバックアップデータから、本機を復旧する　（→ 263 ページ）

(b)　バックアップ（第６章参照）を使ってメモリカード上に作成したバックアップデータから、本機を復旧する　（→ 265 ページ）

(c)　本機に付属のCD-ROMを使って、本機を工場出荷時の状態に戻す　（→266 ページ）

◆ご注意◆

- (a)〜(c)のいずれの操作を行った場合でも、操作前に本機上に保存されていたすべてのデータは完全に消去されます。
- (a)〜(c)のいずれの操作を行っても本機が正常に戻らない場合には、お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。

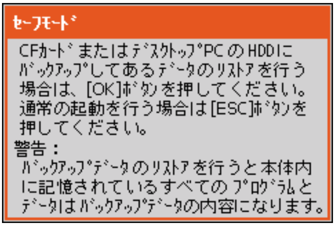
パソコン上のバックアップデータから本機を復旧するには

1. CASSIOPEIA に AC アダプタを接続します。

2. 電源ボタンを押し、電源を入れます。

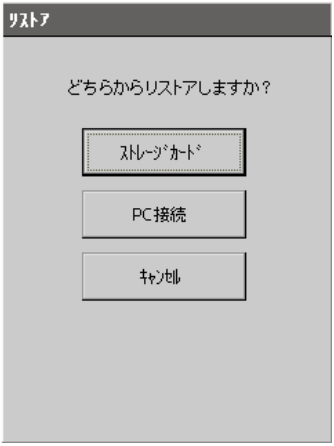
3. 本機の［OK］ボタンを押しながら、リセットボタンをスタイラスで押します。

- 以下のセーフモード画面が表示されます。



4. ［OK］ボタンを押します。

- タップ位置の補正画面が表示されますので、画面の指示に従ってタップ位置の補正の操作を行います。
- タップ位置の補正が完了すると、次のダイアログが表示されます。



5. PC接続のインストールされているパソコンを起動し、PC接続を起動した上で、パソコンと本機を接続します。

6. ［PC 接続］をタップします。

- パソコンとの接続が開始されます。接続が確認されると、PCからの復元を実行するかを確認するダイアログが表示されますので、［OK］をタップします。
- この後の操作は、パソコン上の PC 接続の操作となります。

7. PC 接続の初期画面で、［ツール］メニューの［復元］をクリックします。

- ［復元］ダイアログが表示されます。

8. ダイアログ上で復元の元となるバックアップファイルを選択し、［選択ファイルに復元］をクリックして［OK］をクリックします。

- 復元が開始され、本機およびパソコンの画面上に復元中のメッセージが表示されます。
- 復元が完了すると、パソコン上にCASSIOPEIAを再起動するか確認するダイアログが表示されます。

9. 確認ダイアログで［OK］をクリックします。

- CASSIOPEIA が再起動します。
- この後のCASSIOPEIA の動作は、「リセットを実行しても正常に戻らない場合は？」（262 ページ）の場合と同様です。

MEMO

- 手順４で［ESC］ボタンを押した場合は、通常のリセット（261 ページの「リセットを実行するには」の操作を行った場合と同様の動作）が実行されます。
- 手順４で電源ボタンを押した場合は、本機の電源が切れます。この後再度電源を入れると、通常のリセットが実行されます。
- 手順４で何の操作も行わずに放置した場合は、約 30 秒で自動的に電源が切れます。この後再度電源を入れると、通常のリセットが実行されます。

メモリカード上のバックアップデータから本機を復旧するには

1. CASSIOPEIA に AC アダプタを接続します。

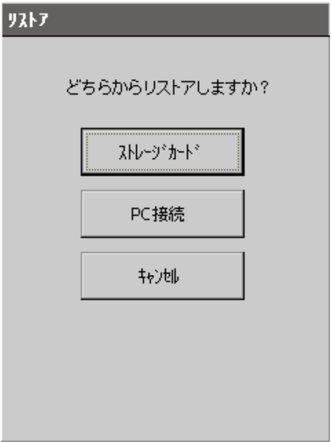
2. 電源ボタンを押し、電源を入れます。

3. 本機の［OK］ボタンを押しながら、リセットボタンをスタイラスで押します。

- セーフモード画面が表示されます。

4. ［OK］ボタンを押します。

- タップ位置の補正画面が表示されますので、画面の指示に従ってタップ位置の補正の操作を行います。
- タップ位置の補正が完了すると、次のダイアログが表示されます。

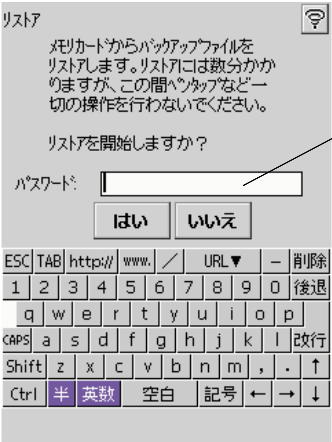


5. カードスロットに、バックアップデータが保存されているメモリカードを挿入します。

補足情報
A

6. ［ストレージカード］をタップします。

- バックアップが起動され、次のダイアログが表示されます。



バックアップ時にパスワードを設定した場合は、そのパスワードをここに入力してください。
パスワードを設定しなかった場合は、何も入力せずに次の手順に進んでください。

7. ［はい］をタップして、リストアを開始します。

8. リストアが終了すると、「リストアが終了しました」というダイアログが表示されますので、［OK］をタップします。

- CASSIOPEIAが自動的にリセットされますので、起動するまでお待ちください。

本機を工場出荷時の状態に戻すには

以下のような場合のために、本機を工場出荷時の状態に戻すことができます。

- 「リセットについて」（261 ページ）の操作を行ったが、本機が正常に動作しない場合
- 本機に設定したパスワード（249 ページ）を忘れてしまった場合
- 本機を譲渡するなどの理由で、本機を初期状態に戻したい場合

◆ご注意◆

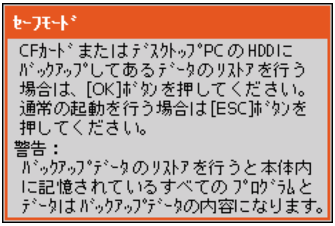
- 以下の操作を行うと、本機に保存されているすべてのデータや設定、追加インストールしたプログラムは破棄されます。

本機を工場出荷時の状態に戻すには、以下の手順で操作します。

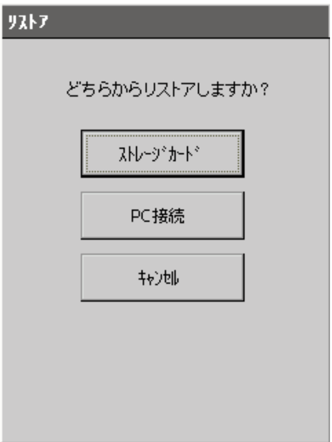
1. CASSIOPEIA に AC アダプタを接続します。

2. 電源ボタンを押し、電源を入れます。

3. 本機の [OK] ボタンを押しながら、リセットボタンをスタイラスで押します。
   - セーフモード画面が表示されます。



4. [OK] ボタンを押します。
   - タップ位置の補正画面が表示されますので、画面の指示に従ってタップ位置の補正の操作を行います。
   - タップ位置の補正が完了すると、次のダイアログが表示されます。



5. PC接続のインストールされているパソコンを起動し、PC接続を起動した上で、パソコンと本機を接続します。

補足情報

A

6. ［PC 接続］をタップします。

- パソコンとの接続が開始されます。接続が確認されると、PC からの復元を実行するかを確認するダイアログが表示されますので、［OK］をタップします。
- この後の操作は、パソコン上の PC 接続の操作となります。

7. パソコンのCD-ROMドライブに、本機に付属のCD-ROMをセットします。

8. PC 接続の初期画面で、［ツール］メニューの［復元］をクリックします。

- ［復元］ダイアログが表示されます。

9. ダイアログ上で、［工場出荷時の状態に復元］を選択し、［OK］をクリックします。

- 復元が開始され、本機およびパソコンの画面上に復元中のメッセージが表示されます。
- 復元が完了すると、パソコン上にCASSIOPEIAを再起動するか確認するダイアログが表示されます。

10. 確認ダイアログで［OK］をクリックします。

- CASSIOPEIA が再起動します。
- この後の CASSIOPEIA の動作は、「リセットを実行しても正常に戻らない場合は？」（262 ページ）の場合と同様です。

トラブルシューティング

一般的な操作に関するトラブルシューティング

故障と思われるような現象が起きた場合は、まず下記を参考にして対処してみてください。

現象	考えられる原因	対処
画面をタップしたときの反応が極端に遅かったり、動作がおかしい。	メモリの状態がひっ迫している。	本機をリセットしてください。→ 261 ページ
電源ボタンを押しても何も動かない。	内蔵バッテリが消耗している。	内蔵バッテリを充電してください。→ 24 ページ
	何らかの異常が発生した。	本機をリセットしてください。→ 261 ページ
AC アダプタで動作させることができない。	内蔵バッテリが消耗している。	内蔵バッテリを充電してください。AC アダプタを数回抜き差しして充電してください。→ 23 ページ
	クレードル経由で AC アダプタを接続している場合で、本機がクレードルに正しく取り付けられていない。	本機をクレードルに正しく取り付けてください。→ 37 ページ
内蔵バッテリを正しく充電しても使用時間が著しく短い。	内蔵バッテリの寿命、破壊。	お買上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに内蔵バッテリの交換を依頼してください。→ 23 ページ
タッチスクリーンにタッチしても何も反応しない。	タッチスクリーンの設定がずれている。	電源ボタンを押しながら OK ボタンを押し、タッチスクリーンの補正を行ってください。→ 253 ページ
	静電気などの影響などでタッチスクリーンの誤動作が起きている。	本機をリセットしてください。→ 261 ページ
	タッチスクリーンが損傷している。	お買上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに修理依頼してください。
画面がロックして動かない。	何らかの異常が発生した。	本機をリセットしてください。→ 261 ページ
パスワードを忘れてしまった。	—	「本機を工場出荷時の状態に戻すには」（266 ページ）の操作を行ってください。ただし、本機に保存したすべてのデータは破棄されます。

現象	考えられる原因	対処
メモリカードのエラーメッセージが表示された。 " エラーが発生しました！ (READ/WRITE) 取扱説明書を参照してください。"	操作中、本体に衝撃を与えたり、強い静電気や電気的ノイズを受けるとエラーが出る場合があります。	再度操作を行ってください。
	バッテリが消耗している。	内蔵バッテリを充電してください。
	メモリカードが正しく挿入されていない。	メモリカードを挿入し直してください。それでもエラーが出る場合は、メモリカードに何らかの問題が考えられます。
データエラーのメッセージが表示された。	何らかの異常が発生した。	画面の指示に従って対処してください。
その他の警告のメッセージが表示された。	何らかの異常が発生した。	画面の指示に従って対処してください。
PC カードユニットを取り付けて PC カードを使っているとき、警告なしに電源がOFFになった。または操作ができなくなった。	何らかの異常が発生した。	電源を入れ直したり、PC カードユニットを抜き差ししてください。それでも正常に戻らない場合は本機をリセットしてください。→261ページ

※本機をリセットしても本機が正常に戻らない場合は、「リセットを実行しても正常に戻らない場合は？」（262 ページ）の操作を行ってください。

インターネット接続に関するトラブルシューティング

インターネット接続がうまくいかない場合は、まず下記を参考にして対処してみてください。ここでの各項目を確認してもうまく接続できない場合は、カシオサポートセンターにお問い合わせください。

●ダイヤルできない	
考えられる原因	対処
本機と携帯電話（またはPHS）が正しく接続されていない。	本機と携帯電話（またはPHS）が、指定のケーブルによって正しく接続されているかご確認ください。→41 ページ
本機と接続している携帯電話（またはPHS）の電源が入っていない。	携帯電話（またはPHS）の電源を入れてください。
携帯電話（またはPHS）の電波状態が悪い。	接続に利用している携帯電話（またはPHS）の電波状態が良好かどうかを、電話の画面上でご確認ください。電波状態が悪い場合は、電波状態の良い場所に移動して通信を行ってください。
接続設定に何らかの問題がある。	回線の種類として「トーン」が選択されているのをご確認ください。「パルス」になっている場合は、「トーン」に変更してください。→ 125 ページ
	「モデムの種類」で、利用している電話に合ったモデムが選択されているかをご確認ください。→ 125 ページ
	「トーンを待ってからダイヤルする」にチェックが付いていない場合は、チェックを付けます。→ 125 ページ
	ダイヤルアップ接続先の接続ID／パスワードが半角の英数字で正しく入力されているかをご確認ください。→ 125 ページ
本機をパソコンと接続した状態になっている（本機とパソコンの接続中は、モデムを使った接続はできません）。	本機とパソコンをケーブル接続中の場合は、本機からケーブルを抜いてください。→ 39 ページ

●ダイヤルはできるが、正しく接続できない	
考えられる原因	対処
電話番号が間違っている。	正しい電話番号が設定されているかご確認ください。→ 125 ページ

●接続が不安定	
考えられる原因	対処
本機と携帯電話（またはPHS）がしっかりと接続されていない。	本機と携帯電話（またはPHS）がしっかりと接続されているかご確認ください。→ 41 ページ

●「回線からの応答がありません」と表示されて接続できない	
考えられる原因	対処
本機と接続している携帯電話（またはPHS）の電源が入っていない。	携帯電話（または PHS）の電源を入れてください。
本機と携帯電話（またはPHS）が正しく接続されていない。	本機と携帯電話（またはPHS）が、指定のケーブルによって正しく接続されているかご確認ください。→ 41 ページ
電話をかけたアクセスポイントが混雑している。	しばらくしてから再度接続を試してください。

MEMO

- インターネットサービスプロバイダやアクセスポイントの全てについての接続を保証しているものではありません

ローマ字入力一覧

ローマかなキーボード（58ページ）でかな入力を行う場合の入力方法は、以下の通りです。

ア行	あ　い　う　え　お	A	I	U WU	E	O
	ぁ　ぃ　ぅ　ぇ　ぉ	XA LA	XI LI	XU LU	XE LE	XO LO
カ行	か　き　く　け　こ	KA CA	KI	KU CU QU	KE	KO CO
	ヵ　ヶ	XKA LKA			XKE LKE	
	きゃ　きぃ　きゅ　きぇ　きょ	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
	くぁ　くぃ　くぇ　くぉ	QA	QI		QE	QO
	くゎ　くぃ　くゅ　くぇ　くょ	KWA QWA	KWI	KWU	KWE	KWO
サ行	さ　し　す　せ　そ	SA	SI SHI	SU	SE	SO
	しゃ　しぃ　しゅ　しぇ　しょ	SYA SHA		SYU SHU	SYE SHE	SYO SHO
タ行	た　ち　つ　て　と	TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
	っ			XTU XTSU LTU LTSU TCH		
	ちゃ　ちぃ　ちゅ　ちぇ　ちょ	TYA CYA CHA	TYI CYI	TYU CYU CHU	TYE CYE CHE	TYO CYO CHO
	てゃ　てぃ　てゅ　てぇ　てょ	THA	THI	THU	THE	THO
	つぁ　つぃ　つぇ　つぉ	TSA	TSI		TSE	TSO
	とぅ			TWU		
ナ行	な　に　ぬ　ね　の	NA	NI	NU	NE	NO
	にゃ　にぃ　にゅ　にぇ　にょ	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ハ行	は　ひ　ふ　へ　ほ	HA	HI	HU FU	HE	HO
	ひゃ　ひぃ　ひゅ　ひぇ　ひょ	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
	ふぁ　ふぃ　ふぇ　ふぉ	FA	FI		FE	FO
	ふゃ　ふぃ　ふゅ　ふぇ　ふょ	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
マ行	ま　み　む　め　も	MA	MI	MU	ME	MO
	みゃ　みぃ　みゅ　みぇ　みょ	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
ヤ行	や　ゆ　よ	YA		YU		YO
	ゃ　ゅ　ょ	XYA LYA		XYU LYU		XYO LYO
ラ行	ら　り　る　れ　ろ	RA	RI	RU	RE	RO
	りゃ　りぃ　りゅ　りぇ　りょ	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ワ行	わ　うぃ　うぇ　を	WA	WI		WE	WO
	ゎ	XWA LWA				
	ん	NN N＋子音				

ガ行	が　ぎ　ぐ　げ　ご	GA	GI	GU	GE	GO
	ぐゎ　ぐぃ　ぐぅ　ぐぇ　ぐぉ	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
	ぎゃ　ぎぃ　ぎゅ　ぎぇ　ぎょ	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
ザ行	ざ　じ　ず　ぜ　ぞ	ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
	じぁ　じぃ　じゅ　じぇ　じょ	ZYA JA JYA	ZYI JYI	ZYU JU JYU	ZYE JE JYE	ZYO JO JYO
ダ行	だ　ぢ　づ　で　ど	DA	DI	DU	DE	DO
	ぢゃ　ぢぃ　ぢゅ　ぢぇ　ぢょ	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
	でゃ　でぃ　でゅ　でぇ　でょ	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
	どぅ			DWU		
バ行	ば　び　ぶ　べ　ぼ	BA	BI	BU	BE	BO
	びゃ　びぃ　びゅ　びぇ　びょ	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
パ行	ぱ　ぴ　ぷ　ぺ　ぽ	PA	PI	PU	PE	PO
	ぴゃ　ぴぃ　ぴゅ　ぴぇ　ぴょ	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
ヴ行	ヴァ　ヴィ　ヴ　ヴェ　ヴォ	VA	VI	VU	VE	VO
	ヴャ　ヴィ　ヴュ　ヴェ　ヴョ	VYA	VYI	VYU	VYE	VYO
んぱ	んぱ　んぴ　んぷ　んぺ　んぽ	MPA	MPI	MPU	MPE	MPO
んば	んば　んび　んぶ　んべ　んぼ	MBA	MBI	MBU	MBE	MBO

製品仕様

型式		BE-500
表示		240 × 320 ドット
		STN カラー液晶（32,768 色）
CPU		VR4131
メモリ		ROM 16MB FlashROM RAM 16MB
外部インタフェース		
	シリアルポート	RS-232C、最大 115.2kbps
	USB（クライアント）	
カードスロット		コンパクトフラッシュカード Type I/Type II（3.3V 仕様）
ヘッドホンジャック		φ３.５ｍｍ、モノラルタイプイヤホン、ステレオタイプイヤホン／ヘッドホンが使用可
電源		内蔵バッテリ（リチウムイオン電池）
		AC アダプタ（AD-C59200）
消費電力		3.0 W
電池の使用時間（常温時）		
	約１週間：	通常の使用の場合
	約６時間	連続入力とデータ表示を１：10の割合で繰り返したときで画面の明るさを最も暗めに設定した場合 ※電源を切った状態でも、メモリ保持などのために微量の電流が必要なため、電池は消耗します。 ※電池での駆動時間は充電条件や使用状況、本体の設定状態などによって、記載されている時間と異なる場合があります。
本体での充電時間		約３～４時間（満充電までの時間） ただし、購入直後などの電池の状態や充電温度等によって長くなる場合があります。
使用温度		0℃～40℃（充電温度 10℃～35℃）
大きさ		幅76×奥行121×高さ17.9mm(フリップカバーおよび凸部を除く)
重さ		約 170g(フリップカバーを含む) 約 158g(フリップカバーを除く)

Index

索引

索引

A

ACアダプタ　23

B

BMP　193

C

CMF　215

G

GIF　193

J

JPEG　193

L

LAN接続　131

M

MP3　225

O

Outlook　244

P

PC　34
PCカードユニット　32
PC接続　244
PHS　41
PIM　87
PNG　193
POPサーバー　123

S

SMTPサーバー　123

T

To Do　114

ア

アイコンメニュー　48, 51
アカウント　138
アラーム　79, 104

イ

インターネット　119

オ

オーナー情報　249
音楽再生　225

カ

画像ビュアー　192
画面デザイン　250
画面の明るさ調整　22
カレンダー　101

キ

キーボード　57

ク

クレードル　36

ケ

携帯電話　41
ケーブル　39

コ

コマンドバー　54
コントラスト＆明るさ　250
コントラストの調整　22
コンパクトフラッシュカード　28

サ

サウンド　253

シ

辞書　257
システムトレイ　52
住所録　105
充電　24
充電池　23

ス

スケジュール　88
スタイラス　19,253

セ

設定　247

タ

ダイヤルアップ接続　123
タスクマネージャ　256
タッチスクリーンの補正　22
タップ　20
ダブルタップ　20

ツ

通信設定　122
通信セット　122

テ

データ復旧　262
手書き認識　62
デジタルカメラカード　31
電卓　81
添付ファイル　149，159

ト

動画再生　215
時計　77
トップメニュー　49
ドラッグ　20

ニ

入力パネル　57

ネ

ネームサーバー　123

ハ

パスワード　123，249
パソコン　34，242
バックアップ　233
バッテリ　23
パワーマネージメント　255

ヒ

日付／時刻の設定　77

フ

ファイル管理　238
ブックマーク　179
プライマリ DNS　123
ブラウザ　173
フリップカバー　19
プログラム　46
プログラムの削除　50

ホ

ボリューム　253

メ

メール　136
メモ　70
メモリの使用量　255

モ

文字の入力　55
文字の変換　63
文字の編集　67

ヨ

予定　89

リ

リストア　235
リセット　261

本製品の譲渡に関するご注意

本製品を第三者に譲渡（売却）されるときは、1）の条件にしたがってください。
譲渡を受けられたときは、2）の条件にしたがってください。

1）製品を譲渡されるお客様へ

本製品を第三者へ譲渡されるときは､製品本体とともに本製品に付属するすべてのもの（CD-ROM、取扱説明書、エンドユーザー・使用許諾契約書、バックアップ用のコピーなどを含みます）を譲渡し､ソフトウェアの複製物など一切をお手元に残さないでください。

2）製品の譲渡を受けられるお客様へ

ソフトウェアに関わるエンドユーザー･使用許諾契約に同意された方のみが､本製品の譲渡を受けられます｡本製品の譲渡を受けますと､この契約に同意したものとみなされますのでご注意ください。

CASIO

カシオ計算機株式会社

〒151-8543　東京都渋谷区本町1-6-2

PN411580-001